

平成26年2月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(平成26年度当初予算関係)

文化観光スポーツ局

*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額
「前年度」の欄は今年度の当初予算額
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成26年2月定例会 議案説明資料目次

文化観光スポーツ局

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件 名	課名等	頁	
第1号	平成26年度 鳥取県一般会計予算			
	1	当初予算説明資料	(総括表) 文化政策課 交流推進課 観光戦略課 スポーツ課 まんが王国官房	1 2 31 40 70 94
	2	組織改正に伴う移管事業一覧	/	97
	3	歳入歳出事項別明細書	/	98
	4	節の明細	/	101
	5	継続費に関する調書	文化政策課 他	105
	6	債務負担行為に関する調書	文化政策課 他	106

【予算関係以外】

議案番号	件 名	課名等	頁
第40号	鳥取県附属機関条例の一部改正について	文化政策課他	108
第55号	風致地区内における建築等の規制に関する条例の廃止等について	交流推進課	114
第59号	財産を無償で貸し付けること(米子コンベンションセンター用地)について	文化政策課	117
第61号	財産を無償で貸し付けること(鳥取市武道館用地)についての議決の一部変更について	スポーツ課	118

議案説明資料総括表

文化観光スポーツ局 (単位:千円)

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化政策課	1,973,990	1,549,544	424,446	28,847		169,700	1,775,443	
交流推進課	254,147	227,931	26,216			31,252	222,895	
観光戦略課	1,159,420	964,212	195,208	1,851		121,511	1,036,058	
(旧観光政策課)	654,773	577,149	77,624	1,851		72,901	580,021	
(旧国際観光推進課)	399,747	334,213	65,534			48,610	351,137	
(旧交通政策課)	104,900	52,850	52,050				104,900	
スポーツ課	1,263,746	1,012,832	250,914			221,904	1,041,842	
(旧鳥取力創造課)	29,420	24,230	5,190			28,689	731	
(旧障がい福祉課)	31,346		31,346				31,346	
(旧スポーツ健康教育課)	1,202,980	988,602	214,378			193,215	1,009,765	
まんが王国官房	247,793	306,310	△58,517	50,057		191,033	6,703	
合計	4,899,096	4,060,829	838,267	80,755		735,400	4,082,941	

平成26年度の主な事業

(文化政策課)

- アーティストリゾートとっとり芸術祭開催事業
- アーティスト滞在促進事業
- (新) 唱歌「ふるさと」誕生100周年記念事業

(交流推進課)

- (新) 江原道・吉林省友好交流20周年記念事業
- モンゴル中央県交流推進事業

(観光戦略課)

- とっとりスタイルエコツーリズム推進事業
- (新) キラめく100万球ウインターイルミネーション支援事業
- スポーツツーリズム推進事業
- 世界に開かれた“とっとり”国際観光推進事業
- 世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業
- (新) 鳥取県・江原道観光連携事業
- 国際航空便利用促進費(定期便)

(スポーツ課)

- (新) 「新生」鳥取マラソン支援事業
- (新) 障がい者スポーツ競技力向上事業
- (新) 集まれ! トップアスリート合宿誘致プロジェクト事業
- (新) 2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト

(まんが王国官房)

- まんが王国発ソフトパワー事業

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線：7843)

2目 計画調査費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾートとっとり芸術祭開催事業	67,830	24,479	43,351	28,847		(基金繰入金) 38,614	369	
トータルコスト	70,152千円 (前年度28,451千円) [正職員：0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、実行委員会用務、補助金交付事務等							
工程表の政策目標(指標)	アーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>国内外アーティストによる県内での滞在制作・展示活動(※「AIR」)を促進し、地域とアーティストとの関わりを地域活性化につなげるため、「アーティストリゾートとっとり芸術祭」を開催する。</p> <p>※「AIR(アーティストインレジデンス)」とは、アーティストが自分の本拠地以外の場所に滞在し、地域の自然・歴史・文化との関わりの中かで作品制作に取り組む活動。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>全体計画</p> <p>(実施時期) 平成26年9月～12月</p> <p>(開催場所) 鳥取市内 他県内各地</p> <p>(主催) アーティストリゾートとっとり芸術祭実行委員会(仮称)</p> <p>※総合プロデューサーによるテーマ設定等によりイベントとしての一体感を生み出しながら県内外への情報発信を実施。</p>								
<p>個別の事業内容</p> <p>(1) 鑑賞事業(頂点イベント)</p> <p>舞台系芸術と現代アート展示により非日常的空間を創出し、県民に最先端の芸術を鑑賞していただく機会を提供する。</p> <p>①鳥の演劇祭等への支援 33,700千円</p>								
区分	内 容							
補助対象者	鳥の劇場運営委員会、アーティストリゾートとっとり芸術祭実行委員会(仮称)							
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●「鳥の演劇祭7」の開催(平成26年9月) (会場：鳥取市鹿野町) <ul style="list-style-type: none"> ア 国内外の芸術家による作品の上演 イ 周辺文化事業(体験型講座、トークイベント、鹿野地区まちあるき) ●国際現代美術展の開催(平成26年9月～10月) (会場：鳥取市) <ul style="list-style-type: none"> 国際的に評価の高い現代アート作家を招致し県内で滞在制作 							
総事業費	41,050千円(概算)							
負担内訳	鳥取県33,700千円(定額補助。うち20,275千円は文化庁補助金を財源充当。) 鳥取市2,000千円、その他5,350千円							

(2) 県民参加型事業（裾野拡大イベント） 34, 130千円（うち8,572千円は文化庁補助金）
 県内NPO法人や市町村等が、県外アーティストの滞在制作活動を受け入れる事業に対して支援を行い、地域活性化に向けたアート活用の取組の輪を広げる。

①アーティストリゾート推進組織育成事業 15, 947千円
 地域課題を解決する手法としてAIR事業を行おうとする団体の育成を支援する。

区分	内容
補助対象者	「暮らしとアートとコノサキ計画」実行委員会 [構成団体] ・NPO法人明倫NEXT100（倉吉市） ・NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市） ・大山町築き会（大山町） ・NPO法人智頭町森のようちえんまるたんぼう（智頭町） ・米子建築塾（米子市） ・米子市文化協議会 ・NPO法人鳥の劇場（鳥取市）
補助事業の内容	●国内外のアーティストの招聘・滞在・創作・発表 ●推進組織の育成、強化
補助率等	定額

②（新）アートによる温泉街活性化事業 4, 500千円

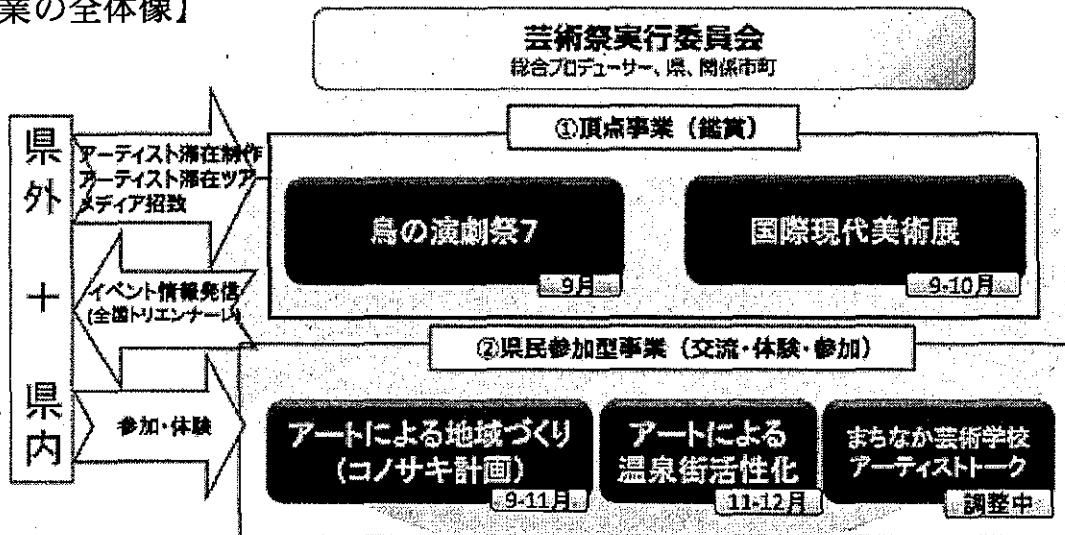
区分	内容
補助対象者	各芸術祭実行委員会（岩井温泉現代美術展、浜村温泉映画塾、関金温泉芸術祭）
補助事業の内容	●温泉街を会場としたアート作品の制作展示、映画上演 ●ワークショップによる人材育成
補助率等	3/4（上限1, 500千円×3件） ※別途、地元市町負担を予定

③（新）まちなか芸術学校開催支援 770千円

区分	内容
補助対象者	アーティストリゾートとっとり芸術祭実行委員会（仮称）
補助事業の内容	●中心市街地の空き店舗を会場とした講座開設（芸術創作体験等） ●国内外アーティストによるトークイベント
補助率等	定額

④（新）実行委員会事務局運営経費（スタッフ・プロデューサー人件費、広報費等） 12, 913千円

【事業の全体像】



3 これまでの取組状況、改善点

- 平成20年度から毎年開催されている「鳥の演劇祭」は、本県アーティストリゾート構想の象徴的取組として定着している。また、平成24年度からは、AIRを通して地域課題の解決につなげるため、「暮らしとアートとコノサキ計画」を実施し、受入団体の育成が図られてきた。
- 今回、芸術学校などの参加型事業を組み合わせ、一体感のあるイベントとして実施・発信していくことで、アーティストが活動しやすい環境（＝アーティストリゾート）としての鳥取県の魅力を発信する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7843）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
アーティスト滞在促進事業	3,700	2,700	1,000				3,700									
トータルコスト	4,474千円（前年度 3,494千円）[正職員：0.1人]															
主な業務内容	関係機関との連絡調整、委託契約事務、補助金交付事務															
工程表の政策目標（指標）	アーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取県での作品制作を希望するアーティストの県内滞在・移住を促進するため、アーティストと滞在先との中間支援機能として、県内滞先に必要な情報提供と県内受入団体の紹介を行う窓口を整備するほか、滞在制作に必要な経費を支援する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) (新) アーティスト向けプラットフォームの整備 1,000千円</p> <p>県外アーティストの滞在制作に適した物件情報を発信するほか、滞在を希望するアーティストの受入団体への紹介などを行う窓口(プラットフォーム)を整備する。</p> <p>【プラットフォームの概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">名 称</td> <td>とりAIRプラットフォーム</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>県（県内NPO等への委託）</td> </tr> <tr> <td>整備目的</td> <td>県外アーティストの県内滞在を促進するため、ポータルサイト(インターネット上の情報サイト)を構築し、県内での滞在制作活動を支援するための情報を発信する。</td> </tr> <tr> <td>機 能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○アーティストの滞在制作に適した物件情報（住居、アトリエ等）の収集・発信 ○アーティストの希望物件への現地案内 ○滞在先の地元関係者との調整、受入れを行うまちづくり団体等への紹介 ○県の滞在制作支援補助金の紹介 <p>※26年度は「アーティストリゾートとっとり芸術祭」に関する情報発信も行う。</p> </td> </tr> </table>									名 称	とりAIRプラットフォーム	事業主体	県（県内NPO等への委託）	整備目的	県外アーティストの県内滞在を促進するため、ポータルサイト(インターネット上の情報サイト)を構築し、県内での滞在制作活動を支援するための情報を発信する。	機 能	<ul style="list-style-type: none"> ○アーティストの滞在制作に適した物件情報（住居、アトリエ等）の収集・発信 ○アーティストの希望物件への現地案内 ○滞在先の地元関係者との調整、受入れを行うまちづくり団体等への紹介 ○県の滞在制作支援補助金の紹介 <p>※26年度は「アーティストリゾートとっとり芸術祭」に関する情報発信も行う。</p>
名 称	とりAIRプラットフォーム															
事業主体	県（県内NPO等への委託）															
整備目的	県外アーティストの県内滞在を促進するため、ポータルサイト(インターネット上の情報サイト)を構築し、県内での滞在制作活動を支援するための情報を発信する。															
機 能	<ul style="list-style-type: none"> ○アーティストの滞在制作に適した物件情報（住居、アトリエ等）の収集・発信 ○アーティストの希望物件への現地案内 ○滞在先の地元関係者との調整、受入れを行うまちづくり団体等への紹介 ○県の滞在制作支援補助金の紹介 <p>※26年度は「アーティストリゾートとっとり芸術祭」に関する情報発信も行う。</p>															

(2) アーティスト滞在促進支援 2,700千円

県外アーティストが地域と関わりながら行う滞在制作を促進するため、県内受入団体やアーティストに対して支援を行う。

区分	補助対象者	対象事業	補助率・額	予算額 (千円)
①短期滞在支援	文化・芸術による地域活性化に取り組む団体	県内のまちづくり団体等が県外アーティストを受け入れて行う地域活性化事業 (アーティストは滞在しながら作品制作、展示を実施)	1/2以内 上限300千円 (市町村間接補助)	900
②中長期滞在支援	県外から移住し県内で滞在制作を行うアーティスト 〔満6ヶ月以上の滞在が条件〕	ア 「①短期滞在支援」を活用して移住したアーティストの制作・展示活動 イ (新)「とりAIRプラットフォーム」を活用して移住したアーティストの滞在・制作活動	10/10 上限600千円 (市町村間接補助)	1,200
③(新)学生滞在支援	県内で作品制作を行う芸術系学生	芸術系学生の滞在制作活動	10/10 上限100千円 (市町村間接補助)	600

3 これまでの取組状況、改善点

- 県内での滞在制作を希望するアーティストは存在するものの、制作活動のための物件が確保できない、あるいは県内の受入団体とのネットワークを有していないなどの理由により、県外アーティストの県内滞在・移住実績は多くない。
- 今回、アーティストが求める情報を効果的に発信しつつ、県内の受入団体を紹介する機能を備えた窓口(プラットフォーム)を整備するとともに、滞在制作の支援メニューを拡充し、県外アーティストの県内滞在・移住を促進する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7843）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾート推進事業	21,500	21,500	0			(基金繰入金) 20,000	1,500	
トータルコスト	23,048千円（前年度 23,088千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、審議会の開催用務、補助金交付事務							
工程表の政策目標（指標）	アーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「アーティストリゾート構想」を掲げている鳥取県のアーティストインレジデンスの取組を県内外に発信するため、アーティストインレジデンスのモデル的、先進的取組を行う団体への支援を行う。

2 主な事業内容

(1) 全国発信モデルの創成

○アーティストリゾート・地域モデル創成事業 20,000千円

文化芸術を媒介とした全国に誇れる地域活性化のモデルを創成するため、文化芸術施設の所有者及び文化芸術団体等が協働して作成する事業計画（計画期間3カ年、県が認めたものに限る）に基づく支援を行う。

区 分	ハード事業	ソフト事業
補助対象者	文化芸術施設を所有する市町村	文化芸術施設で活動し、国から補助を受けている文化芸術団体、地域づくり団体
補助事業の内容	施設整備事業	(1) 全国に発信出来、モデルとなり得る質の高い文化芸術事業 (2) 芸術による地域活性化事業
補助率等	1/2 (上限 50,000 千円)	(1) 国庫補助額の1/2（上限 15,000 千円/年） (2) 市町村補助額の1/2以下（上限 5,000 千円/年）
予算額等	制度要求 (事業計画承認後に 予算要求を行う)	20,000千円

(2) 先進的取組への支援

○アーティストリゾート創造事業 1,500千円

自らが遊休施設等を活用して芸術家を受け入れ、文化芸術活動による地域活性化に貢献し、先進的な取組を行う団体に対し、支援を行う。

【ホスピタイル・プロジェクトへの支援（定額補助 1,500千円）】

区 分	内 容
補助対象者	ホスピタイル・プロジェクト実行委員会（鳥取市）
補助事業の内容	(1) 県外の芸術家を鳥取市に招聘し、地域住民及び鳥取大学学生と協働しながら旧横田医院で美術作品を制作・展示 (2) 招聘作家が作品や地域の印象等を語るトークイベントの開催 (3) 子ども等を対象にしたワークショップの開催
総事業費	4,605千円 [内訳] 県 1,500千円、文化庁 1,500千円、鳥取大学 500千円、鳥取市中心市街地活性化協議会 400千円、その他 705千円

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
(新) 唱歌「ふるさと」誕生100周年記念事業	6,700	0	6,700			(基金繰入金) 6,700								
トータルコスト	8,248千円（前年度 0千円）[正職員：0.2人]													
主な業務内容	補助金交付事務、実行委員会準備・参画、イベント準備・当日支援													
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>唱歌「ふるさと」が誕生して100周年を迎える今年、唱歌「ふるさと」を生んだ地としての認知度を高めるとともに、観光誘客などの県内移入者増加につなげるため、ふるさとの原風景が残る鳥取県の魅力を県内外に発信する。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>※文部省唱歌「ふるさと」が『尋常小学校唱歌第6学年用』に発表（大正3年）され、平成26年で100年目。（作曲：岡野貞一（鳥取県鳥取市出身）、作詞：高野辰之（長野県中野市出身））</p> </div> <p>2 主な事業内容</p> <p>[総事業費] 12,000千円（内訳）鳥取県6,700千円、鳥取市4,300千円、入場料収入1,000千円 [事業主体]「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会</p> <p>(1) 県内外への唱歌「ふるさと」発信</p> <p>①ふるさと誕生100周年記念全国フォーラム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">開催時期</td> <td>平成26年6月18日（唱歌「ふるさと」発表の日）</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>とりぎん文化会館、久松公園、わらべ館</td> </tr> <tr> <td>プログラム（想定案）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・唱歌「ふるさと」100周年誕生記念コンサート ・童謡唱歌100曲マラソン（県民参加による童謡コンクール） ・ふるさとトークセッション ・久松公園「ふるさと」記念碑の除幕式（記念碑のリニューアル） ・わらべ館「ふるさと100周年記念展示」開幕式 </td> </tr> </table> <p>②首都圏での唱歌「ふるさと」全国発信（長野県と調整中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏でのアピールイベント開催 ・サイトウ・キネン・フェスティバルによる情報発信 <p>(2) 唱歌「ふるさと」に親しむ事業</p> <p>①記念展示（わらべ館と高野辰之記念館（長野県）との資料交流）</p> <p>②県民コンサート（岩崎宏美と地元合唱団による県民コンサート）</p> <p>③唱歌「ふるさと」あふれるまち（県内空港、主要駅におけるチャイムに「ふるさと」を使用）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○唱歌「ふるさと」作曲者である岡野貞一氏は本県出身の偉人であり、これまで生誕周年事業の際、主に県内対象で普及啓発事業など実施してきた。</p> <p>○同曲誕生100周年を契機に、唱歌「ふるさと」誕生の地としての鳥取県の魅力を県内外に発信する。</p>									開催時期	平成26年6月18日（唱歌「ふるさと」発表の日）	会場	とりぎん文化会館、久松公園、わらべ館	プログラム（想定案）	<ul style="list-style-type: none"> ・唱歌「ふるさと」100周年誕生記念コンサート ・童謡唱歌100曲マラソン（県民参加による童謡コンクール） ・ふるさとトークセッション ・久松公園「ふるさと」記念碑の除幕式（記念碑のリニューアル） ・わらべ館「ふるさと100周年記念展示」開幕式
開催時期	平成26年6月18日（唱歌「ふるさと」発表の日）													
会場	とりぎん文化会館、久松公園、わらべ館													
プログラム（想定案）	<ul style="list-style-type: none"> ・唱歌「ふるさと」100周年誕生記念コンサート ・童謡唱歌100曲マラソン（県民参加による童謡コンクール） ・ふるさとトークセッション ・久松公園「ふるさと」記念碑の除幕式（記念碑のリニューアル） ・わらべ館「ふるさと100周年記念展示」開幕式 													

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7843）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「とっとりアートスタート」推進事業	8,939	13,988	△5,049				8,939	
トータルコスト	12,035千円（前年度 17,166千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、企画選定委員会の開催、関係団体の連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	子どもたちや若者が芸術・文化に触れ、感性を磨く機会を確保							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、「子育て王国とっとり」の魅力アップを図るため、0歳から未就学の乳幼児に作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供するアートスタート活動を支援するとともに、小学生向けにも地域人材や資源を活かした芸術鑑賞・自然体験等の活動を実施し、フォーラムを通じて子どもの文化芸術体験の大切さを伝える。

2 主な事業内容

(1) アートスタート推進事業（5,261千円）

区分	内 容	事業費
①とっとり子どもアートナビゲーション	県内NPO法人に委託し、アートスタートの普及に関する事業を実施する。 ・コーディネート活動 子どもとアートに関する情報提供（公演情報の提供、アーティストとの連絡調整、公演当日の運営支援等）を実施する。 ・活動団体立ち上げ支援 県子育て支援サークルなどに働きかけて活動立ち上げを支援しアートスタート公演をサポートする。	3,761千円
②次世代鑑賞者育成事業	未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体に対して助成する。 次世代鑑賞者育成事業補助金 （市町村間接補助、補助率 県1/2）	1,500千円

(2) 子ども文化芸術体験支援事業（3,678千円）

区分	内 容	事業費
①子ども文化芸術体験協働連携モデル事業	小学生向けに地域人材・資源を活かした芸術鑑賞、自然体験、アート創作活動をモデル事業として選定し委託実施する。 ※とっとりアートスタートの対象を拡充するための取組み	2,278千円
②子ども文化芸術体験フォーラム	子どもの文化芸術体験の大切さを知るためのフォーラムを開催する。（平成27年2月） ・作陶体験ワークショップ ・クラシックの子ども向け公演 ・記念講演会、モデル事業成果発表会	1,400千円

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）鳥取発文学者 魅力発見・発信事業	4,000	0	4,000				4,000	
トータルコスト	6,322千円（前年度 0千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、実行委員会準備・参画、イベント準備・当日支援							
工程表の政策目標（指標）	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県出身の自由律俳人尾崎放哉をはじめとする、県ゆかりの文学者への顕彰気運を高めるとともに、県内外に「ゆかりの地」としての魅力を発信するため、尾崎放哉生誕130周年顕彰事業を実施する実行委員会の活動などの支援を行う。

2 主な事業内容

（1）尾崎放哉生誕130周年記念事業 2,000千円

実施時期	平成26年度
開催場所	鳥取市内 等
主 催	尾崎放哉生誕130周年記念事業実行委員会（仮称）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎放哉フォーラム ・自由律俳句教室の開催（小学校、公民館等での市民公開講座） ・放哉イメージ作品（アート作品）の全国公募・表彰 ・放哉終焉の地 小豆島との交流事業（縁の品々を記念展示、縁の地ツアー 等） ・事務局費 等
総事業費	5,000千円
負担内訳	鳥取県2,000千円、鳥取市2,000千円、顕彰団体他1,000千円

（2）鳥取県ゆかりの文学者顕彰事業 2,000千円

鳥取県出身文学者やゆかりの地などを広く周知するとともに、県内周遊などの誘客促進を図るため、ゆかりの地や建物、作品の舞台などを紹介する全県的なマップを作成・発信する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「第45回日展米子展」開催支援事業	3,000	0	3,000				3,000	
トータルコスト	4,548千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	負担金交付事務、広報協力							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>広く国民の鑑賞に資するとともに、美術に関する研究調査を行い、日本の美術文化の振興発展に寄与することを目的に行われる「第45回日展米子展」の開催に係る経費の支援を行う。</p>								
2 主な事業内容								
事業費 3,000千円 (負担金)								
【第45回日展米子展の概要】								
区分	内容							
主催	(公財)日展、米子市、米子市教育委員会、(一財)米子市文化財団、新日本海新聞社							
会期	平成26年4月19日(土)～5月18日(日)							
会場	米子市美術館							
内容	「第45回日展巡回作品」約300点							
永井幸次生誕140周年顕彰事業	2,000	4,679	△2,679				2,000	
トータルコスト	2,774千円 (前年度 6,268千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実行委員会準備・参画、イベント準備・当日支援							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
永井幸次生誕140周年顕彰事業を実施する「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会の活動を支援する。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 補助金 2,000千円 (補助率: 10/10)								
(2) 事業の内容 (単位: 千円)								
事業名	開催予定期日	開催場所	主な事業内容				事業費	
紹介展示	5月～6月	わらべ館エントランスホール	<ul style="list-style-type: none"> 永井幸次の生涯をふり返る資料展示。 昭和33年に制作されたVTRの上映。(協力: 大阪音楽大学) 				300	
記念講演会及びコンサート	5月又は6月	わらべ館いべんとほーる	<ul style="list-style-type: none"> 永井幸次に関する講演 大阪音楽大学出身者によるミニコンサート 				1,500	
実行委員会経費	3回程度(通年)	-	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容の検討 事業開催に向けた関係団体との連絡調整等 				200	
計							2,000	

平成 26 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課 (内線 : 7134)

2 目 計画調査費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新生とりアート事業	62,410	62,143	267			(基金繰入金) 62,410		
トータルコスト	63,184千円 (前年度62,937千円) [正職員 : 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付、事務局及び関係者との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県内の文化芸術活動のすそ野の拡大、頂点の伸長、人材育成を図るため、「第12回とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。								
2 主な事業内容								
(1) 期 間 通年								
(2) 場 所 とりぎん文化会館他県下全域								
(3) 主 催 者 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県								
(4) 主な事業内容								
区 分	内 容							
【各地区企画運営事業】 〔予算額 8,500千円〕	◇各地区ごとに事業テーマを定め、ステージイベントや展示、ワークショップなどを県民から企画公募し、市町村等との協働により様々な場所でにぎわいを演出しながら実施。							
【メイン事業】 〔予算額 22,050千円〕	◇県内の様々な分野の文化活動主体の協働により、良質で創造的な舞台作品等を提供。 ◇平成26年度は西部地区でオリジナル創作ミュージカルを実施予定。							
【人材育成事業】 〔予算額 1,860千円〕	◇講習会、ワークショップ、個別指導等を実施して人材育成を行うとともに、その育成した人材に事業実施を委託。 ◇各地区企画運営事業の充実と円滑な実施のため、各地区企画運営委員会にアートマネージャーを配置。							
【広報費、運営事務費】 〔予算額7,767千円〕	◇広報の実施(広報物作成、HP、各種PRイベント等) ◇実行委員会の運営に要する経費							
【事務局人件費】 〔予算額22,233千円〕	◇事務局人件費 正職員3人、非常勤職員2人							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	281,998	206,580	75,418				281,998	
事業内容の説明 一般職員41名分の人件費								

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第5回とっとり伝統芸能まつり開催事業	12,601	12,663	△62				12,601	
トータルコスト	13,375千円（前年度：13,457千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	選定委員会開催業務、連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を充実							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 地域で守られてきた伝統ある行事・芸能を次世代に引き継ぐための取り組みとして、地域伝統芸能の伝承並びに活用の気運を広げるため、伝統芸能から派生する新たな要素を取り入れながら、とっとり伝統芸能まつりを開催する。								
2 主な事業内容								
項目	内 容							
名称	第5回とっとり伝統芸能まつり							
開催時期	平成26年6月15日（日）							
開催場所	鳥取市民会館 大ホール							
内容	○県内伝統芸能功労団体賞表彰式 ○伝統芸能公演 10団体程度							
主催	鳥取県・鳥取県教育委員会							
実施主体	NPO法人プロデュース・ハレ							
事業費内訳	委託料 11,776千円 選定委員会開催経費 93千円 標準事務費 732千円 合計 12,601千円							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第58回鳥取県美術展覧会開催事業	17,599	17,197	402			(雑入) 1,300	16,299	
トータルコスト	27,660千円（前年度27,524千円）[正職員:1.3人 非常勤職員:1.3人]							
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標(指標)	裾野の拡大と頂点の伸長、上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、鑑賞機会を提供し、美術、文化の振興を図るため、第58回鳥取県美術展覧会を開催する。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
事業区分	予算額	事業内容						
(1) 運営委員会・審査会開催	2,035	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催						
(2) 開会式、表彰	312	・開会式及び表彰式の開催						
(3) 展示、巡回展	11,390	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内4会場で巡回展示						
(4) その他事務	3,862	・図録・目録等の作成、広報等						
3 第58回鳥取県美術展覧会の概要（予定）								
区分	内 容							
主催	鳥取県、鳥取県教育委員会							
会場	県立博物館、倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館、米子市美術館、日南町美術館							
会期	平成26年9月～11月（上記会場を巡回）							
部門	8部門（洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン）							
表彰	県展賞、奨励賞							
展示	審査の上、約460点の作品を展示予定							
鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業	13,827	13,539	288			(雑入) 10	13,817	
トータルコスト	20,018千円（前年度19,894千円）[正職員:0.8人 非常勤職員:1.1人]							
主な業務内容	運営委員会の開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
児童・生徒の芸術創作活動に対する興味や意欲を高め、芸術文化の振興を図るため、第12回鳥取県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）を開催する。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
事業区分	予算額	事業内容						
(1) 運営委員会・審査会開催	570	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催						
(2) 開会式、表彰	882	・開会式及び表彰式、審査員講評、受賞者スピーチの開催						
(3) 展示、巡回展	11,023	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内3会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成						
(4) その他事務	1,352	・広報、参加賞の作成等						
3 第12回鳥取県ジュニア美術展覧会の概要（予定）								
区 分	内 容							
主催	鳥取県、鳥取県教育委員会							
会場	県内3会場を巡回							
会期	平成26年12月中旬～平成27年2月中旬							
部門	3部門（「絵画・デザイン」、「書写」、「写真」）							
表彰	知事賞、特別賞、教育長賞、奨励賞							
展示	審査の上、本展示では約1,500点の作品を展示予定							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術活動支援補助金	10,020	8,935	1,085				10,020	
トータルコスト	13,116千円 (前年度 12,113千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	補助金交付業務、選定委員会開催、国民文化祭及び中四国文化の集いへの推薦業務							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県の文化芸術活動の一層の推進を図るため、県内に活動の本拠をおく芸術・文化団体が自主的・自発的に行う芸術・文化活動に対し支援を行う。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	事 業 内 容	(前年度) 事業費
(1) 県内外で行われる優れた芸術・文化活動支援事業	○補助対象者自らが企画し、実施する優れた作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 5 本程度)	(1,200) 1,500
(2) 知事特認事業	○上記のうち特に優れたものに対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 1,000 千円、事業数 1 本程度)	(1,000) 1,000
(3) 刊行物発刊支援事業	○補助対象者が行う日本語による出版活動に対する支援 (補助率 定額、限度額 300 千円、事業数 1 本程度)	(300) 300
(4) 芸術・文化活動ステップアップ支援事業	○県内でステップアップを図ろうとする補助事業者が自ら企画し実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 3 本程度)	(300) 300
(5) 周年支援事業	○定例的に行われる活動の周年事業に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 5 本程度)	(500) 500
(6) 芸術・文化活動によるまちづくり支援事業	○芸術・文化活動をツールとしたまちづくりを行う団体による作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 1 本程度)	(300) 100
(7) 次世代活動者育成支援事業	○芸術・文化活動を行う青少年の育成を図る文化団体が実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 3 本程度)	(900) 900
(8) 国民文化祭等参加推進事業	○第29回国民文化祭(26秋田)及び第23回中四国文化の集い(26島根)に補助対象者が参加する経費を助成	(4,162) 5,293
(9) 選定委員会開催費	○(1)の事業に係る審査基準の設定及び事業計画書等の審査(選定委員数5人)	(273) 127
合 計		(8,935) 10,020

※補助率は、波及効果が複数市町村に及ぶ活動の場合であり、波及効果が単独市町村に限定される活動の場合は、補助対象経費の1/4の額又は当該市町村からの助成額のいずれか低い額を当該補助金の限度額とする。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化団体連 合会活動支援事業	20,901	24,056	△3,155				20,901	
トータルコスト	25,544千円（前年度 28,822千円）[正職員：0.6人]							
主な業務内容	補助金交付事務、鳥取県文化団体連合会への支援							
工程表の政策目標（指標）	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

地域に根ざした創造性の高い意欲的な活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図るとともに、県民が文化に親しめる環境を整備するため、文化的な公共サービスの担い手である鳥取県文化団体連合会の活動を支援する。

2 主な事業内容

(1) 鳥取県文化団体連合会活動支援補助金 20,501千円

（単位：千円）

区 分	内 容	事業費				
(1) 加盟団体実施事業への補助 (23事業)	○鳥取県文化団体連合会加盟の県域文化団体が開催する事業（舞台、文芸等の発表、展示、研修事業、講習会）に対する支援	15,000				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">事業主体</td> <td>県域文化団体</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>2分の1（上限1,500千円 ※モデル事業を行う場合は上限2,000千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※モデル事業とは 障がい者とともに作品を創り上げる活動、異分野文化交流、地域のにぎわいづくりや活性化につながる活動 など</td> </tr> </table>		事業主体	県域文化団体	補助金額	2分の1（上限1,500千円 ※モデル事業を行う場合は上限2,000千円）
事業主体	県域文化団体					
補助金額	2分の1（上限1,500千円 ※モデル事業を行う場合は上限2,000千円）					
	※モデル事業とは 障がい者とともに作品を創り上げる活動、異分野文化交流、地域のにぎわいづくりや活性化につながる活動 など					
(2) 県文連実施事業、事務局運営への支援	○機関誌発行 会員相互の情報交換・情報発信を活性化させるための機関誌の年1回発行に要する経費 ○鳥取県文化団体連合会事務局の運営費への支援	5,501				

(2) 芸術入門講座の実施委託 400千円

県内の文化芸術活動の裾野の拡大を図るため、舞台、展示、文芸、市町村の分野毎に、芸術初心者が様々な文化芸術に一度に触れられる入門講座の実施を委託する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの文化芸術探訪事業	5,363	5,359	4			(雑入) 10	5,353	
トータルコスト	7,685千円（前年度 7,742千円）[正職員：0.3人 非常勤職員0.2人]							
主な業務内容	補助金交付事務、事業実績の確認、催しの企画・広報・実施への協力							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
全国的に大きな業績を残している本県ゆかりの文化芸術分野の先人について県内外に広く発信し、本県の魅力の向上を図るため、業績や魅力を再発掘、再認識し、地域の文化資源として活用する取組を支援する。								
2 主な事業内容								
(1) 顕彰事業の立ち上げへの支援								
区 分	内 容							
事業費	900千円（補助金）							
補助事業	全県的に顕彰すべき文化芸術分野の先人の顕彰事業を行う実行委員会に対し、助成金を交付して、活動の拡大に向けた支援を行う。							
補助率	2分の1 （3年限度／上限300千円、複数の顕彰を行う場合は500千円）							
顕彰予定の先人	池田亀鑑（中世古典文学研究者／日南町出身）ほか							
(2) 全国発信事業への支援								
区 分	内 容							
事業費	2,000千円（補助金）							
補助事業	県民で組織された実行委員会等が実施する文化芸術分野の先人の顕彰事業のうち、特に全国的な情報発信が見込まれる事業について、助成金の交付を行い活動への支援を行う。							
補助率	2分の1（上限500千円）							
顕彰予定の先人	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎翠（小説家／岩美町出身） ・鷺見三郎（ヴァイオリン演奏家／米子市出身） ・吉田璋也（民藝運動家／鳥取市出身） ほか							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
芸術鑑賞教室開催補助金	10,000	10,000	0				10,000	
トータルコスト	10,774千円（前年度 10,794千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県内の児童・生徒等を対象に、文化施設及び学校体育館等において芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな情操を培い、健全な育成に資するため、芸術鑑賞教室を開催する（公財）鳥取県文化振興財団に対して経費の助成を行う。								
2 主な事業内容								
区 分	内 容							
事業費	10,000千円（補助金）							
補助対象者	（公財）鳥取県文化振興財団							
補助事業	(1) 鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校） 高校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催する。 (2) 児童生徒を対象とした芸術文化事業（芸術鑑賞教室、青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演） 小中学校の児童・生徒を対象に、学校等を会場として音楽・児童劇・人形劇等の芸術鑑賞公演を開催する。							
補助率	10/10							
補助対象経費	○上記（1）の事業については、その事業に要する経費 ○上記（2）の事業については、当該公演の実施に係る連絡調整に要する経費（公演に要する経費は市町村が負担）							
青少年のための弦楽入門講座開催支援事業	2,718	2,718	0				2,718	
トータルコスト	3,492千円（前年度 3,512千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	周知説明、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	子ども達や若者が芸術・文化に触れ、感性を磨く機会を確保							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県における弦楽器活動者の裾野の拡大を図るため、弦楽器を始めて間もない青少年や未経験者を対象に弦楽器の魅力伝える活動を行う実行委員会に対して経費助成を行う。								
2 主な事業内容								
区 分	内 容							
事業費	2,718千円（補助金）							
補助対象者	東部、中部、西部の各地区ごとに交響楽指導者、高校弦楽部等顧問、弦楽器指導者などで構成する実行委員会							
補助事業	弦楽器に取り組む青少年の増加や鑑賞者の育成などを目的に、各地区実行委員会が要望を踏まえ、自ら企画運営して行う事業							
補助率	10/10（上限 各906千円）							
補助対象経費	講師の招へいに要する経費（謝金および旅費）、会場および備品借上料、資料購入費、打ち合わせに要する経費、広報宣伝費、その他必要経費							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業	1,000	1,000	0				1,000	
トータルコスト	1,774千円 (前年度 1,794千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	周知説明、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県民が気軽に芸術・文化催事に参加しやすい環境を整備するため、催事開催の際、手話の配置や送迎バスの手配、ならびに託児サービス提供などを行う団体等に対して経費の支援を行う。								
2 主な事業内容								
区分	内 容							
事業費	1,000千円 (補助金)							
補助対象者	県内で芸術・文化催事を主催するにあたり、誰もが当該催事に参加できるような環境整備を行う団体等							
補助事業	手話・要約筆記の設置、公演等における点字訳資料の作成、送迎バスの手配、介助担当者の配置、託児提供等の環境整備							
補助率	10/10 (上限 1事業あたり100千円)							
補助対象経費	上記環境整備に係る経費							
鳥取県魅力ある展示支援事業	2,300	2,300	0				2,300	
トータルコスト	3,074千円 (前年度 3,094千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 文化拠点施設として魅力ある博物館づくりを推進するため、県内の民間の博物館等が実施する作品展及び県立を除く博物館等が実施する収蔵品等調査事業を支援する。								
2 主な事業内容								
(単位: 千円)								
区分	事業費	内 容						
鳥取県魅力ある展示支援事業	1,600	県内の民間の博物館、美術館、資料館等が開催する鳥取県ゆかりの作家の作品展に要する経費の一部を助成する。 補助率: 2/3 (上限 666千円) ※公立館での作品展は、公立館本来の目的であるため対象外。						
鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業	700	県内の県立を除く博物館、美術館、資料館等が実施する所蔵資料及び美術品等の調査に要する経費を助成する。 補助率: 10/10 (上限 350千円)						

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際文化交流事業	12,342	10,235	2,107				12,342	
トータルコスト	16,986千円 (前年度: 15,001千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	派遣団体への経費助成、関係者との連絡調整、派遣に係る各種調整・支援、派遣団随行、出品作品の輸送・展示等							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
本県の文化芸術の発信と相互理解、並びに参加団体の活動意欲と技術の向上を図るため、韓国・江原道をはじめとする環日本海諸国と、青少年及び県内文化団体の芸術文化交流を行う。								
2 主な事業内容								
区分	予算額	内 容						
鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業	2,429	鳥取県文化団体連合会 (県文連) の加盟団体が、韓国江原道等海外の文化団体と交流を行う事業に対して助成し、芸術・文化を通じた国際理解及び文化交流を促進する。(補助率1/2)						
		第2回鳥取県・韓国江原道展示分野交流事業	実施主体	県文連加盟の展示分野団体 (6団体)				
			開催地	鳥取県				
			事業内容	相互交流展示				
		参加団体	韓国江原道芸総展示分野団体					
青少年による文化交流	8,037	韓国江原道で開催される「江陵国際青少年芸術祝典」及び台湾台中市で開催される「台中大甲媽祖国際観光フェスティバル」に本県の青少年を派遣し、伝統芸能等を披露するとともに各地域の青少年と交流し相互理解を図る。						
		江陵国際青少年芸術祝典	開催時期	7月下旬～8月上旬頃				
			開催地	韓国江原道江陵市鏡浦海水浴場				
			参加者	世界10カ国20都市の青少年				
			派遣人員	県内で伝統芸能の普及継承活動に取り組んでいる青少年の団体20名 (予定)				
		台中大甲媽祖国際観光フェスティバル	開催時期	3月下旬頃				
			開催地	台湾台中市内大甲鎮瀾宮ほか各箇所				
			参加者	世界各地の文化芸術団体等				
派遣人員	県内で伝統芸能の普及継承活動に取り組んでいる青少年の団体20名 (予定)							
北東アジア地方政府サミット美術作品展示会	1,876	モンゴル中央県で開催される第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットに併せ開催される第16回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会に本県の美術作家の作品を出展し、本県の文化芸術についての理解を深めていただくとともに、代表団を派遣し、各地域の美術家相互間の交流を促進する。						
		開催時期	平成26年サミット開催時					
		開催場所	モンゴル中央県					
		参加国	韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、鳥取県					
		参加内容	○美術作品の出展 分 野: 日本画・洋画・書道等 出展数: 各地域15点 (合計75点) ○代表団の派遣 人 数: 美術家2名、行政職員1名 派遣期間: 5泊6日					

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化功労賞 知事表彰	3,280	3,268	12				3,280	
トータルコスト	4,828千円（前年度 4,857千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	選定委員会の開催、表彰式の開催、作品展の企画運営、関係者との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県民文化の向上発展を図るため、優れた文化芸術活動により、広く文化の振興に功績のあった方の功労をたたえて表彰するとともに、受賞者の作品展を開催し、その功績を広く県民に紹介する。</p> <p><表彰の対象></p> <p>表彰者は、芸術文化の各分野において顕著な功績をあげ、県民文化の向上発展に貢献した県民（県内に在住していた者を含む。）で、永年にわたり芸術文化活動に従事し、功績顕著な者。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 文化功労賞 2,996千円</p> <p>①表彰式</p> <p>日時：11月下旬（予定、巡回展開催前もしくは巡回展開催初日）</p> <p>場所：知事公邸又は巡回展会場</p> <p>②巡回展</p> <p>県内3カ所程度の巡回展とし、県民へ受賞者とその功績・作品を紹介する。</p> <p>時期：12月下旬～2月下旬（予定、各箇所1週間程度）</p> <p>場所：県内3ヶ所程度（東部、中部、西部各1箇所）</p> <p>(2) 知事賞の交付 284千円</p> <p>公募展などに交付する知事賞の表彰状及び副賞楯交付に係る経費</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術振興審議会運営費	545	545	0				545	
トータルコスト	2, 093千円 (前年度 2, 134千円) [正職員: 0. 2人]							
主な業務内容	審議会の運営、審議会に必要な調査・資料作成、審議会委員との連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>文化芸術の振興に関する事項を調査審議するため、鳥取県文化芸術振興条例に基づき設置した「鳥取県文化芸術振興審議会」を運営する。</p> <p>開催回数: 年4回程度</p> <p>審議会委員: 9人</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>審議会の開催にかかる委員の旅費、報酬等 545千円</p>								
鳥取県文化芸術事業評価事業	1,970	2,074	△104				1,970	
トータルコスト	3, 518千円 (前年度 3, 663千円) [正職員: 0. 2人]							
主な業務内容	評価委員会開催、実地検証様式等の調整							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県が実施又は助成する文化芸術事業において、良質な作品創造や県民の文化芸術事業への鑑賞、参加の機会の充実及び効率的な事業の運営方法の確立を図るため、評価委員会を設置し、事業評価を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 鳥取県文化芸術事業評価委員会を開催し、次に掲げる事項を実施。</p> <p>①評価に係る実施方針の決定</p> <p>②評価項目の作成及び調整</p> <p>③評価報告書の作成、公表及び評価報告会の開催</p> <p>④評価対象事業における改善が必要な事項の指摘</p> <p>⑤被評価者が作成する改善計画の承認</p> <p>(2) 評価委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民 (県内在勤者を含む。) で、調査審議する事項に関し知識又は経験を有する者のうちから知事が任命する委員をもって構成。 ・20名以内 <p>(3) 評価対象事業</p> <p>委員会と県が協議のうえ、次に掲げる事業のうちから選定。</p> <p>①鳥取県総合芸術文化祭主催事業</p> <p>②鳥取県文化団体連合会加盟団体助成事業</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立県民文化会館管理委託費	242,440	235,766	6,674			(雑入) 16,200	226,240	
トータルコスト	244,762千円（前年度 238,149千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県民文化会館（とりぎん文化会館）の管理運営及び本県の文化振興を図るための事業の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：公益財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 <p>2 主な事業内容</p> <p>管理運営委託料 242,440千円</p> <p>（参考）5か年分の委託料（上限額） 1,177,845千円</p>								
鳥取県立倉吉未来中心管理委託費	97,629	90,128	7,501				97,629	
トータルコスト	99,951千円（前年度 92,511千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>倉吉未来中心の管理運営業務の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：公益財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 <p>2 主な事業内容</p> <p>管理運営委託料 97,629千円</p> <p>（参考）5か年分の委託料（上限） 885,755千円</p> <p style="padding-left: 40px;">（うち県委託料 488,145千円）</p> <p>※ 委託料のうち、アトリウムの管理等に要する経費及び利用料減免の補てんに要する経費は県、その他は県と倉吉市（中部市町）が1/2ずつ負担する。</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立県民文化会館等施設整備事業	197,660	37,656	160,004				197,660	
トータルコスト	202,303千円（前年度 42,422千円）[正職員：0.6人]							
主な業務内容	修繕等の発注、備品購入、指定管理者との連絡調整、関係課との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県民文化会館（とりぎん文化会館）及び倉吉未来中心の施設運営に必要な施設修繕、備品更新等に要する経費。								
2 主な事業内容								
（単位：千円）								
内 訳				予算額				
県民文化会館（とりぎん文化会館）								
梨花ホール映像設備改修				508				
県民文化会館他火災報知設備更新				149,105				
梨花ホール床カーペット張替				11,402				
ホール時計設備改修				11,023				
梨花ホール3、4階トイレ改修				17,254				
レストランガスレンジ更新				652				
倉吉未来中心								
大ホール音響反射板制御部改修				4,167				
テレビ共聴設備改修				2,395				
大ホール音響仮設卓更新				1,154				
合 計				197,660				

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7839)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立県民文化会館舞台床改修事業	105,894	73,740	32,154				105,894	
トータルコスト	106,668千円 (前年度 74,534千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係者との連絡調整、関係書類の作成							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>県民文化会館(とりぎん文化会館)の開館から約20年を経過し、利用者の安全確保と利便性向上を図る必要があるため、梨花ホールの舞台床面の傷、剥がれ等が生じている舞台床の張替えを行うとともに、移動式音響反射板の走行レール上の蓋の開閉を自動化する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 梨花ホール舞台床更新工事								
木製床組構造である梨花ホール舞台床面の集成材等の張替えを行う。								
(2) 梨花ホール音響反射板レール蓋自動開閉化改良工事								
舞台上での生演奏等における音響効果を高めるため設置されている可動式の音響反射板は、その移動に際し、重量のある走行レール上の蓋(舞台床を兼ねている)を人力で開閉する必要がある。このため上記舞台床の更新に併せ、蓋が自動で開閉するよう改修を行う。								
3 必要経費の内訳等 (平成25~26年度継続費 180,108千円)								
年 度	予 算 額		内 容					
平成25年度	74,214千円		・実施設計委託 ・工事請負費(前金)					
平成26年度	105,894千円		・工事請負費、工事監理費					
合 計	180,108千円							
鳥取県立童謡館管理委託費	118,712	83,051	35,661			(雑入) 22,011	96,701	
トータルコスト	121,034千円 (前年度 85,434千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>童謡館の管理運営及び文化事業の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者: 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 ・指定期間: 平成26年4月1日~平成31年3月31日 								
2 主な事業内容								
(1) 管理運営委託料 74,690千円								
(参考) 5か年分の委託料(上限額) 741,950千円 (うち県委託料 373,450千円)								
※委託料は、文化事業費(童謡・唱歌に係る事業は県負担、おもちゃに係る事業は鳥取市負担)を除き、県と鳥取市で1/2ずつ負担する。								
(2) 施設修繕・備品更新等 (単位: 千円)								
内 訳		予 算 額						
中央監視装置更新業務		32,236						
からくり時計改修業務		8,227						
非常用照明電源装置の鉛蓄電池更新		3,559						
合 計		44,022						

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																	
鳥取県立米子コンベンションセンター管理費	196,191	170,174	26,017				196,191																	
トータルコスト	199,287千円 (前年度 173,352千円) [正職員: 0.4人]																							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等																							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充																							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 米子コンベンションセンターの管理運営を指定管理者に委託する。 ・指定管理者: 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー ・指定期間: 平成26年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>2 主な事業内容 (1) 管理運営委託料 130,489千円 (参考) 5か年分の委託料(上限額) 991,295千円 (うち県委託料 660,862千円) ※委託料の負担割合 県: 米子市 = 2:1</p> <p>(2) 施設修繕 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 訳</th> <th style="text-align: center;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水管改修</td> <td style="text-align: right;">32,794</td> </tr> <tr> <td>多目的ホールホワイエカーペット改修</td> <td style="text-align: right;">9,483</td> </tr> <tr> <td>自動制御設備更新</td> <td style="text-align: right;">13,662</td> </tr> <tr> <td>レストラン椅子補修</td> <td style="text-align: right;">1,868</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール床機構昇降ジャッキ補修</td> <td style="text-align: right;">4,763</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール床機構ギヤオイル取替</td> <td style="text-align: right;">3,132</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">65,702</td> </tr> </tbody> </table>									内 訳	予算額	排水管改修	32,794	多目的ホールホワイエカーペット改修	9,483	自動制御設備更新	13,662	レストラン椅子補修	1,868	多目的ホール床機構昇降ジャッキ補修	4,763	多目的ホール床機構ギヤオイル取替	3,132	合 計	65,702
内 訳	予算額																							
排水管改修	32,794																							
多目的ホールホワイエカーペット改修	9,483																							
自動制御設備更新	13,662																							
レストラン椅子補修	1,868																							
多目的ホール床機構昇降ジャッキ補修	4,763																							
多目的ホール床機構ギヤオイル取替	3,132																							
合 計	65,702																							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米子コンベンションセンター舞台音響設備改修工事	225,960	171,337	54,623				225,960	
トータルコスト	228,282千円 (前年度 173,720千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係者との連絡調整、関係書類の作成							
工程表の政策目標 (指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

総合評価入札方式 (設計施工一括) により、米子コンベンションセンター多目的ホール及び小ホールの舞台音響設備機器を更新する。

当該事業については、平成25年9月に実施設計委託が完了し、導入機器を製作しているところであり、ホールを閉鎖して行う音響機器据付工事については平成26年12月から平成27年2月末にかけて施工する。

2 主な事業の内容

経年劣化による故障が増加し、生産終了による部品交換が困難となっている多目的ホール及び小ホールの音響設備について、音源を混合・調整する音響調整卓やスピーカー等の機器を更新するとともに、技術革新に対応したデジタル回線を敷設する。

3 必要経費の内訳等 (平成25~26年度債務負担行為 416,940千円)

年度	予算額	内容
平成24年度	5,575千円	・選定委員会開催経費 ・実施設計委託 (前払金)
平成25年度	171,337千円	・実施設計委託 ・工事請負費 (前払金)
平成26年度	225,960千円	・工事請負費、工事監理費
合計	402,872千円	

<実施スケジュール>

24年度			25年度				26年度						
1月	~	3月	4月	~	9月	~	3月	4月	~	11月	12月	~	2月
←→													
入札・契約													
←→													
実施設計委託													
						←→							
						機器製作工事				←→			
										機器据付工事			

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	190,524	200,310	△9,786				190,524	
トータルコスト	192,072千円 (前年度 201,899千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等							
工程表の政策目標 (指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
夢みなとタワーの管理運営を指定管理者に委託する。								
・ 指定管理者: 一般財団法人鳥取県観光事業団								
・ 指定期間: 平成26年4月1日～平成31年3月31日								
2 主な事業内容								
(1) 管理運営委託料 113,286千円								
(参考) 5か年分の委託料 (上限額) 592,145千円								
(2) 施設修繕・備品更新等 (単位: 千円)								
				内 訳		予算額		
				低層棟ドーム外壁改修		28,167		
				低層棟雨漏り改修		9,148		
				タワー棟外壁改修		39,923		
				合 計		77,238		
文化観光局管理運営費	19,437	19,924	△487			(収益事業収入) 2,438 (雑入) 7	16,992	
トータルコスト	56,584千円 (前年度 58,055千円) [正職員: 4.8人 非常勤職員: 1.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、文化観光局業務の方針検討、負担金の支払い、予算・議会関係業務等							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
(単位: 千円)								
事業名	事業内容						予算額	
一般財団法人地域創造負担金	一般財団法人地域創造の運営基盤を整備するため、宝くじの売上額に応じて財政的支援を行う。						2,438	
エンジン01文化戦略会議会費	知事が会員として参画するエンジン01文化戦略会議にかかる年会費。						30	
事務費等	非常勤職員の報酬、文化観光局にかかる事務費等。						16,969	
合 計						19,437		

平成26年度一般会計当初予算説明資料

文化政策課（内線：7134）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取ゆかりの文学発信人材育成事業	(7,651)	0	(7,651)			(7,651)		

※緊急雇用創出事業で一括計上

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県ゆかりの文学者の顕彰気運を高めるとともに、県内外に「ゆかりの地」としての魅力を発信するため、顕彰事業にかかる交流イベントの企画運営や広報物の編集等を行う者を雇用し、実務能力の向上につなげる。

〔 本事業は、国の平成25年度臨時経済対策において新たに創設された「地域人づくり事業」について、「鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用し実施するもの。 〕

2 主な事業内容

(1) 顕彰事業の広報

平成26年度に生誕130周年を迎える尾崎放哉の記念事業の広報活動を行う。

(2) ゆかりの地周遊マップの作成・発信

街めぐりに役立つための「放哉ゆかりの地」周遊マップを作成するとともに、WEB上で発信する。

(3) 交流事業の企画・運営

放哉終焉の地である小豆島との連携事業を企画・運営する。

(4) 「ゆかりの品」展示の企画・展示

放哉記念館（香川県小豆島）や県立図書館所蔵の尾崎放哉ゆかりの品を展示する。

3 雇用予定人数

1名

4 事業実施期間

平成26年4月～平成27年3月（1年間）

<参考>地域人づくり事業

失業者に対する地域のニーズに応じた人材育成及び就業支援又は短期の雇用機会を提供した上で、地域のニーズに応じた人材育成及び就業支援並びに在職者の賃金引き上げ等の処遇改善を目的として、事業者が行う販路拡大等の取組支援のために、民間企業等に対する委託により行う事業。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839、7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 植田正治生誕100周年記念事業	0	5,000	△5,000					
トータルコスト	0千円（前年度 5,794千円）							
事業内容の説明								
（廃止）平成25年度単年度事業として実施したため。								
(廃止) 第51回全国女流アマ囲碁都市対抗戦開催支援事業	0	2,000	△2,000					
トータルコスト	0千円（前年度 2,794千円）							
事業内容の説明								
（廃止）平成25年度単年度事業として実施したため。								
(廃止) エンジン02鳥取（仮称）開催事業	0	4,500	△4,500					
トータルコスト	0千円（前年度 5,294千円）							
事業内容の説明								
（廃止）平成25年度単年度事業として実施したため。								
(廃止) 第12回JCF学生映画祭開催支援事業	0	3,000	△3,000					
トータルコスト	0千円（前年度 3,794千円）							
事業内容の説明								
（廃止）平成25年度単年度事業として実施したため。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）

2目 計画調査費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部振興活動費	3,000	3,000	0				3,000	
トータルコスト	8,417千円（前年度 8,561千円）[正職員0.7人]							
主な業務内容	地元市町及び民間と連携したまちづくり、観光促進、文化振興、三徳山等文化遺産の活用に向けた情報発信、企画調整など							
工程表の政策目標(指標)	観光資源の掘り起こし・磨き上げ、広域連携の推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>文化振興、観光振興、三徳山等文化遺産の活用及び地域づくり活動を行うため、地元自治体や民間団体と連携した取組を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 歴史文化や景観資源及び地元住民（団体）等を活用・連携したまちづくり、地域文化づくりに関する取組</p> <p>(2) 滞在型・体験型観光の開発に関する取組</p> <p>(3) 中部地区における外国人観光客誘致の推進</p> <p>(4) 国立公園編入を契機とした三徳山の県内外への価値の再認識・発信に関する取組</p> <p>(5) 鳥取力創造運動への支援、地域づくりの取組に係る機運醸成</p> <p>(6) 地元と連携・協働し、ウォーキングを活用した地域づくりを推進など</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7842)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 江原道・吉林省友好交流20周年記念事業	24,826	0	24,826				24,826	
トータルコスト	29,470千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	韓国江原道・中国吉林省との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県と韓国江原道及び中国吉林省との友好交流20周年を契機として、これまでの交流の成果を未来に向けて更に発展させるため、青少年・障がい者・スポーツ交流を中心とした記念事業等を実施する。

2 主な事業内容

(1) 江原道友好交流20周年記念事業 (15,714千円)

ア 記念行事の実施 (7,430千円)

時期	26年11月上旬: 全国障がい者芸術文化祭に併せて実施
内容	・シンポジウム (両知事によるトークセッション等)、パネル展示 ・江原道知事による鳥取環境大学での講演 ・両地域の障がい者による記念モニュメント共同制作又は共同演奏 等

イ 様々な主体による交流事業と連携 (6,349千円)

内容	・スポーツ (日韓ピースウォークへの青少年交流団参加、鳥取マラソンへの選手招待) ・観光 (米子ソウル便・DBS利用の20周年記念ツアー) など ・新聞へのシリーズ記事連載
----	--

ウ 江原道開催記念行事への参加 (1,935千円)

(2) 吉林省友好交流20周年記念事業 (9,112千円)

ア 記念行事の実施 (5,029千円)

内容	・吉林省長による講演、ビジネスマッチング、青少年交流、伝統芸能団公演 ・鳥取マラソンへの選手招待 など
----	--

イ 吉林省開催記念行事への参加 (4,083千円)

3 これまでの取組状況、改善点

- 鳥取県と江原道は、1994年に友好提携を締結して以来、福祉・文化・環境・水産・産業・青少年・スポーツなど多岐にわたる交流を行っている。
- 鳥取県と吉林省は、1994年に友好交流の覚書を交わして以来、人的交流と経済交流を核とした交流を進めている。
- 近隣の国家間の関係が冷え込む中、地方が果たす役割を十分に意識しながら、未来に向けた交流の基盤づくりを進めていく。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7122）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
モンゴル中央県交流推進事業	4,621	2,332	2,289				4,621	
トータルコスト	10,812千円（前年度 8,687千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	モンゴル中央県との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

モンゴル中央県との交流を未来志向で着実に発展させていくため、鳥取県内大学へ留学する中央県出身者を対象にした奨学金制度を新たに創設するとともに、農業技術研修員及び行政実務研修生の受入並びに農業専門家の派遣を引き続き行う。

2 主な事業内容

(1) (新) 奨学金制度の創設(2,489千円)

時期・人数	平成26年4月～、1名
留学先	鳥取県内の大学
求める人物像	将来、鳥取県のパートナーとなり、両地域間の交流のコーディネーターとして活躍する中央県出身の若者
期待する役割	<在学中> ・インターネットを活用した鳥取県の情報発信 ・鳥取県内大学の学生や県民との交流 ・両地域の交流事業への協力 <卒業(帰国)後> ・交流のコーディネーター ・継続的な鳥取県の情報発信と現地情報の提供、交流事業への協力
支援内容	渡航費、学費、生活費(月額117千円)を対象とする。 ※日本政府(文部科学省)奨学金留学生(学部生)と同額

(2) その他(2,132千円)

- ・農業分野の交流
 - 農業研修員の受入 [人数] 1名、[期間] 9月～2ヶ月間
 - 農業専門家の派遣 [人数] 1名、[期間] 8月～1週間
- ・行政実務研修生の受入 [人数] 3名、[期間] 12月～1週間 など

3 これまでの取組状況、改善点

○モンゴル中央県とは平成9(1997)年に友好交流の覚書に調印し、鳥取県モンゴル中央県親善協会等の民間団体や医療機関と協力しながら、青少年、農業、医療分野などの交流を深めてきているが、今後、これまでの交流を継続しながら将来につながるよう、中央県と鳥取県をつなぐ若い人材の育成が必要である。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課 (内線：7240)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,250	1,250	0				1,250	
トータルコスト	10,537千円 (前年度 10,783千円) [正職員：1.2人]							
主な業務内容	会議参加に係る企画・立案、開催地域等との連絡調整、資料作成・通訳等							
工程表の政策目標(指標)	北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットなど、広域的な地域間の交流を推進する。							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 本県と本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため開催される「第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に鳥取県代表団を派遣する。 2 主な事業内容 (1) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加 (夏頃、モンゴル中央県) (2) 実務代表者会議 (サミット事前準備会合) への参加 (春頃) 3 これまでの取組状況、改善点 これまでのサミットの合意により、経済協議会、環境保護機関実務者協議会、大学教授協議会、マスコミ代表者会議が設立された。さらに、環日本海定期貨客船航路、米子ソウル便の利用促進に対する相互協力等の合意がなされるなど各分野での相互連携の契機となっており、地域の特徴を活かした観光発展、北東アジア地域の交通網の維持・発展等の具体的な取組を一層推進する。								
東アジア多地域連携交流事業	3,829	4,554	△725				3,829	
トータルコスト	17,759千円 (前年度 17,264千円) [正職員：1.8人]							
主な業務内容	事業実施に係る企画・立案、関係機関との連絡調整、資料作成、随行通訳等							
工程表の政策目標(指標)	境港、米子空港等を東アジア地域との交流の拠点とし、環日本海地域を中心として、経済・ビジネス活動、文化、青少年、地域活動、スポーツ、研究、大学等の多様な分野でグローバルな幅広い交流を推進する。交流する地域の状況に応じ、双方にメリットのある交流を進める。							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 青少年の国際感覚の涵養と環日本海定期貨客船、米子ーソウル便などの交通・交流基盤を広くPRするため、青少年スポーツ交流及び海外大学生インターンシップ受入事業を実施する。また、東アジア地域の相互の関係強化を図るため、タイ王国の日本語履修者等を本県に招聘する。 2 主な事業内容 (1) 青少年スポーツ交流事業 (1,913千円) [時期：7月頃、場所：韓国江原道、派遣人数：15名程度、内容：バドミントン・テニスのスポーツ交流、文化・伝統芸能体験交流など] (2) 海外大学生インターンシップ受入事業 (536千円) [時期：7月中旬～8月下旬頃 (40日程度)、受入人数：40名程度、内容：接遇研修、県内観光施設視察、職場体験、成果報告会] (3) (新) タイ王国鳥取県サポーター育成事業 (1,380千円) [時期：6月頃、受入人数：10名程度、内容：県内大学生との交流、県内産業の視察、文化体験、ホームステイ等] 3 これまでの取組状況、改善点 ○青少年スポーツ交流事業は、環日本海定期貨客船就航1周年を記念して、鳥取県・江原道・沿海地方青少年バドミントン交流大会を鳥取県で実施して以降、3地域持ち回りで開催。昨年からはテニスも加えた二種目で実施し、交流の架け橋となる次世代の人材育成に寄与している。 ○海外大学生インターンシップ受入事業は、台湾の大学からの提案でモデル的に開始し、平成24年からは韓国江原道の大学を加え、外国人観光客受入対応能力の向上や本県の魅力発信に繋げている。今後は職場体験前の研修充実と受入施設の掘り起こしが必要である。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線：7240)

1目 企画総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシア極東地域交流推進事業	3,965	3,965	0				3,965	
トータルコスト	20,217千円 (前年度 20,647千円) [正職員：2.1人]							
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、来県者随行・通訳等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
ロシア極東地域での本県の認知度を高め、友好交流関係を発展させるため、「青少年交流」、「交流地域での鳥取県PR」、「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 青少年交流 (1,500千円)								
沿海地方青少年環境交流団の鳥取県訪問				7月頃	30名程度			
鳥取県青少年柔道交流団の沿海地方派遣				8月頃	15名程度			
ロシア極東地域の日本語履修者交流団の鳥取県訪問				12月頃	12名程度			
(2) 交流地域での鳥取県PR (1,565千円)								
第5回鳥取県文化デイズ (時期：平成27年3月頃、場所：沿海地方・ハロワ地方 (巡回))								
(3) 県民向けのロシア紹介 (900千円)								
国際交流員によるロシア講座 (ロシアの気候・風土等の紹介、ロシア料理・手芸体験等)								
3 これまでの取組状況、改善点								
ロシア極東地域において様々な分野の交流事業等を実施したことにより、鳥取県の認知度は高くなっており、この状態を維持・発展しつつ、更なる関係強化が必要である。								
韓国交流推進事業	5,417	5,331	86				5,417	
トータルコスト	21,669千円 (前年度 22,013千円) [正職員：2.1人]							
主な業務内容	韓国(江原道)との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国(江原道)との交流を推進するため、鳥取県及び江原道職員の相互派遣等を通じた様々な分野における情報交換等を行う。併せて、琴浦町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語発表大会を開催する。								
2 主な事業内容								
(1) 江原道職員の受入や交流協議団の相互派遣等 (4,056千円)								
(2) 琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会への助成 (500千円上限・琴浦町と同額負担)								
(3) 「話してみよう韓国語」鳥取大会開催 (861千円)								
(時期：12月頃 運営業務：国際交流財団に委託)								
3 これまでの取組状況、改善点								
○江原道との職員相互派遣を通じ、両県道の行政制度等をはじめとする相互理解の促進、人的ネットワークの形成、そして更なる友好関係の構築に寄与しており、この状態を維持・発展しつつ発展していく。								
○県内日韓交流情報発信拠点の日韓友好資料館の魅力づくりの参画や韓国語発表大会を開催することで、県民の国際理解と将来の韓国交流を担う人材の育成に寄与している。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7122)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中国交流推進事業	1,039	3,666	△2,627				1,039	
トータルコスト	5,682千円 (前年度 10,021千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	河北省との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
河北省との今後の交流推進や、大気汚染等の問題解決に協力するため、環境分野の専門家を中心とした調査・交流協議団を派遣する。また、吉林省との交流については、吉林省友好交流20周年記念事業(別事業)に統合して実施する。								
2 主な事業内容								
時期・人数	9月下旬(予定)、環境分野の専門家を中心に3名程度							
内容	現地調査、情報収集、関係機関との協議							
3 これまでの取組状況、改善点								
○河北省との交流は、平成25年度にアニメ・まんが交流協議団を派遣し、鳥取県への教育旅行などの事業化に向けた調整を進めているところ。								
○今後も河北省との交流については、目的・成果を一層明確にしながら取り組むことが必要であり、大都市に隣接する地理的特徴を活かした分野(観光・文化、スポーツ、環境など)を中心に交流を進めていく。								
事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
台湾交流推進事業	4,014	3,300	714				4,014	
トータルコスト	7,884千円 (前年度 7,272千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	台湾との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援、来県者随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	相互信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
台湾台中市との青少年交流を通じた相互理解と国際理解を促進するため、中学生サマースクール団を派遣し、台中市へ芸能交流団を派遣する。								
2 主な事業内容								
台中市への中学生サマースクール団派遣(隔年相互派遣)	8月頃	10名程度	900千円					
台中市への芸能交流団派遣(ランタンフェスティバル公演)	2月頃	12名程度	1,314千円					
台中市への交流協議団派遣 他			1,800千円					
3 これまでの取組状況、改善点								
○梨穂木の取引を縁に始まった台中県との交流は、台中市となった以降も芸能交流団派遣や青少年の相互派遣が継続して実施され、台中市での知名度向上と相互理解の深化に繋がっている。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7030）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ブラジル交流促進事業	12,960	12,679	281				12,960	
トータルコスト	24,569千円（前年度 24,595千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務、ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
母県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 技術研修員・留学生受入事業（8,249千円）								
ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における技術研修、修学の間を設け、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。（研修員1名、留学生1名）								
(2) 中堅リーダー交流（派遣）、日本語指導員派遣事業（4,711千円）								
・ブラジルへ中堅リーダーを派遣して、民間主体による自立した交流の活性化を図る（2名）。								
・第二アリアンサ鳥取村へ日本語指導員（教員1名）を派遣し、ブラジルとの交流推進を図る。								
3 これまでの取組状況、改善点								
○留学生・研修生には専門的な知識・技術を学ぶことはもとより、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており帰国後のブラジル移住者の地位向上に貢献しているといえる。								
○各事業とも世代交代が進む県人会の活動を活性化させるものとして、関係者からの評価も高い。								
国内交流推進事業	3,905	1,905	2,000				3,905	
トータルコスト	7,001千円（前年度 7,466千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	市町村等が実施する国内交流事業等への人的支援や助言、補助金業務							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、全国各地の鳥取県とゆかりのある地域等と県内の市町村や民間団体との交流を推進する。								
2 主な事業内容								
国内交流トライアル補助金 3,500千円（2年間支援可能）								
対象事業	市町村や民間団体が新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡大を含む）							
事業実施主体	県内市町村（複数市町村による連携含む）及び民間団体							
補助率	1/2（上限額500千円）							
補助対象経費	事業を実施するため必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等）							
※支援対象に民間団体を新たに追加								
3 これまでの取組状況、改善点								
○平成25年度は5団体を支援。								
○高速道路網の整備や新規航空路線の開設等により、交流事業をさらに推進できる環境も整っていることから、平成26年度は一部改正を行い、市町村だけでなく民間団体が行う交流事業へも対象を拡大し、積極的に支援する。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課（内線：7122）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自治体職員協力交流事業	7,057	7,057	0				7,057	
トータルコスト	8,605千円（前年度 8,646千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	行政研修員受入に係る研修機関等との連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 本県の友好交流先及び海外拠点（東南アジアビューロー）設置地域との関係を強化するため、中国吉林省、タイバンコク都の職員を「協力交流研修員」として受け入れる。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 受入人数：2名（予定：中国吉林省1名、タイバンコク都1名） (2) 受入時期：5月下旬に来日し、全国市町村国際文化研修所（JIAM）で約1ヶ月の日本語研修。その後、6月下旬に来県してから翌年3月中旬の帰国まで、県庁等で専門研修。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 ○平成8（1996）年から受入を開始し、中国吉林省、韓国江原道からの研修員を中心に現在までに計28名を受け入れている。（内訳：吉林省14名、江原道10名、その他4名） ○研修員は帰国後も、本県と派遣元地域との交流を継続し、深めていくうえで欠かせない人材となっている。今後も事業を進めていくうえで本県と派遣元地域の交流促進において中心となるような人材を発掘する必要がある。</p>								
国際交流員等活用事業	67,862	69,170	△1,308			(雑入) 252	67,610	
トータルコスト	73,279千円（前年度 74,731千円） [正職員：0.7人、非常勤職員：13.0人]							
主な業務内容	国際交流員の雇用、民間国際交流事業への派遣、研修の企画実施等							
工程表の政策目標(指標)	多文化共生社会の実現に向けて、国際交流財団の取組みを支援し、県として取り組むべき課題に取り組んでいく。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 JETプログラム（外国青年招致事業）によって招致する国際交流員及び県独自の採用による国際交流員を配置し、地域レベルの国際交流の進展を図り、もって地域の国際化を促進する。</p> <p>《国際交流員の国別内訳》 韓国5名、中国2名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏1名、台湾2名 計13名</p> <p>2 主な事業内容 (1) 13名の国際交流員を配置し、交流地域との間の交流事業において通訳、翻訳、連絡調整等を行うとともに、小学校、公民館等の要請を受けて国際理解講座等を実施し、地域住民の国際理解の推進を図る。 (2) 県内に配置された国際交流員、外国語指導助手を対象に、県主催で新規来日者説明会、中間研修、通訳・翻訳研修（国際交流員のみ対象）などの研修を実施し、参加者の能力向上や業務の円滑化を図る。</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課 (内線：7108)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	48,308	47,876	432				48,308	
トータルコスト	52,951千円 (前年度 52,642千円) [正職員：0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標 (指標)	多文化共生社会の実現に向けて、国際交流財団の取組みを支援し、県として取り組むべき課題に取り組んでいく。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行うため、公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 公益財団法人鳥取県国際交流財団への助成 47,508千円 (補助率1/2 (一部10/10))								
①多言語情報発信事業 (1,214千円)：ホームページ運営・メールマガジン配信等。								
②コミュニケーション支援事業 (6,870千円)：日本語クラス、専門通訳派遣、在住外国人の生活支援等。								
③人材育成事業 (401千円)：医療通訳ボランティア等人材のスキルアップ支援等。								
④ボランティア活動の推進と活性化事業 (143千円) ホームステイ受入れ支援等。								
⑤県民の国際理解推進事業 (9,678千円)：在住外国人と地域住民の相互交流促進等。								
⑥私費留学生奨学金の支給 (3,632千円)：私費留学生への奨学金支給。								
⑦共通事業 (25,570千円)：事務所運営、職員人件費等経費。								
【主な改正内容】								
・コミュニケーション支援：コミュニケーション通訳ボランティア派遣事業と医療通訳ボランティア派遣事業を統合								
・私費留学生奨学金の支給：環日本海交流奨学生枠を創設								
(2) 事務費 (800千円)								
3 これまでの取組状況、改善点								
○在住外国人及び県民の国際交流等を支援するため、鳥取県国際交流財団においても常設の相談体制に加え積極的に県内各地で活動を実施するなど取り組みの幅を拡大している。								
交流ネットワーク活用事業	16,131	16,141	△10			(収益事業収入) 6,000	10,131	
トータルコスト	18,453千円 (前年度 18,524千円) [正職員：0.3人]							
主な業務内容	情報提供業務の委託、県外事務所との連携による全国の県人会との連絡調整等							
工程表の政策目標 (指標)	市町村と連携した国内交流の推進、タイを中心とした東南アジアとのネットワーク構築、バーモント州との青少年交流等を進める。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 鳥取県とゆかりのある交流組織等を活用し、鳥取県情報の発信を行い、交流の活発化を図る。								
2 主な事業内容								
(1) 世界とつとりファンクラブ会員等への情報提供等委託 (1,000千円) 会員 (国際交流員等で県内に滞在した外国人) へ鳥取県の情報を提供し、鳥取県をPRする。								
(2) 県外県人会等との協働による情報発信 (561千円)：県人会の各種催事に参加し、活動支援を行う。								
(3) 自治体国際化協会の分担金 (6,000千円) (財) 自治体国際化協会が設置する海外事務所の運営費用等に係る分担金を負担する。								
(4) 海外県人会助成事業 (1,000千円) (補助率10/10)：海外の3つの県人会の活動に対し助成を行う。								
(5) 青少年国際協力支援事業 (720千円) (補助率10/10) 青年海外協力隊鳥取県OV会が開催する帰国報告会の開催等に助成を行う。								
(6) 事務費 (6,850千円)								
3 これまでの取組状況、改善点								
各県人会総会へ出席し、鳥取県の情報発信を行い、ふるさと納税などへの協力を依頼している。また、県人会、ファンクラブ各会員による口コミやSNS等で鳥取県の情報を広くPRしていただいている。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7108）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
パスポート発給事務費	30,201	29,505	696			(手数料) 25,000	5,201	
トータルコスト	44,131千円（前年度 43,804千円）[正職員：1.8人]							
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 旅券法に基づいて、旅券の申請受理、作成及び適正な交付を行うため、民間委託をする。</p> <p>2 主な事業内容 県庁・中部総合事務所・西部総合事務所・日野町役場・日南町役場・江府町役場・境港市役所・倉吉市役所の8箇所に窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び適正な交付を行う。 <委託業務の概要> ①委託対象業務 ○電話案内、申請・交付窓口業務（県庁・中部総合事務所・西部総合事務所） ○旅券作成業務（全窓口分） ②委託対象外業務 旅券発給（法定受託事務）を確実に実施するために必要な業務 ○作成の最終審査 ○慎重かつ迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務（判断困難事案、緊急発給事案、不正取得防止対応）等 ③委託期間 平成25年4月1日から5年間（平成25～29年度）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 より住民利便の向上を図ることができるよう、平成22年度は日野郡3町へ、平成23年度は境港市へ、平成24年度は倉吉市へ権限移譲を実施した。</p> <p><参考>平成24年度パスポート発給実績 県庁5,299件、中部1,607件、西部3,934件、 倉吉市173件、境港市524件、日南町50件、日野町33件、江府町17件 県内計11,637件</p>								
国際関係調整費	18,762	19,200	△438				18,762	
トータルコスト	34,240千円（前年度 35,088千円）[正職員：2.0人]							
主な業務内容	各国からの訪問に係る関係機関・関係部署等との連絡調整、受入資料の作成、訪問団等の受入、課内外の業務の連絡調整、課内業務の総括等							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 環日本海諸国等への各種訪問団派遣及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するための経費である。（主に事務費）</p> <p>2 これまでの取組状況、改善点 予算計上のない臨時的な交流事業に対しても、迅速かつ機動的に対応することができ、友好交流地域との更なる友好増進に寄与している。</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費（総合事務所分は地方機関計上予算）

観光政策課（内線：7239）→ 事業実施：観光戦略課
 国際観光推進課（内線：7221）→ 事業実施：観光戦略課
 西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりスタイルエコ ツーリズム推進事業	32,400	34,540	△2,140				32,400	
トータルコスト	37,818千円（前年度40,101千円）[正職員：0.7人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
多様な自然環境、歴史文化遺産、食材等鳥取ならではの地域資源と各分野の人材を活用した体験型旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の潜在力や秘めた魅力をより深く来県客に伝えることにより、国内外の鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。								
2 主な事業内容								
【Ⅰ 全県域の連携強化 4,000千円（観光政策課・西部総合事務所）】								
(1)（新）連携組織を通じたプロモーション等の実施 1,000千円								
県域のエコツーリズム連携組織「鳥取県エコツーリズム推進連絡協議会（仮称）」を立ち上げ、団体間の情報共有や共同プロモーション活動などを通じ、鳥取県を「エコツーリズムのメッカ」として全国・世界へ向けて強力に発信する。								
<ul style="list-style-type: none"> ・合同研修会の開催 ・旅行会社訪問、商談会等の合同プロモーション 								
(2) スマートフォンアプリを活用した情報提供 3,000千円								
鳥取県の観光情報を提供するスマートフォンのアプリ「TOTTRIP」（とっとりっぷ）について、エコツーリズム国際大会の成果を踏まえたエコツアー情報を掲載するなど、更なるコンテンツの充実を行い、国内外から本県を訪れる旅行者への情報提供を強化する。								
<ul style="list-style-type: none"> ・提供情報 観光スポット、観光モデルコース、グルメ、宿泊施設、公共交通機関等の情報 ・対応言語 日本語・英語・韓国語 （委託先 NPO法人大山中海観光推進機構）								
【Ⅱ 国内誘客の推進 18,000千円（観光政策課）】								
地域資源の観光メニュー化や規模拡大を行う団体を支援するとともに、旅行会社やNEXCO西日本と連携した情報発信及び販売促進を行う。								
(1) 教育旅行誘致（鳥取県観光連盟委託） 5,000千円								
① 旅行会社等への売り込み強化 2,000千円								
県外旅行会社を対象とした現地視察研修会の開催								
<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察研修会 5名程度×約5回 ・教育旅行メニューガイドブックの作成 								
②（新）教育旅行誘致促進支援 3,000千円								
本県での修学旅行受入を積極的に進めるため、誘引要素として宿泊費助成を設け、総合的な誘致促進を図るもの。								
補助対象者		県外の小、中、高等学校						
補助額		宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）						

(2) 観光メニュー造成や受地整備に対する支援（スタートアップ型） 5,000千円

補助対象者	市町村、観光協会など
補助額	1/2（上限500千円）

(3) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大への取組に対する支援（規模拡大型） 7,500千円

補助対象者	市町村、観光協会など
補助額	1/2（上限2,500千円）

(4) NEXCO西日本と連携したカードラリーの実施 500千円

NEXCO西日本と西日本の各県が共同で実施するカードラリー「やまごころ周遊記」に参加し、高速道路を活用した情報発信と観光誘客に取り組む。

【Ⅲ（新）海外誘客・交流の推進 3,400千円（国際観光推進課）】

平成25年度に実施した「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」の成果を活かし、エコツーリズムの先進地であるマレーシアとの交流を深めながら、エコツーリズムによる海外誘客及びガイド等の人的交流を進める。

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) 先進地との交流・人材育成	2,400	
マレーシアへの訪問団派遣	2,100	エコツアービジネス先進国マレーシアへの訪問団派遣（総勢約40名） ・本県エコツーリズム関係者と現地関係者との交流 ・県内のエコツアーガイド、大学生の派遣研修
エコツアーガイド研修会の開催	300	・マレーシア等先進地の有名ガイドによる本県のエコツアーガイド研修会
(2) 海外からの誘客促進	1,000	
モニターツアー・ファムツアーの実施	500	・マレーシアの旅行関係者（4人×1回）
海外向け広報宣伝	500	・観光展・商談会等への出展

【Ⅳ 滞在型観光「住まうように旅する」の推進 7,000千円（西部総合事務所）】

「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」の参加者に提供して好評を博した旅行商品（エコツアープログラム）の販売促進、人材育成等に取り組む団体を支援する。

区 分	内 容
補助対象者	エコツーリズムの推進団体（設立検討中、市町村等で構成予定）
補助対象事業の内容	①情報発信 WEB、雑誌等での情報発信、マスコミ招致等 ②商品造成及び販売 エコツアーガイドブック掲載商品の販売促進等 ③人材育成及び普及啓発 エコツアーガイド養成研修会、シンポジウムの開催等
補助率等	1/2（上限7,000千円）

※平成26年度は、県西部地域の推進団体の活動を支援予定。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																	
(新)キラめく100万球ウインターイルミネーション支援事業	50,000	0	50,000			(基金繰入金) 50,000																		
トータルコスト	50,774千円（前年度 0千円）〔正職員：0.1人〕																							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等																							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。																							
事業内容の説明																								
<p>1. 事業の目的・概要</p> <p>県内空港の航空路線拡大、山陰自動車道等の高速道路開通等により、山陰における周遊が活性化する好機を捉え、入込客が減少する冬期観光の起爆剤となるウインターイルミネーションの実施に対して支援を行う。</p> <p>2. 主な事業内容</p> <p>○「とっとり花回廊ウインターイルミネーション」に対する支援（定額補助 45,000千円）</p> <p>とっとり花回廊の15周年記念企画及び冬季観光誘客のため実施する「とっとり花回廊ウインターイルミネーション」を支援する。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>(一財)鳥取県観光事業団</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>電球の購入、設置・撤去、デザイン等</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>45,000千円</td> </tr> <tr> <td>支援期間</td> <td>単年度（次年度以降の維持費等は観光事業団が負担）</td> </tr> </table> <p>○「鳥取砂丘イリュージョン」に対する支援（定額補助 5,000千円）</p> <p>従来、鳥取砂丘新発見伝事業の公募事業として実施されてきた「鳥取砂丘イリュージョン」をより集客力、発信力のある観光イベントとして進化させる取り組みを支援する。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>新生鳥取砂丘イリュージョン実行委員会（仮称）</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>電球購入、設置・撤去、デザイン等</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>12,000千円 〔内訳〕県 5,000千円、市 5,000千円、残余は協賛金等</td> </tr> <tr> <td>支援期間</td> <td>3年程度とし毎年度誘客効果等を検証</td> </tr> </table>									補助対象者	(一財)鳥取県観光事業団	事業内容	電球の購入、設置・撤去、デザイン等	総事業費	45,000千円	支援期間	単年度（次年度以降の維持費等は観光事業団が負担）	補助対象者	新生鳥取砂丘イリュージョン実行委員会（仮称）	事業内容	電球購入、設置・撤去、デザイン等	総事業費	12,000千円 〔内訳〕県 5,000千円、市 5,000千円、残余は協賛金等	支援期間	3年程度とし毎年度誘客効果等を検証
補助対象者	(一財)鳥取県観光事業団																							
事業内容	電球の購入、設置・撤去、デザイン等																							
総事業費	45,000千円																							
支援期間	単年度（次年度以降の維持費等は観光事業団が負担）																							
補助対象者	新生鳥取砂丘イリュージョン実行委員会（仮称）																							
事業内容	電球購入、設置・撤去、デザイン等																							
総事業費	12,000千円 〔内訳〕県 5,000千円、市 5,000千円、残余は協賛金等																							
支援期間	3年程度とし毎年度誘客効果等を検証																							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光二次交通整備支援事業	12,774	2,532	10,242				12,774	
トータルコスト	16,644千円（前年度 4,915千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

旅行形態が団体旅行から個人旅行に変化し、空港や駅といった基幹交通拠点から観光地までの二次交通の整備の需要性が増していることから、県内の観光二次交通の充実を図ることにより本県への訪問客の増加を図る。

2 主な事業内容

(1) 空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援（5,144千円）

名称	事業主体	補助率
鳥取空港－鳥取砂丘間乗合タクシー	鳥取ハイヤー共同組合	1/2
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス	浦富海岸・鳥取砂丘エリア 観光二次交通運行協議会	1/3
（新）米子鬼太郎空港から県東部、中部周遊バス	梨の花温泉郷及び東部広域 行政管理組合	1/2

(2) （新）トライアル事業（米子鬼太郎空港、鳥取空港）（7,000千円）

スカイマーク新規路線就航やANA増便化にあわせ、民間事業者が空港や駅から観光地までの観光二次交通を試行的に運行するもの（既存路線の延伸も含む）に対し支援を行う。

補助対象者	民間事業者
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

※但馬地域連絡バス、松江地区連絡バスについて、別途、交通政策課で要求。

(3) とつとりのりもの総合案内作成（630千円）

観光客に県内の観光二次交通情報をわかりやすく情報提供するため、東部、中部、西部のエリア別に情報をまとめたガイドマップを作成する。

3 これまでの取組状況、改善点

平成18年度から浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス、平成21年度から鳥取空港－鳥取砂丘間乗合タクシーを運行するとともに、平成24年度から県内の観光二次交通をわかりやすく情報提供するため、とつとりのりもの総合案内を作成し、県内周遊環境の整備を進めている。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7239）→事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
宿泊促進WEB対策事業	25,000	27,500	△2,500				25,000							
トータルコスト	27,322千円（前年度29,883千円）[正職員：0.3人]													
主な業務内容	補助金対象者との連絡調整、補助金交付業務													
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>出雲大社「平成の大遷宮」や「山陰大周遊」の提案などの効果によって回復しつつある観光入込客数を維持するとともに、スカイマーク就航（成田、茨城、神戸、羽田、新千歳、那覇）やANA増便などの追い風を確実に観光誘客につなげることで、今後懸念される観光需要の落ち込みをカバーするため、個人旅行客向けの対策として、民間団体が実施する大手宿泊予約サイトを活用したキャンペーンの取り組みを支援する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合が行う宿泊予約サイトを活用した情報発信および誘客対策を支援する。</p> <p>【補助金概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">補助対象者</td> <td>鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>10/10（上限25,000千円）</td> </tr> </table> <p>※平成25年11月補正予算において債務負担行為設定済み</p> <p>(2) 事業期間 平成26年3月下旬から平成27年3月まで</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>平成26年度は出雲大社「平成の大遷宮」の反動や消費増税による観光需要の落ち込みが懸念されることから、その影響をカバーするため、鳥取県らしい観光素材、スカイマーク就航やANA増便、高速道路開通によるアクセス向上などを効果的にPRし、誘客につなげる必要がある。</p> <p>* 宿泊予約サイト</p> <p>目的地の旅館、ホテルなど宿泊施設の予約や価格比較、宿泊施設近隣の情報などが簡単に入手できるインターネット上のサイト（楽天トラベル、じゃらんnet、るるぶトラベルなど）</p>									補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	補助対象経費	個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費	補助率	10/10（上限25,000千円）
補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合													
補助対象経費	個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費													
補助率	10/10（上限25,000千円）													

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地魅力向上事業	8,310	12,310	△4,000				8,310	

トータルコスト 16,049千円（前年度 144,460千円）[正職員：0.9人]

主な業務内容 負担金交付事務及び協議会への出席、助言等

工程表の政策目標(指標) 地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年、観光消費額の減少や宿泊客が伸び悩み、観光消費額も減少する中、この現状を「温泉」を核として地元が一体となって転換していこうとする気運があることを踏まえ、本県の重要な観光素材である温泉の魅力向上を促進するため、観光事業者及び市町等が連携して行う事業に支援を行う。

2 主な事業内容

(1) 温泉地魅力向上事業（7,310千円）

温泉地の魅力向上のため、温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
いなば温泉郷支援事業 [総事業費 3,910]	1,310	いなば温泉郷協議会が行う情報発信、受地対策等の事業を支援する。
皆生温泉支援事業 [総事業費 18,000]	6,000	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会が行う夏のファミリー層誘客イベント等を支援する。

※ 負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3

※ 鳥取県中部エリアの温泉地魅力向上は、「鳥取県中部ふるさと広域連合との広域観光連携モデル事業」において、戦略的・総合的に支援する。

(2) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト事業補助金（1,000千円）

県内の温泉関係者が地元自治体と連携して行う、温泉地の総合計画に沿った施設整備に対する経費を支援する。

区 分	内 容
補助対象者	関金温泉旅館組合、地元住民、観光事業者で組織する実行委員会
補助対象事業者	倉吉市
補助対象事業	平成25年度に策定したランドデザインに沿って行う、空屋を活用した地域交流拠点の整備 ・外湯を足湯として利活用 ・店舗設置やイベント開催場所として利用
補助率	市町村が補助する経費の1/2以内

※三朝温泉、皆生温泉も計画策定中であり、地元合意が整った段階で補正予算で取組む見込み

平成26年度一般会計補正予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課（内線：7239）→事業実施：観光戦略課

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	計	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
「ぐるっと山陰」誘客促進事業	20,000	20,000	0				20,000													
トータルコスト	20,000千円（前年度 20,000千円）〔正職員：0人〕																			
主な業務内容	補助金交付事務																			
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>出雲大社「平成の大遷宮」や「山陰大周遊」の提案などの効果によって回復しつつある観光入込客数を維持し、今後懸念される観光需要の落ち込みをカバーするため、鳥取県内での宿泊を伴う団体バスツアーに対するバス代支援や旅行商品造成支援に取り組む。</p> <p>* 平成25年度11月補正予算にて債務負担設定済</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) バス代支援</p> <p>① 事業費 15,000千円（補助金）</p> <p>② 事業内容 鳥取県観光連盟のプロモーター（都市部駐在員）を活用した、県外旅行会社へのバス旅行商品造成の働きかけ（バス1台当たり30千円を想定）</p> <p>③ 事業期間 平成26年2月（募集開始）～平成27年3月31日</p> <p>【補助金概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">補助対象者</td> <td>鳥取県観光連盟</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援</td> </tr> <tr> <td>補助率、限度額</td> <td>10/10 15,000千円（定額）</td> </tr> </table> <p>(2) 旅行商品造成支援</p> <p>① 事業費 5,000千円（補助金）</p> <p>② 事業内容 鳥取県観光連盟のプロモーターを活用した、県外旅行会社への旅行商品造成の働きかけ（旅行商品造成1件あたり500千円程度を想定）</p> <p>③ 事業期間 平成26年2月～平成27年3月31日</p> <p>【補助金概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">補助対象者</td> <td>鳥取県観光連盟</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援</td> </tr> <tr> <td>補助率、限度額</td> <td>10/10 5,000千円（定額）</td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>平成25年度に取り組んだバス代助成では、これまでにバス998台（誘客人数：37,643人）分の活用申請があり、大きな誘客効果を示している。平成26年度についても、今後予想される観光需要の落ち込みをカバーするため、特にバスツアーが盛んな中京圏や関西圏を中心に、営業活動を積極的に行う必要がある。</p>									補助対象者	鳥取県観光連盟	補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援	補助率、限度額	10/10 15,000千円（定額）	補助対象者	鳥取県観光連盟	補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援	補助率、限度額	10/10 5,000千円（定額）
補助対象者	鳥取県観光連盟																			
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援																			
補助率、限度額	10/10 15,000千円（定額）																			
補助対象者	鳥取県観光連盟																			
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援																			
補助率、限度額	10/10 5,000千円（定額）																			

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県観光連盟運営費	86,469	80,110	6,359				86,469	
トータルコスト	88,017千円（前年度 81,699千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	負担金の交付、連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

（公社）鳥取県観光連盟に対し、人件費の全額と事業費の1/2を負担するほか、観光キャンペーンの実施及び商品造成の働きかけ・観光情報の発信等を行い積極的な誘客を図る等、観光客誘致に関する取組を強化する。

2 主な事業内容

運営費負担金 86,469千円

区 分	内 容
人件費	県10/10 （組織体制） 専務理事、事務局長 課長（2名）、 観光プロモーター（3名）、 書記（5名 うち1名が正職員）
事業費	県1/2 ○観光客誘致対策旅行商品強化事業 ・旅行会社招致事業 ・観光プロモーター活動事業 ○観光客誘客キャンペーン事業 ○会員等との誘客連携事業 ・他団体との協同・連携事業 ・主題別・地域別専門部会事業 ○情報発信・宣伝事業 ・観光情報収集、発信活動事業 ・とっとり観光親善大使活動事業 ・観光資料整備事業（観光ホームページ、観光パンフレット、観光素材集等作成） ○受け地づくり支援事業 ・着地型旅行商品造成支援、相談対応・情報発信事業等

3 これまでの取組内容、改善点

- 平成21年度に鳥取県観光連盟の業務を見直し、機動的な対応が必要な業務、民間事業者との連携が必要な業務などを段階的に移管し、平成24年度には観光商品造成支援業務、観光ホームページの運営及び観光パンフレット等の作成、平成25年度には観光ニュースの発行、SNS※を活用した観光情報発信業務を移管した。
- 平成26年度は正職員を1名配置し、観光情報収集・発信業務をさらに活性化させる。また、教育旅行誘致の強化を図る。

※SNSとは

Social Networking Service（ソーシャルネットワークサービス）の略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のWEBサービスのこと。代表例としてFaceBook、Twitter等がある。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	192,584	165,264	27,320				192,584	
事業内容の説明 一般職員28名分の人件費								
観光振興費	51,837	40,320	11,517	1,851		(使用料) 3 (手数料) 108 (雑入) 7	49,868	
トータルコスト	71,958千円（前年度 56,886千円） [正職員：2.4人、非常勤職員1.0人]							
主な業務内容	他府県や市町村との連絡調整、旅行業者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 魅力ある観光地をつくり、観光による誘客を推進するため、より一層のおもてなしの向上を図る取組等を推進する。また、観光振興施策の企画・立案のため、本県の観光客数、出発地、観光の動機などについて調査を行う。 2 主な事業内容								
（単位：千円）								
区 分	予算額	内 容						
観光客入込動態調査の実施	2,470	本県への観光客数、出発地、観光の動機などについての統計調査						
各種観光振興団体への負担金	2,162	各種観光団体が行う観光施策等に効果的に参画するため負担金を支出						
砂丘西側用地の管理	4,012	松くい虫被害木の伐採等の管理						
観光案内看板の管理	3,000	観光案内看板の点検、整備、情報更新						
観光PRツール作成	4,900	DVD、ポスターの作成						
(新) フィルムコミッション業務委託	3,141	鳥取県におけるフィルムコミッションの窓口業務を鳥取県観光連盟に委託						
事務費	32,152							
計	51,837							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7239）→事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの民芸 振興事業	7,295	5,417	1,878				7,295	
トータルコスト	25,869千円（前年度 22,894千円）[正職員：2.2人]							
主な業務内容	事業の企画、関係機関との連絡調整、ホームページの管理・運営、情報収集等							
工程表の政策目標(指標)	県民の生活を豊かにし、本県のアイデンティティ（独自性・帰属意識）をともなっている民芸品をさらに振興し、観光資源としての活用を促進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
本県にとって貴重な財産である和紙、緋、陶磁器、木竹、玩具等の民芸の魅力と価値を国内外に情報発信し、本県の民芸の振興を図る。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
区 分	予算額	内 容						
(1) 情報発信事業	4,135	・「とっとりの手仕事」ホームページの管理・運営を行い、県内の工房の紹介、催事案内などを行い、県内外に情報発信する。 ・大都市圏で民芸と観光情報を一体化した展示会を実施する。						
(2) 愛用促進事業	25	民芸品を県庁で積極的に利用してもらうため、民芸品情報（製品、販売店舗）を検索できる「つかいもんデータベース」を管理・運営する。						
(3) 民芸展示事業	150	公立図書館での「パネル巡回展示事業」と、県内4箇所での「公共施設展示事業」を実施し、民芸に対する理解と関心を深めるためのふれあいの場を提供する。						
(4) 人材交流・育成事業	369	民芸事業者の技術や市場調査等の知識の向上、人的交流を図るための研修会を開催する、						
(5) マスコミ誘致事業	730	本県の民芸品の魅力を広く発信するため、専門誌、生活情報誌等を誘致する。						
(6) (新)トットリ・タイ ペイ展開催事業	886	台北市において鳥取の民芸、食、観光情報を一体化した展示会を実施する。						
(7) (新)体験型イベント 開催事業	1,000	ものづくりを体感するワークショップのほか、器と食を楽しむ機会を県内各地で提供し、鳥取の民芸の情報発信を行うイベントを支援する。						
計	7,295							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光政策課（内線：7239）→事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来に引き継ごう！ 県民の歴史資産 「三徳山」調査活用推 進事業	3,449	3,408	41				3,449	
トータルコスト	7,319千円（前年度 7,388千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	関係者との連絡調整、会議開催・資料作成、調査研究の推進、講演会等の事業実施、補助金交付業務等							
工程表の政策目標（指標）	三徳山の世界遺産登録等により、鳥取県と周辺地域（関西、中四国等）を周遊する観光客の増加を目指す。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取県を代表し、大山・隠岐国立公園への編入が見込まれている文化財である三徳山について、世界遺産登録も視野に入れつつ、地元関係者と連携し、調査研究を進めるとともに、保全管理の取組や観光振興、まちづくりへの活用を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会・各部会の開催 三徳山世界遺産登録運動推進協議会、各部会（調査研究部会、情報発信部会、保存管理活用部会）で官民一体となり、世界遺産登録運動を総合的に推進</p> <p>(2) 情報発信・機運醸成（情報発信部会－事務局：鳥取県中部総合事務所地域振興局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会等開催 ・文化資産学習会開催支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 補助対象事業：住民等が自ら企画・開催する三徳山等の文化資産の学習会 補助対象者：公民館、住民団体等 補助金額：定額（上限5万円） 8団体を予定 <p>(3) 調査研究（調査研究部会－事務局：鳥取県教育委員会文化財課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三徳山の総括的研究 ・鳥取県中部における中世寺院に関する研究 ・国内の類似資産との比較調査研究 ・三朝町実施の調査事業の支援（全体事業費3,000千円（県補助率1/3）） 三徳山内の遺構を確認するための発掘・測量調査 <p>(4) 保存管理活用（保存管理活用部会－事務局：三朝町教育委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元が中心となって行う保存管理活用の取組の支援（有識者等の招聘等） <p>（参考）三徳山世界遺産登録運動推進協議会 設立：平成16年3月 会長：三朝町長 構成：中部市町、県、三徳山を守る会、三仏寺、倉吉商工会議所、倉吉ユネスコ協会等 役割：世界遺産登録を総合的な視点から協議 三徳山の保存管理活用に向けた行動計画の策定</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
クルーズ客船受入推進事業	10,700	6,700	4,000				10,700	
トータルコスト	13,022千円（前年度 9,083千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標（指標）	他県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

クルーズ船の鳥取港及び境港寄港による本県への経済波及効果を最大限に引き出すため、クルーズ船寄港時に、より多くの乗船客が県内観光地等に立ち寄りよう素材の売り込みを強化するとともに、受入環境の充実を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
オプションルツアーコース提案支援事業	2,000	クルーズ船寄港時のオプションルツアーコースとして、県内観光素材を取り入れたコースの提案を支援する。 （補助金額の上限：200千円、補助率1/2） 【補助対象者】民間事業者等 【補助対象経費】提案資料の作成費、旅行会社訪問に要する経費等
	2,000	クルーズ船寄港時のオプションルツアーコースの造成を支援する。 ※ ツアーコースには、県内の観光地等を必ず組み込み、食事をとる場合は、県内の施設とすること。 （補助金額の上限：200千円、定額） 【補助対象者】旅行会社 【補助対象経費】ツアーパンフレット等作成経費
オプションルツアーバス借上料支援事業	2,580	オプションルツアーバス借り上げを支援する。 ・立ち寄り先が県内のみ：バス1台につき15,000円 ・立ち寄り先に県外を含む：バス1台につき5,000円 【補助対象者】旅行会社
周遊バス運行支援事業	4,120	港から周辺施設等への周遊バスの運行を支援する。 【補助対象者】市町村、観光関係団体等 【補助対象経費】運行経費から運賃収入を除いた経費
合 計	10,700	

3 これまでの取組状況、改善点

平成25年に開始したオプションルツアーバス借上料支援は、鳥取港、境港とも実績が出ており、引き続き、事業活用を旅行会社へ働きかける。また、周遊バス運行支援は、二次交通整備事業から移行し、クルーズ船寄港時支援策としてフリー客の利便性を図る。

観光素材の売り込みについては、民間事業者との連携を強化する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課(内線:7237)→事業実施:観光戦略課
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	20,000	29,000	△9,000				20,000	
トータルコスト	29,287千円(前年度 36,944千円) [正職員:1.2人]							
主な業務内容	広域的な観光客誘致活動、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内外の観光関係団体・関連事業者等と連携して、スケールメリットを活かした広域情報発信、共同プロモーション等効果的な観光誘客を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
山陰観光推進協議会事業	10,000	「山陰」というスケールメリットを活かして、山陰の認知度向上と、山陰エリアを対象とした周遊型及び滞在型観光を促進するため、両県が連携して広域情報発信、共同プロモーション、民間による受地整備事業の支援等を行う。 総事業費20,000千円(本県負担:10,000千円)
鳥取・岩手・徳島連携事業	1,000	妖怪文化の普及に貢献したとして「怪遺産」に認定されている鳥取県(境港市)、徳島県(三好市)、岩手県(遠野市)が連携して「怪」をテーマとしたフォーラムを開催する。 ※平成25年度は境港市で開催。平成26年度は三好市(予定)
「ディスカバーウェスト」中国五県連携観光振興事業	5,000	首都圏をはじめとする大都市圏から中国地方への観光誘客を図るため、中国五県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」を通して、観光情報の発信等を行う。
鳥取・岡山観光連携事業	2,000	広域観光地図の作成、両県連携による情報発信、宣伝活動、旅行会社への商品造成の働きかけ等を実施する。 総事業費4,000千円(本県負担:2,000千円)
因幡・但馬・丹後観光協議会事業	500	県東部と、兵庫県但馬地方、京都府丹後地方の関係市町・民間が連携して、広報宣伝等の観光誘客事業を行う。 総事業費2,111千円(本県負担:500千円)
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が、団体で貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部を助成する。
鳥取自動車道活性化協議会事業	900	鳥取自動車道沿線市町・民間が連携して行う沿線地域の観光魅力発信、沿線を周遊する観光ルートの提案などの観光誘客事業を行う。 総事業費2,160千円(本県負担:900千円)
計	20,000	

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7239）→事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光情報提供事業	51,251	47,965	3,286				51,251	
トータルコスト	62,860千円（前年度 59,881千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	マスコミへの情報提供、取材の受け入れ							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
鳥取ならではの魅力を全国に訴えるため、新聞・雑誌・テレビ等の各種媒体を通じて、本県の観光魅力を県外へ情報発信する。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
区 分	予算額	内 容						
マスコミ（テレビ・雑誌等）への情報提供や売り込み活動、PRキャラバン隊	42,086	テレビ番組・情報誌・旅雑誌・自動車専門誌企画等を活用した情報発信、駅構内・空港・高速道路サービスエリア等でのイベント展開など						
番組記事制作負担金	2,400	テレビ番組、雑誌取材記事の制作にかかる金額の一部を負担することによるメディア露出						
マスコミの取材受け入れ	1,500	マスコミ関係者の取材招聘						
マスコミへのプレゼント供与	500	視聴者・読者プレゼント						
とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	775	とっとり観光親善大使の派遣費用						
事務費	3,990							
コンベンション誘致促進事業	44,227	56,102	△11,875				44,227	
トータルコスト	45,001千円（前年度 56,896千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	（公財）とっとりコンベンションビューローへの指導調整交付金・補助金交付事務、実施主体との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
（公財）とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
区 分	予算額	内 容						
運営費交付金	24,927	（公財）とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する（補助率 県1/2・4市1/2）						
コンベンション開催助成費補助金	19,300	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る（補助率 県1/2・開催市町村1/2）						

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7239）→事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「行きたいと っとり」支援創出事業	5,000	0	5,000				5,000	
トータルコスト	5,000千円（前年度 0千円）[正職員：0.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内の核となる鳥取砂丘などの観光素材を活用した観光メニューを造成し、エリア内での楽しみ方を提案して滞在時間の延長を促すため、民間事業者の提案による観光メニュー造成に対して支援を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>鳥取砂丘などの主要観光地での観光メニュー造成を促進するため、民間事業者等が実施する以下の経費について支援する。</p>								
補助対象者	民間事業者等							
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行商品の企画開発・販売促進に要する経費 ・二次交通に要する経費 ・情報発信に要する経費 ・宿泊魅力向上に要する経費 ・イベント開発に要する経費 ・地域資源等を活用した商品の企画開発・販売促進に要する経費 ・その他観光振興に要する経費 など 							
補助率	1/2							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商工費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課

3目 金融対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光開発促進資金 融資制度	22,776	41,741	△18,965			(貸付金元利収入) 22,776		
トータルコスト	22,776千円（前年度 41,741千円）[正職員：0.0人]							
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートする。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設整備を行う中小企業に対し、その必要な資金の一部を融資することにより、観光振興を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>金融機関に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。</p> <p>・貸付金 22,776千円</p> <p>※ 平成18年度以降の新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金（経済通商総室所管）」に移行しており、本事業分は既融資分（5件）に係る経費である。</p>								

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：観光戦略課

1目 観光費

（単位：千円）

(廃止)鳥取AIR Map運用管理事業	0	4,628	△4,628					
トータルコスト	0千円（前年度 7,011千円）							
<p>事業内容の説明</p> <p>(廃止)債務負担行為設定期間が終了したため。</p>								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所地域振興局(電話:0858-23-5071)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部ふるさと広域連合との広域観光連携モデル事業	13,500	14,000	△500				13,500	
トータルコスト	21,239千円(前年度20,355千円) [正職員:1.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務、企画調整							
工程表の政策目標(指標)	観光資源の掘り起こしと磨き上げ、広域連携の推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
国内外からの観光誘客促進を図るため、県と鳥取中部ふるさと広域連合(以下「広域連合」という。)が連携を強化しながら鳥取中部圏域の広域観光振興を推進する。								
2 主な事業内容								
(1) 鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業【13,000千円】								
広域連合が鳥取中部広域観光ビジョン(広域連合で策定中)に沿い、県の施策とも連携しながら実施する観光誘客事業について、必要な経費の一部を補助する。								
・補助率 1/2								
・補助上限額 13,000千円								
・経費使途 人件費、広告宣伝費、委託料、県外旅行会社等招請旅費等								
・モデル期間 3年間(平成25年度～27年度)								
(2) 県職員の駐在に要する経費【500千円】								
観光業務担当職員が広域連合に駐在するための賃借料、光熱水費等								
3 これまでの取組状況、改善点								
・中部総合事務所体制見直しの一環として、平成25年度から広域連合と連携した体制を構築し、県の観光担当職員が広域連合に駐在して広域観光振興に取り組んでいる。								
・本事業を契機に、中部圏域の観光コンセプトや将来像となる「鳥取中部広域観光ビジョン」の年度内策定を県も参画して進めている。								
・また、東部や西部圏域との広域連携誘客企画の取組もスタートするなど、圏域を超えた魅力創出と魅力発信が加速している。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業	500	500	0				500	
トータルコスト	1,274千円（前年度1,294千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 倉吉市出身で倉吉市名誉市民でもある故・第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方）を記念して開催される櫻杯争奪相撲選手権大会について、歴史・伝統に根差した地域振興を図り、賑やか活力ある地域づくりにつなげるため、開催を支援する。（補助金額（定額）：400千円）</p> <p>2 主な事業内容 (1) 第36回櫻杯争奪相撲選手権大会（倉吉市） (2) 第30回わんぱく相撲全国大会（両国国技館）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 昭和54年に第1回を開催。県内外からの参加者（小・中学生）や佐渡ヶ嶽部屋などの関係者を迎え、山陰随一の相撲大会として定着している。</p>								

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3952）

1目 観光費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（廃止）ホワイトライアスロンin湯梨浜大会を日本を代表する大会に育てるための支援事業	0	1,000	△1,000					
トータルコスト	0千円（前年度1,000千円）[正職員：0.0人]							
事業内容の説明								
（廃止）予定していた助成期間が終了したため。								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9769）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
大山中海振興費	6,665	6,662	3			〈雑入〉 7	6,658									
トータルコスト	19,047千円（前年度：19,372千円） [正職員：1.6人、非常勤職員：1人]															
主な業務内容	二次交通（大山るーぶバス）の整備支援、大山足湯整備補助金の支払い、観光客動向調査等															
工程表の政策目標（指標）	エコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進、スポーツツーリズム・エコツーリズムを活用した外国人観光客の誘致促進															
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 大山・中海エリアを訪れる観光客の利便性向上を図るため観光二次交通の整備（大山るーぶバスの運行支援）を行うとともに、西部管内における国際リゾート推進に向けた外国人観光客の動向調査、観光情報の収集等を行う。 2 主な事業内容 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（1）大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（2）大山足湯整備補助金（平成26年度分）</td> <td style="text-align: right;">193千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（3）非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光情報収集等）</td> <td style="text-align: right;">1,804千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（4）事務費</td> <td style="text-align: right;">3,168千円</td> </tr> </table> 3 これまでの取組状況、改善点 大山るーぶバスの運行や大山寺参道の足湯整備などにより、観光客にとって地域の魅力を享受しやすい環境整備が整いつつある。一方、米子ソウル便、DBSクルーズに加え、大型クルーズ客船の寄港、海外からのチャーター便の増加など外国人観光客の来訪が増加傾向にあり、国際リゾート推進に向けた取組を行う。									（1）大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円	（2）大山足湯整備補助金（平成26年度分）	193千円	（3）非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光情報収集等）	1,804千円	（4）事務費	3,168千円
（1）大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円															
（2）大山足湯整備補助金（平成26年度分）	193千円															
（3）非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光情報収集等）	1,804千円															
（4）事務費	3,168千円															

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所日野振興センター日野振興局（電話：0859-72-2080）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
たたらの魅力等体験事業	1,936	3,690	△1,754				1,936	
トータルコスト	5,806千円（前年度7,662千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	事業委託・補助金等事務、実施主体等との連絡調整、検討会開催等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

全国に誇る日野郡の歴史・文化的資源である「たたら」を始めとする日野郡の地域資源を活用した自然・文化体験型の交流を進めて地域活性化をするため、「たたら」や地域の人材を活用した「たたら」操業体験会や地域資源の磨き上げ等を行い、その魅力をより深く伝える。

2 主な事業内容

(1) ミニたたら操業体験会の開催 1,000千円

日野郡内外の住民を対象にした「たたら」に関するミニたたら操業体験会を開催し、「たたら」の普及啓発を図る。（50人程度、1回開催）

(2) (新) 「ひの物語」活用検討会の開催 486千円

日野郡におけるたたら関連等の地域資源の現地調査やワークショップ等を開催し、エコツーリズムメニュー造成手法の普及やガイド育成を図る。（3回開催）

(3) 日野路往来エコツーリズム推進事業 450千円

事業主体	日野郡広域交流促進協議会
事業内容	日野郡におけるたたら関連等のエコツーリズムメニュー造成やガイド育成、情報発信について助成
補助率等	1/2（上限450千円）

3 これまでの取組状況、改善点

「たたら」等の日野郡の地域資源を活用した交流促進や情報発信を実施しており、資源の磨き上げや主要地を結ぶ地域情報の収集、ガイド育成、情報発信等を拡充すべき段階を迎えている。

【参考】鳥取県のたたら製鉄

- ・「たたら製鉄」は砂鉄を原料とする日本の伝統的製鉄法であり、歴史文化遺産である。
- ・伯耆地方で全国の鉄の約4割を供給し、日野地域の基幹産業で日本の近代産業に貢献した。
- ・たたらの楽校の充実や地域発の探訪旅行開催など地域づくりを進める活動が活発である。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費（総合事務所分は地方機関計上予算）

国際観光推進課（内線：7221）→ 事業実施：観光戦略課

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3186）

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考											
				国庫支出金	起債	その他	一般財源												
スポーツツーリズム推進事業	73,100	29,400	43,700			(基金繰入金) 48,600	24,500												
トータルコスト	85,483千円（前年度38,138千円）[正職員：1.6人]																		
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整																		
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現																		
事業内容の説明																			
1 事業の目的・概要																			
<p>山・川・湖・里・海といった日本の原風景の中に数多くの温泉や貴重な歴史文化遺産などが点在し、四季折々の食材にも恵まれた鳥取特有の風土を活かし、これらの魅力と同時に各種アウトドアスポーツを楽しめる環境づくりと海外・県外からの誘客を戦略的に進め、「スポーツリゾートとっとり」のブランド化を図りつつ新たな鳥取ファン獲得を目指す。</p>																			
2 主な事業内容																			
【I (新) 誘客戦略の推進 10,750千円（国際観光推進課）】																			
<p>県内各地域の自然・風土を活かしたアウトドアスポーツ素材の発掘や魅力づくりについて、「鳥取県エコツーリズム推進連絡協議会」（仮称）において検討し戦略的な展開を図るとともに、海外の大手自転車メーカーやアウトドアブランドメーカーとの関係を活かした誘客プロモーション等を実施し海外からの観光客を誘致する。</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p>																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 55%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 台湾からの誘客 台湾の自転車メーカー系旅行社と連携した情報発信及びツアー造成</td> <td style="text-align: center;">6,800</td> <td>・サイクリング大会等のイベントやメディアを活用した情報発信 ・サイクリングのモニターツアーの実施</td> </tr> <tr> <td>(2) 韓国からの誘客 韓国のアウトドアブランド系旅行社と連携した情報発信及びツアー造成</td> <td style="text-align: center;">3,450</td> <td>・メディア招請による「アウトドアスポーツリゾート鳥取」の魅力の情報発信 ・韓国のアウトドアブランド会員を対象とした登山やトレイルなどのモニターツアーの実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 新たな魅力づくり 「ジャパンエコトラック」（仮称）への参画</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td>・「ジャパンエコトラック」（仮称）の全国組織への加盟</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	予算額	内 容	(1) 台湾からの誘客 台湾の自転車メーカー系旅行社と連携した情報発信及びツアー造成	6,800	・サイクリング大会等のイベントやメディアを活用した情報発信 ・サイクリングのモニターツアーの実施	(2) 韓国からの誘客 韓国のアウトドアブランド系旅行社と連携した情報発信及びツアー造成	3,450	・メディア招請による「アウトドアスポーツリゾート鳥取」の魅力の情報発信 ・韓国のアウトドアブランド会員を対象とした登山やトレイルなどのモニターツアーの実施	(3) 新たな魅力づくり 「ジャパンエコトラック」（仮称）への参画	500	・「ジャパンエコトラック」（仮称）の全国組織への加盟
区 分	予算額	内 容																	
(1) 台湾からの誘客 台湾の自転車メーカー系旅行社と連携した情報発信及びツアー造成	6,800	・サイクリング大会等のイベントやメディアを活用した情報発信 ・サイクリングのモニターツアーの実施																	
(2) 韓国からの誘客 韓国のアウトドアブランド系旅行社と連携した情報発信及びツアー造成	3,450	・メディア招請による「アウトドアスポーツリゾート鳥取」の魅力の情報発信 ・韓国のアウトドアブランド会員を対象とした登山やトレイルなどのモニターツアーの実施																	
(3) 新たな魅力づくり 「ジャパンエコトラック」（仮称）への参画	500	・「ジャパンエコトラック」（仮称）の全国組織への加盟																	
<p>※「ジャパンエコトラック」とは、サイクリング・ウォーキング・カヤックなど人力での移動を基本とする新しい環境にやさしい旅行スタイル。</p>																			
【II ウォーキングリゾートの推進 6,750千円（中部総合事務所）】																			
<p>県中部地域を中心に取組が行われているウォーキングコースの整備、ウォーキング大会の充実、国際会議の誘致及びウォーキングの普及を地元関係者と協働で推進し、国内外で認められるウォーキング・リゾートを目指す。</p>																			
(1) 発信力ある大会の支援 2,000千円																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">大会名</td> <td style="width: 35%;">SUN-IN未来ウォーク (県中部、6月)</td> <td style="width: 50%;">SUN-IN未来100kmウォーク (県中部、10月頃)</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>SUN-IN未来ウォーク実行委員会</td> <td>NPO法人未来</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>大会運営費、広報宣伝費等</td> <td>大会運営費、広報宣伝費等</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>1/2（上限1,000千円）</td> <td>1/2（上限1,000千円）</td> </tr> </tbody> </table>								大会名	SUN-IN未来ウォーク (県中部、6月)	SUN-IN未来100kmウォーク (県中部、10月頃)	事業主体	SUN-IN未来ウォーク実行委員会	NPO法人未来	事業内容	大会運営費、広報宣伝費等	大会運営費、広報宣伝費等	補助率等	1/2（上限1,000千円）	1/2（上限1,000千円）
大会名	SUN-IN未来ウォーク (県中部、6月)	SUN-IN未来100kmウォーク (県中部、10月頃)																	
事業主体	SUN-IN未来ウォーク実行委員会	NPO法人未来																	
事業内容	大会運営費、広報宣伝費等	大会運営費、広報宣伝費等																	
補助率等	1/2（上限1,000千円）	1/2（上限1,000千円）																	

(2) 国際会議誘致支援 800千円

トレッキング、ウォーキングの世界大会であるワールドトレールコンファレンスの県誘致活動に対する支援

事業主体	NPO法人未来
事業内容	誘致に係る各種PR経費、関係者招聘旅費等
補助率等	1/2 (上限800千円)

(3) ノルディック・ウォークの普及促進 450千円

ノルディック・ウォークの普及活動に対する支援

事業主体	市町及び団体
事業内容	ノルディック・ウォーク公認指導員養成講習受講経費 (ノルディック・ウォークの普及を目的とする事業に新たに取り組むために受講する場合に限る。)
補助率等	1/3 (上限15千円/1人) ※30名の指導員を育成予定

(4) 東郷池周回コースの整備 3,500千円

平成25年度に作成した整備計画に基づく東郷池周回コース(延長約12km)への案内看板等の整備(歩道上への矢印サインのペイント、看板設置等)

【Ⅲ サイクリングリゾートの推進 55,600千円(西部総合事務所)】

県西部地域を中心に取組が行われているサイクリングコース・サイクリスト支援システムの整備、各種アウトドアスポーツイベントの充実を地元関係者と協働で推進し、国内外で認められるサイクリング・リゾートを目指す。

(1) サイクリングロードのネットワークづくり

(単位:千円)

名称	内容	予算額
白砂青松・弓ヶ浜半島コース整備(皆生工区)	皆生温泉から夜見町に至る区間(延長7.5km)を走行しやすくする整備工事	38,000
白砂青松・弓ヶ浜半島コース整備(弓ヶ浜工区)	夜見町から夢みなとタワーに至る区間(弓ヶ浜工区延長7.8km)に係る予備設計	5,000
サイクリングコースマップの作成	サイクリングコースや見どころ、食事処、休憩所等を紹介するマップの作成(1万部)	1,000

(2) サイクリスト支援「ダイジョウブシステム」の整備

(単位:千円)

名称	内容	予算額
コンビニエンスストアと提携した休憩所の整備	コンビニエンスストア(協力店舗)へサイクリストのための「ほっとステーション(仮称)看板」、バイクスタンド、工具セット等を設置	3,000
自転車輸送サービスの充実	サイクルトレインのイベントへの支援 (定額補助(上限100千円)) (実施路線:境線、伯備線・山陰本線(県西部)) 車両積載しやすくする専用袋(輪行バッグ)の主要駅への整備支援(1/2補助)	1,000
		600

(3) スポーツイベント開催支援事業

(単位:千円)

名称(開催時期)	事業主体	補助額(定額)
全日本トライアスロン皆生大会(7月)	皆生トライアスロン協会	5,000
皆生・大山 SEA TO SUMMIT(10月)	皆生・大山 SEA TO SUMMIT実行委員会	1,000
ツール・ド・大山(5月)	ツール・ド・大山実行委員会	500
アウトドアスポーツフェスタ(未定)	鳥取県アウトドアスポーツ協議会	500

3 これまでの取組状況、改善点

「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」、ツール・ド・大山、SUN-IN未来ウォークの開催等を通じて、スポーツツーリズム推進の機運が県内で高まっており、同時に海外での認知度も徐々に向上しつつある。この好機に韓国・台湾等への情報発信・旅行商品造成・環境整備等を戦略的に進め、グラウンドゴルフなどの取組とともに、我が国有数のスポーツ・リゾート化を図る。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

国際観光推進課（内線：7310）→ 事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際リゾートとっとり推進事業	4,000	3,599	401				4,000	

トータルコスト 7,096千円（前年度 3,599千円）[正職員：0.4人]

主な業務内容 国際リゾートの実現に向けた推進体制整備

工程表の政策目標(指標) 外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成25年4月に策定した「国際リゾートとっとりプラン」の推進のため、県内の推進体制を整えるとともに、必要な分析を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
国際リゾートとっとり推進協議会の開催	-	○国際リゾートとっとり推進協議会（全体協議会）の開催（年3回） 【全体協議会】 ・国際リゾートとっとりプランの進捗管理 ・国際観光推進施策の提案 【テーマ別ワーキンググループ】 ・テーマごとの課題や方策について検討
外国人観光客入込動態調査	4,000	本県を訪問する外国人観光客の入込動態（訪問先、消費額、満足度等）の調査

3 これまでの取組状況、改善点

「国際リゾートとっとりプラン」に基づき、県内関係者が同じベクトルで外国人観光客の誘致を推進するため、定期的に意見交換を実施していく。

また、従来の外国人観光客入込動態調査では、米子空港を中心とした調査となっており、サンプルが韓国人に偏っていたため、調査方法を見直し、実態に合った調査に改善する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

国際観光推進課（内線：7310）→ 事業実施：観光戦略課

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界に開かれた“とっとり”国際観光推進事業	43,056	38,067	4,989				43,056	

トータルコスト 50,973千円（前年度 46,805千円）[正職員：0.7人]

主な業務内容 関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務

工程表の政策目標（指標） 外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県を訪れる外国人観光客の満足度を高め、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大へとつなげるため、「国際リゾート」と呼ばれるにふさわしい来県客にとって便利で快適な受入環境整備を関係団体・事業者等と協働で整備する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) 「おもてなし」の充実	5,000	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド研修会の開催（2回） ・関係者における意見交換会の実施（各地区1回） ・県内空港、JR駅・列車内でのチャーター便歓迎行事の実施（年間30回程度）
(2) 観光二次交通の確保	24,500	<ul style="list-style-type: none"> ・米子鬼太郎空港・境港連絡バスの運行支援 ・各圏域（東部・西部）における周遊バス等の運行支援
(3) 観光案内体制の整備	3,056	<ul style="list-style-type: none"> ・米子空港ビル及び境港国際旅客ターミナルの観光案内所への案内人配置 ・県内国際観光案内所等の意見交換会開催（1回）
(4) 観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上	9,000	<ul style="list-style-type: none"> ・受入環境整備に対する支援（民間事業者・市町村等の案内看板の多言語化、外国語ホームページ等の作成支援等） ・多言語電話通訳サービスの提供（通年） ・外国人による県内観光地の巡回点検（1回）
(5) (新)外国人旅行者向け消費税免税制度の導入・拡大	1,500	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税免税制度説明会の開催（1回） ・免税ショップの情報発信（ステッカーの作成、マップ作成） ・免税ショップ増設等に関する支援（免税手続きに要する備品等購入、広報経費）
計	43,056	

3 これまでの取組状況、改善点

平成25年4月に策定した「国際リゾートとっとりプラン」の受入環境整備計画に基づき、外国人観光客の受入態勢を整備中。今年度は昨年夏の連続チャーター便で来県した香港観光客に好評であった「おもてなし」を充実させるとともに、今秋に予定されている外国人旅行者向け消費税免税制度の拡大に伴うサービス強化を図る。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光推進課（内線：7221）→ 事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界へ打って出る “とっとり”国際観光 推進事業	128,068	104,208	23,860				128,068	
トータルコスト	145,868千円（前年度124,068千円）[正職員：2.3人]							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品の造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務の委託、国際交通基盤の利用促進ほか							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

交流人口の拡大による観光振興や地域活性化に寄与するため、今後大幅な増加が見込まれる海外諸地域からの訪日旅行需要を本県に取り込むべく、米子-ソウル便、環日本海定期貨客船、国際チャーター便等を活用した外国人観光客誘致を戦略的に進める。

2 主な事業内容

（単位：千円）

市 場 別	区 分	予算額	内 容
	市 場 別	(1) 韓国	38,508
(2) 香港		17,100	・現地旅行社と連携した広報宣伝 ・鳥取県の食文化や旬の果物のPR支援活動 ・(新)テレビ番組の招請等
(3) 台湾		8,600	・観光ブログによる観光情報発信（通年） ・旅行博覧会への出展 ・島根県等と連携した旅行社・メディア招請等
(4) 中国		4,800	・旅行博覧会への出展 ・島根県等と連携した旅行社・メディア招請等
(5) 東南アジア		8,500	・旅行博覧会への出展 ・島根県等と連携した旅行社・メディア招請 ・(新)チャーター便誘致に向けた現地旅行社と連携した広報宣伝等
(6) その他		10,250	・旅行博覧会への出展、旅行社・メディア招請（ロシア） ・(新)美食等のイベント出展や観光ガイドブックへの観光情報掲載（カナダ・北米等）等
	小 計	87,758	
共 通	(1) (新)観光素材紹介 ツールの制作	12,960	・県内観光素材を集約したDVD・パンフレットの 各国語版の制作（農林水産部と連携）
	(2) (新)食のみやご鳥取 のPR	7,350	・鳥取食雑誌の各国語版の制作 ・鳥取オリジナルペットボトルの制作
	(3) 外国人観光客の誘致 ・送客の取組支援	10,000	・外国人観光客の誘致を行う県内団体、本県への送客 を行う旅行会社に対する支援 （補助率：1/2、上限：1,000千円）
	(4) 県内国際定期路線を 活用した外国人観光 客の誘致促進	10,000	・米子-ソウル便、環日本海定期貨客船を利用して送客 を行う旅行会社等への支援 （山陰国際観光協議会への定額補助）
	小 計	40,310	
	合 計	128,068	

3 これまでの取組状況、改善点

ビザ免除等により訪日観光客が大幅に増加している東南アジア（タイ等）を重点市場に加えるなど、情勢に対応した外国人観光客誘致を戦略的に推進する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光推進課（内線：7221）→ 事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取県・江原道 観光連携事業	8,500	0	8,500				8,500	
トータルコスト	10,048千円（前年度 0千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	合同説明会、招へいツアーの随行・準備、各種契約事務ほか							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県・江原道友好提携20周年を契機に江原道を訪れる外国人観光客の本県への誘客及び両地域の県民・道民の観光交流の拡大を図るため、鳥取県～江原道間の記念ツアーの造成支援、江原道と連携した東南アジアでの観光プロモーションを共同で実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) 相互の観光交流促進	5,500	
① 共同PRツールの制作	1,100	鳥取県・江原道相互の知名度向上及び20周年記念事業の周知を図るための共通ロゴマークとポスターを制作
② 友好提携20周年記念ツアーの造成支援	2,900	・商品造成に係る旅行社招請 ・商品PRに係る費用等への支援 （通年/アジアナ・DBS・チャーター便利用）
③ 広報宣伝	1,500	相互にメディア招請し、両地域の住民に向けた情報発信を行う
(2) 共同観光プロモーション	3,000	タイをターゲットにした共同プロモーション ・合同観光説明会 in バンコクの開催（秋頃） ・連携ファミツアーの実施（4～6月頃）
計	8,500	

<参考>

(1) 江原道の状況

- ・人口 153万人（2009年）
- ・南怡島（冬のソナタなどの舞台）への外国人観光客入込数（2013年第一四半期）
139,391人（前年比66%増）
（内訳）タイ 55,158人、台湾 35,138人、中国 15,091人
マレーシア 12,811人、その他 21,193人

(2) 韓国からの訪日旅行者数（出典：宿泊旅行統計調査、2012年推計値）

204万人

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

国際観光推進課（内線：7221）→ 事業実施：観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便利用促進費（定期便）	86,793	91,793	△5,000				86,793	
トータルコスト	100,723千円（前年度106,092千円）[正職員：1.8人]							
主な業務内容	アジアナ航空・韓国観光公社等関係機関との連絡・調整、山陰国際観光協議会業務ほか							
工程表の政策目標（指標）	米子ソウル国際定期便の自立・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰唯一の国際定期航空路線である米子ーソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するアジアナ航空に対して、米子空港の着陸料、施設使用料等の経費を支援するとともに、山陰両県の官民69団体で組織する山陰国際観光協議会の一員として同便の利用を促進する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) アシアナ航空 に対する支援	76,793	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料（3/4） ・空港ビル施設使用料（10/10） ・ハイジャック検査業務（10/10） ※（ ）内は補助率
(2) 山陰国際観光 協議会負担金	10,000	○国際定期航路利用促進事業（日本から韓国への利用促進対策） ・団体旅行支援 ・パスポート取得支援 ・修学旅行貸切バス支援 ・商品造成支援 ・情報発信、広報 ※全体事業費 30,000（内訳：鳥取県10,000、市町村等20,000）
合 計	86,793	

[参考] 米子ソウル便利用実績（平成25年4月～平成25年12月）

提供座席数	搭乗座席数	搭乗座席数の内訳			搭乗率
		日本人	韓国人	その他	
(38,010席)	(20,455席)	(13,896席)	(6,258席)	(301席)	(53.8%)
38,848席	18,185席	9,758席	8,033席	394席	46.8%

※（ ）は前年実績

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光推進課（内線：7221）→ 事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	44,330	40,906	3,424			(雑入) 10	44,320	
トータルコスト	60,583千円 (前年度57,589千円) [正職員：2.1人、非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現、東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)への参加、米子ソウル国際定期便及び環日本海定期貨客船航路(旅客)の自立・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

諸外国から訪問する観光客を増加させ、観光産業の振興及び米子ソウル便・環日本海定期貨客船などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、近隣各県や海外地方政府と連携した情報発信、メディア招請などの誘客活動を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内 容																								
広域連携国際観光推進事業	10,562	<p>山陰・中国5県、関西など、他府県と連携した外国人観光客誘致事業等に要する経費。 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国地区広域観光検討部会負担金</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> <td>中国五県連携訪日観光事業推進等</td> </tr> <tr> <td>中国地方インバウンドフォーラム負担金</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td>韓国・中国・台湾等向けの観光客誘客活動</td> </tr> <tr> <td>山陰国際観光協議会負担金</td> <td style="text-align: center;">4,000</td> <td>島根県と共同で韓国、ロシア、台湾等に向け誘客活動</td> </tr> <tr> <td>京都・兵庫三府県連携事業負担金</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td>ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信</td> </tr> <tr> <td>関西空港観光案内所整備運営協議会負担金</td> <td style="text-align: center;">1,382</td> <td>観光案内所の運営経費、観光地図の作成等</td> </tr> <tr> <td>国際観光振興機構負担金</td> <td style="text-align: center;">680</td> <td>国内外の観光情報提供等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">10,562</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	予算額	内 容	中国地区広域観光検討部会負担金	3,000	中国五県連携訪日観光事業推進等	中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000	韓国・中国・台湾等向けの観光客誘客活動	山陰国際観光協議会負担金	4,000	島根県と共同で韓国、ロシア、台湾等に向け誘客活動	京都・兵庫三府県連携事業負担金	500	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信	関西空港観光案内所整備運営協議会負担金	1,382	観光案内所の運営経費、観光地図の作成等	国際観光振興機構負担金	680	国内外の観光情報提供等	計	10,562	
区 分	予算額	内 容																								
中国地区広域観光検討部会負担金	3,000	中国五県連携訪日観光事業推進等																								
中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000	韓国・中国・台湾等向けの観光客誘客活動																								
山陰国際観光協議会負担金	4,000	島根県と共同で韓国、ロシア、台湾等に向け誘客活動																								
京都・兵庫三府県連携事業負担金	500	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信																								
関西空港観光案内所整備運営協議会負担金	1,382	観光案内所の運営経費、観光地図の作成等																								
国際観光振興機構負担金	680	国内外の観光情報提供等																								
計	10,562																									
東アジア地域観光交流促進事業	3,450	<p>東アジア地域の共同繁栄と各地域間の緊密な交流を深めるため、各地域間の国際観光交流の促進を目的とした東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF(イートフ))へ参加する。 予算内容：事務局運営負担金、東アジア地方政府観光フォーラム参加支援事業補助金(補助率：観光展参加経費支援10/10、学術観光貿易投資フォーラム参加経費支援1/2)、芸能団派遣</p>																								
環日本海定期貨客船航路利用促進費	4,600	<p>環日本海定期貨客船の旅客利用のうち、一層の利用促進が求められる日本からの利用を促進するため利用者支援等を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山陰国際観光協議会負担金</td> <td> <p>○修学旅行支援 修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援</p> <p>○グループ旅行支援 4名以上のグループに対して経費の一部を支援</p> </td> </tr> <tr> <td>シャトルバス運行補助金</td> <td>国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバスの運行経費支援</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	内 容	山陰国際観光協議会負担金	<p>○修学旅行支援 修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援</p> <p>○グループ旅行支援 4名以上のグループに対して経費の一部を支援</p>	シャトルバス運行補助金	国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバスの運行経費支援																		
区 分	内 容																									
山陰国際観光協議会負担金	<p>○修学旅行支援 修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援</p> <p>○グループ旅行支援 4名以上のグループに対して経費の一部を支援</p>																									
シャトルバス運行補助金	国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバスの運行経費支援																									
国際観光推進費	25,718	外国語版の観光パンフレット・観光案内地図等の増刷や非常勤職員配置などに要する経費。																								
計	44,330																									

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

地域振興部交通政策課（内線：7099）→事業実施：観光戦略課

3目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便 利用促進事業	61,000	20,000	41,000				61,000	

トータルコスト 64,095千円（前年度 23,178千円）[正職員：0.4人]

主な業務内容 国内航空路線の利用促進活動の実施など

工程表の政策目標（指標） 東京便の増便、航空便の運賃低廉化、国内航空便の利用促進
（便数：鳥取－東京便 5便、米子－東京便 6便）

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

米子鬼太郎空港へのスカイマーク就航や鳥取－東京便5便化など、本県空港を発着する航空路線の充実が進む中、空港利用促進懇話会等と連携し、PR活動や旅行商品造成の働きかけを行うほか、航空会社と連携した広報宣伝活動の実施や首都圏及び各就航先での情報発信などの利用促進への取組を通じ、外国人を含む観光誘客など航空便を利用した交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
①首都圏等における 県の観光・航空路 線PR	51,000	首都圏及び各就航先でのイベント実施や様々な広告媒体を活用し、県の観光・航空路線のPRを実施する。 ・ウェブ系旅行会社と連携した旅行商品造成と観光・航空路線PRの実施 ・地元のテレビ情報番組や新聞等を活用した県内の航空路線のPRや首都圏行き旅行商品等の情報発信 など
②国内航空便を活用 した海外からの観 光誘客（新規）	10,000	成田、羽田、神戸等から県内へ就航している国内便を利用した外国人観光客の誘客を推進するため、海外に向けた山陰・鳥取の観光情報発信や海外旅行会社の招聘などを実施する。
計	61,000	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・県内空港を発着する航空路線の利便性向上、路線拡充に向けて、利用促進策の充実と継続的な国、航空会社に対する要望活動を行うとともに新規路線誘致を働きかけてきた。平成25年度は米子鬼太郎空港へのスカイマーク新規就航、全日空東京便の大型化、増便が行われ、春からの鳥取－東京便5便化やスカイマーク路線の拡充が決定するなど県内の航空網拡大による利便性は格段に向上した。
- ・平成26年度においては、利用者ニーズを踏まえ効果的な利用促進に取り組むとともに、路線拡大に伴う対象エリアを広げた誘客対策、鳥取空港5便化に伴う空港利用圏域の拡大対策に新たに取り組むとともに、国内便を利用した海外からの観光客誘致対策を拡充する。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

3目 交通対策費

地域振興部交通政策課（内線：7099）→事業実施：観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便就航促進事業	43,900	32,850	11,050				43,900	
トータルコスト	53,961千円（前年度 32,850千円） [正職員：1.3人]							
主な業務内容	国際航空路線の誘致活動の実施など							
工程表の政策目標（指標）	チャーター便の促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

海外との交流人口を増大させ、本県の一層の発展を図っていくことを目指し、東アジア地域等の国際チャーター便を引き続き積極的に誘致するため、ツアーや着陸料等の支援のほか、本県の観光素材のPRを行うとともに、積極的な誘致活動に取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算	内容			
①「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援	29,500	区分	インバウンドチャーター	アウトバウンドチャーター	
		対象	航空会社 旅行会社	旅行会社	
		支援条件	・東アジア地域等から県内空港へのインバウンドチャーター ・県内宿泊施設で1泊以上宿泊	県内空港発着のアウトバウンドチャーター便を利用したツアー	
		支援内容	着陸料等3/4支援	ツアー客1名につき 5,000円	
		限度額	着陸1離着陸当たり 20万円	チャーター1機当たり 100万円	チャーター1機当たり ・座席数200席未満 50万円 ・座席数200席以上 100万円
		〈連続チャーターへの追加支援〉 ・支援条件：1か月3離着陸以上運航 ・支援内容：空港ビル使用料10/10支援 ・限度額：1離着陸13万円、1か月100万円			
		支援方法	観光誘客促進団体等を通じて支援		空港利用促進懇話会を通じて支援
計		23,000千円	6,500千円		
②グリーンツアージェット委託事業	9,000	季節チャーター便として連続3離着陸以上の運航を行う航空会社及び同企画に併せて本県の観光素材を活用した商品を作成する旅行会社と協同して、本県の魅力を国外にPRする。 〈支援目安：上限1,500千円/社×3企画×2（航空会社・旅行会社）〉			
③チャーター便誘致に向けた取組	3,000	現地訪問先の案内・車両手配・通訳などプロモーションにおける側面的支援業務を専門業者に委託する。			
	2,400	・航空会社関係者の招聘 2,250千円 ・空港サポート通訳業務 150千円			
計	43,900				

3 これまでの取組状況、改善点

積極的かつ継続的なエアポートセールスの実施により、ロシア・台湾からのチャーター便の就航に加え、昨年7月～8月には、香港から24往復もの大規模連続チャーター便の就航が実現した。今後も東アジア地域等からの誘致に力を入れる上で、他部局と連携をしながら更なる取組を進めていくことが必要。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

未来づくり推進局鳥取力創造課（内線：7248）→事業実施：スポーツ課

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取方式の芝生化促進事業	18,287	18,177	110			(財産収入) 9 (基金繰入金) 17,927	351	

トータルコスト 22,157千円（前年度 26,121千円）[正職員：0.5人]

主な業務内容 NPOとの連携、庁内関係課との連絡調整、普及啓発、支援事業の実施

工程表の政策目標（指標） 幼稚園・保育所・小学校の園庭・校庭の鳥取方式による芝生化を推進する。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

子どもたちが自由に運動したり、遊んだりする保育所・幼稚園の園庭、小学校の校庭の芝生化について、NPO等の様々な主体と連携しながら拡大を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
県民等への情報発信、普及啓発	708	○「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」に、鳥取方式の芝生化を促進するイベント等の開催に要する経費を補助する。
芝生化の支援	16,246	○保育所・幼稚園の園庭芝生化への支援 ①1,000千円×5園=5,000千円 ○小学校校庭芝生化モデル校への支援 ②500円/㎡×3校×7,000㎡（校庭平均面積） =10,500千円 ○芝生化に取り組む保育所・幼稚園及び小学校への指導助言 746千円
プロジェクトチームでの部局横断的な芝生化の促進	600	○庁内関係課に加え鳥取方式の芝生化を促進するNPOをアドバイザーとして迎えたプロジェクトチームで、部局横断的に芝生化に取り組む。
県施設の芝生化の積極的な検討	373	○県施設での芝生化に取り組むため、初期投資費用、維持管理費を含めて最適な芝生の導入手法を検討する。
標準事務費	360	
合 計	18,287	

3 これまでの取組状況、改善点

○今年度新たに保育所・幼稚園を3園（大正保育園、めぐみ保育園、えるる子ども学園）、小学校を2校（会見小学校、日進小学校）の芝生化に対して支援を行った。

・県内の保育所・幼稚園231園のうち、106園（約46%）が芝生化済（うち鳥取方式67園）

・県内の小学校140校のうち、32校（約23%）が芝生化済（うち鳥取方式22校）

○「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」と連携し、第3回「鳥取方式」芝生化アカデミーを平成25年9月29日（日）に開催し、約50名の参加者による交流を深めた。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

未来づくり推進局鳥取力創造課（内線：7070）→事業実施：スポーツ課

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ガイナレ鳥取と連携した地域づくり推進事業	6,053	6,053	0			(基金繰入金) 5,753	300	
トータルコスト	10,696千円（前年度10,025千円）〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	委託事務の実施							
工程表の政策目標（指標）	多様な活動を行う様々な主体が自主的かつ連携して地域づくりに取り組む社会を実現する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県がガイナレ鳥取との間で締結した包括連携協定に基づき、県民がガイナレ鳥取の選手とふれ合い、相互理解と親近感の醸成を進める場を設けることにより、ガイナレ鳥取を鳥取の誇りと感じてもらいつつ、充実した県民生活や地域の活性化を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予 算	内 容
鳥取方式の芝生化とスポーツを通じた地域づくり事業	5,753	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地域住民の方を対象に、体を動かして楽しめるいろいろな遊び、スポーツを開催する。 事業と並行して鳥取方式の芝生化の魅力を感じてもらうことで、芝生化の理解促進を図る。 （東部地区、中部地区、西部地区でそれぞれ開催。） ガイナレ鳥取が自治会、地域づくり団体、幼稚園等へ訪問し、協働して地域イベント等に取り組み、その上で地域の子どもたちと体を動かしながら触れ合う。 （年間30回程度実施を予定。） 委託先：株式会社SC鳥取
標準事務費	300	
計	6,053	

3 これまでの取組状況、改善点

事業内容	H24年度	H25年度（見込）
サッカー教室またはスポーツ教室の企画・運営及び鳥取方式の芝生化のPR	19回	34回
地域住民とふれあう取組への選手派遣	30回	30回

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

未来づくり推進局鳥取力創造課（内線：7248）→事業実施：スポーツ課

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 「新生」鳥取マラソン支援事業	5,080	0	5,080			(基金繰入金) 5,000	80	
トータルコスト	6,628千円（前年度0円）[正職員：0.2人非常勤職員：0人]							
主な業務内容	大会運営・実行委員会等調整、負担金支出							
工程表の政策目標（指標）	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
競技力の向上及びスポーツによる地域振興に資するため、規模を拡大・充実して平成25年度から新たにスタートした「鳥取マラソン」を実施する実行委員会に対し、所要の経費を負担する。								
2 主な事業内容								
○鳥取マラソン2015（平成27年3月開催予定）に係る県負担金(5,000千円)								
○標準事務費(80千円)								
3 参考（鳥取マラソン2014の概要）								
ア 実施日	平成26年3月16日（日）							
イ 種目	フルマラソン（42.195km）、日本陸連登録の部男女、一般の部男女（全て18歳以上）							
ウ コース	砂丘をはじめとして鳥取市内を巡るコースを設定（日本陸連公認） 鳥取砂丘オアシス広場付近（スタート）～ 仁風閣・鳥取城跡・鳥取県庁前 ～ 宇倍神社 ～ 鳥取環境大学付近 ～ とりぎんバードスタジアム ～ 円通寺橋 ～ 豊実公民館 ～ コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場（フィニッシュ）							
エ 定員	3,000人							
オ 参加料	7,000円							
カ 主催	鳥取県、鳥取市、鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社							
キ 主管	鳥取マラソン実行委員会 （官民連携による実行委員会を構成、関係団体として県、県教委、鳥取市、鳥取市教委、鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社ほか）							
ク 事業費	54,800千円 （財源内訳：県7,500千円、鳥取市8,000千円、新日本海新聞社15,600千円、参加料等23,700千円）							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

1 項 社会福祉費

福祉保健部障がい福祉課（内線：7675）→スポーツ課

1 2 目 障がい者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）障がい者スポーツ競技力向上事業	14,545	0	14,545				14,545	
トータルコスト	16,093千円（前年度0千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	委託契約事務、受託者との連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	障がい者スポーツ及び文化・芸術振興を図る							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

2020年東京パラリンピック開催決定を契機に障がい者スポーツへの関心がさらに高まっている。本県出身の選手が全国障害者スポーツ大会や東京パラリンピック等で活躍できるよう、よりレベルの高い選手や指導者の育成を行い、競技力の向上を図る。

【委託先】鳥取県障がい者スポーツ協会

2 主な事業内容

（1）全国障害者スポーツ大会や国際的なスポーツ大会等で活躍できる選手の育成

区分	内 容	予算額
個人競技	強化選手を指定し、合宿や県外遠征の実施や強化トレーニングを実施する。 （県体育協会加盟の競技団体と合同の合宿や、県体育協会の競技団体に所属する指導者による指導を実施する。）	4,721
団体競技	団体チーム強化のため、合同練習会や合宿等を実施。 （特別支援学校で取り組まれているソフトボールやバスケットボールは、生徒も交えた合同練習会を開催する。）	4,421

【委託先】鳥取県障がい者スポーツ協会

（2）競技活動を支える体制の整備

区分	内 容	予算額
指導者育成	県外へ指導者を派遣し優れた指導方法を身につけてもらうなど、県内指導者の指導力向上及び指導体制の充実を図る。	667
体制整備	競技力向上策を県障がい者スポーツ協会において実施していくため、協会に専任のスポーツ指導員1名を配置し、体制整備を図る。	3,736

【委託先】鳥取県障がい者スポーツ協会

（3）東京パラリンピックに向けたトレーニングセンター誘致

区分	内 容	予算額
調査研究	東京パラリンピックの開催に向け、全国の障がい者が使いやすいトレーニングの場を本県へ誘致するための調査研究を行う。	1,000

【委託先】民間の調査会社

3 これまでの取組状況、改善点

- ・現在の障がい者スポーツにおける競技力向上策は、全国障害者スポーツ大会個人競技出場選手に対する強化練習会を開催しているだけで、その他の強化策は行われていない状況にある。
- ・団体競技は競技人口が少なく、県内に日頃の練習・対戦相手となるチームが無い場合、競技力向上が望めない状況。その結果、全国障害者スポーツ大会中四国ブロック予選を勝ち抜けない状況が続いている。
- ・選手の競技力向上に加え、各競技において強化の中心となり得る質の高い指導者を養成し、指導体制の充実を図る必要がある。
- ・県障がい者スポーツ協会に加盟する競技団体は運営基盤が脆弱であるため、協会のリーダーシップのもと、個人・団体競技を問わず障がい者スポーツの競技力の底上げを行うため、協会の体制整備が必要。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

福祉保健部障がい福祉課（内線：7675）→スポーツ課

12目 障がい者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 全国障害者スポーツ大会派遣等事業	16,801	0	16,801				16,801	
トータルコスト	17,575千円（前年度 0千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	委託契約業務等							
工程表の政策目標(指標)	障がい者スポーツ及び文化・芸術を図る							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

夏の国民体育大会後に開催される「全国障害者スポーツ大会」への鳥取県選手団の派遣等に係る業務を鳥取県障がい者スポーツ協会に委託して行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名	予算額	内 容
全国障害者スポーツ大会派遣	8,520	全国障害者スポーツ大会へ個人競技選手、団体競技チームを派遣する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
全国障害者スポーツ大会中・四国ブロック予選会派遣	6,313	全国障害者スポーツ大会団体競技への出場チームを決定するための中・四国ブロック予選会に県代表チームを派遣する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
個人競技選手選考会の開催	726	全国障害者スポーツ大会個人競技への出場選手を選考するための選考会を開催する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
オープン競技選手選考会の開催	52	全国障害者スポーツ大会オープン競技への出場チームを決定するための選考会を開催する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
鳥取県選手団強化練習会の開催	574	全国障害者スポーツ大会へ出場する個人競技選手に対して強化練習会を開催する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
標準事務費	616	
合 計	16,801	

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																	
(新) 集まれ! トップアスリート合宿誘致プロジェクト事業	56,715	0	56,715			(基金繰入金) 56,468	247																	
トータルコスト	61,358千円（前年度0千円） [正職員：0.6人]																							
主な業務内容	戦略会議（全体会議・専門会議）の開催、委員、市町村、競技団体との調整																							
工程表の政策目標（指標）	トップアスリートの育成																							
事業内容の説明				【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】																				
<p>1 事業の概要</p> <p>拠点となる競技施設の整備を図るとともに、国内外のトップチームの合宿を誘致し、県民がトップレベルのスポーツに触れる機会を創出し、本県アスリートの意識啓発や競技レベルの向上など、スポーツの振興を図る。</p>																								
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 国内外のトップチームの合宿誘致に向けた検討</td> <td>764</td> <td> <p>「合宿等誘致戦略会議」を設置し、国内外のトップチームの合宿等誘致に向けた検討及び誘致活動を行う。</p> <p>○全体会議 年2回 （県、関係市町村、県体協、競技団体、観光コンベンション関係者等で構成）</p> <p>○専門会議 年2回 （関係競技団体（7競技程度を想定）、県、関係市町村、県体協で構成）</p> <p>〔誘致活動の内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央競技団体や各国競技団体への誘致活動 ・大会誘致、大会開催によるアピール ・合宿時の具体的計画の検討 等 <p>〔合宿誘致スケジュール〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">2014年</td> <td>方針、取組等の検討 受入れ準備（組織、施設の整備等） 大規模大会の開催、国外チームの合宿誘致等 ※適宜、実行できることから取り組みを開始</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2018年頃</td> <td>海外代表チーム事前合宿地の決定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2019年</td> <td>海外代表チームや日本代表チームの事前合宿</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2020年</td> <td>海外の代表チーム直前合宿</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	1. 国内外のトップチームの合宿誘致に向けた検討	764	<p>「合宿等誘致戦略会議」を設置し、国内外のトップチームの合宿等誘致に向けた検討及び誘致活動を行う。</p> <p>○全体会議 年2回 （県、関係市町村、県体協、競技団体、観光コンベンション関係者等で構成）</p> <p>○専門会議 年2回 （関係競技団体（7競技程度を想定）、県、関係市町村、県体協で構成）</p> <p>〔誘致活動の内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央競技団体や各国競技団体への誘致活動 ・大会誘致、大会開催によるアピール ・合宿時の具体的計画の検討 等 <p>〔合宿誘致スケジュール〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">2014年</td> <td>方針、取組等の検討 受入れ準備（組織、施設の整備等） 大規模大会の開催、国外チームの合宿誘致等 ※適宜、実行できることから取り組みを開始</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2018年頃</td> <td>海外代表チーム事前合宿地の決定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2019年</td> <td>海外代表チームや日本代表チームの事前合宿</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2020年</td> <td>海外の代表チーム直前合宿</td> </tr> </table>	2014年	方針、取組等の検討 受入れ準備（組織、施設の整備等） 大規模大会の開催、国外チームの合宿誘致等 ※適宜、実行できることから取り組みを開始	↓		2018年頃	海外代表チーム事前合宿地の決定	2019年	海外代表チームや日本代表チームの事前合宿	2020年	海外の代表チーム直前合宿
区分	予算額	事業内容																						
1. 国内外のトップチームの合宿誘致に向けた検討	764	<p>「合宿等誘致戦略会議」を設置し、国内外のトップチームの合宿等誘致に向けた検討及び誘致活動を行う。</p> <p>○全体会議 年2回 （県、関係市町村、県体協、競技団体、観光コンベンション関係者等で構成）</p> <p>○専門会議 年2回 （関係競技団体（7競技程度を想定）、県、関係市町村、県体協で構成）</p> <p>〔誘致活動の内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央競技団体や各国競技団体への誘致活動 ・大会誘致、大会開催によるアピール ・合宿時の具体的計画の検討 等 <p>〔合宿誘致スケジュール〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">2014年</td> <td>方針、取組等の検討 受入れ準備（組織、施設の整備等） 大規模大会の開催、国外チームの合宿誘致等 ※適宜、実行できることから取り組みを開始</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2018年頃</td> <td>海外代表チーム事前合宿地の決定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2019年</td> <td>海外代表チームや日本代表チームの事前合宿</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2020年</td> <td>海外の代表チーム直前合宿</td> </tr> </table>	2014年	方針、取組等の検討 受入れ準備（組織、施設の整備等） 大規模大会の開催、国外チームの合宿誘致等 ※適宜、実行できることから取り組みを開始	↓		2018年頃	海外代表チーム事前合宿地の決定	2019年	海外代表チームや日本代表チームの事前合宿	2020年	海外の代表チーム直前合宿												
2014年	方針、取組等の検討 受入れ準備（組織、施設の整備等） 大規模大会の開催、国外チームの合宿誘致等 ※適宜、実行できることから取り組みを開始																							
↓																								
2018年頃	海外代表チーム事前合宿地の決定																							
2019年	海外代表チームや日本代表チームの事前合宿																							
2020年	海外の代表チーム直前合宿																							

区 分	予算額	事 業 内 容												
2. JOC 強化拠点施設の認定に向けた施設整備等	55,951	JOC セーリング強化センター（※）の認定に向けて境港公共マリーナの競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な施設・設備の整備等を行う。 〔整備内容〕												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>概 要</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○チャーター艇の整備 艇を輸送せずに、効率よく合宿等が行える貸出用のチャーター艇を整備する。</td> <td>29,160</td> </tr> <tr> <td>○コーチングスタッフの確保 選手の海上トレーニングをコーチングするスタッフを配置し、練習環境を整える。</td> <td>4,666</td> </tr> <tr> <td>○救助艇等の配備、エンジン交換 大会等の運営や安全対策に必要なボート3艇の配備、現有2艇のエンジン交換を行う。</td> <td>21,006</td> </tr> <tr> <td>○トレーニング設備の整備 筋力トレーニングができる専用器具を設置し、合宿等の練習環境を整備する。</td> <td>1,119</td> </tr> <tr> <td>○艇庫の整備（境港管理組合で対応） チャーター艇や一部ヨットのマストを立てたまま格納できる艇庫を整備し、利用環境の向上を図る。</td> <td>(100,000)</td> </tr> </tbody> </table>	概 要	金 額	○チャーター艇の整備 艇を輸送せずに、効率よく合宿等が行える貸出用のチャーター艇を整備する。	29,160	○コーチングスタッフの確保 選手の海上トレーニングをコーチングするスタッフを配置し、練習環境を整える。	4,666	○救助艇等の配備、エンジン交換 大会等の運営や安全対策に必要なボート3艇の配備、現有2艇のエンジン交換を行う。	21,006	○トレーニング設備の整備 筋力トレーニングができる専用器具を設置し、合宿等の練習環境を整備する。	1,119	○艇庫の整備（境港管理組合で対応） チャーター艇や一部ヨットのマストを立てたまま格納できる艇庫を整備し、利用環境の向上を図る。	(100,000)
		概 要	金 額											
		○チャーター艇の整備 艇を輸送せずに、効率よく合宿等が行える貸出用のチャーター艇を整備する。	29,160											
		○コーチングスタッフの確保 選手の海上トレーニングをコーチングするスタッフを配置し、練習環境を整える。	4,666											
		○救助艇等の配備、エンジン交換 大会等の運営や安全対策に必要なボート3艇の配備、現有2艇のエンジン交換を行う。	21,006											
		○トレーニング設備の整備 筋力トレーニングができる専用器具を設置し、合宿等の練習環境を整備する。	1,119											
○艇庫の整備（境港管理組合で対応） チャーター艇や一部ヨットのマストを立てたまま格納できる艇庫を整備し、利用環境の向上を図る。	(100,000)													
合 計（1+2）	56,715													

※JOC セーリング強化センター

日本オリンピック委員会（JOC）が認定するセーリング競技の国内拠点施設であり、現在ある2施設に加えて、新たに追加認定する施設が公募され、これに対して鳥取県セーリング連盟が境港公共マリーナを申請中。

強化センターに認定されれば全国レベルの大会開催や日本代表を目指す選手の合宿誘致などが見込まれる。

3 これまでの取組状況・改善点

- ・合宿地としても、布勢運動公園やバードスタジアム等は、空港からのアクセスの利点もあり、過去にもジャマイカ陸上選手団やエクアドルサッカー選手団が本県で合宿している実績がある。
- ・日本セーリング連盟の JOC 競技別強化センター候補地公募に、鳥取県セーリング連盟が境港公共マリーナを申請中。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
競技力向上対策事業費	248,874	217,304	31,570			(基金繰入金) 56,000	192,874	
トータルコスト	255,839千円（前年度223,659千円）〔正職員：0.9人〕							
主な業務内容	委託契約、確定検査							
工程表の政策目標（指標）	トップアスリートの育成							
事業内容の説明	【「こども未来基金」充当事業】							
<p>1 事業の概要</p> <p>本県スポーツの競技力向上を図るとともに、スポーツ活動を通して県民に夢と感動を与える優秀な競技者を育成するため、競技団体等が実施する各種強化事業に対して支援する。（（公財）鳥取県体育協会へ委託）</p>								
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p>								
	区分	予算額	事業内容					
ジュニア強化	I 目指せトップアスリート!!わかとりっこ育成	74,866	スポーツに触れる機会を提供することで、興味をもつ子どもを一人でも多く発掘し、その後のジュニア育成・強化により、選手育成を図る。					
	競技者育成プログラムの活用・実践		競技者育成プログラムの活用及び実践を通して、組織的・計画的にジュニア期の一貫指導体制の確立し、選手強化を図る。					
	ジュニアクラブチームの育成・支援		小・中・高の一貫指導体制を整え、ジュニアの育成・強化を図るため、基盤となるクラブを支援する。（20クラブ）					
	中学生選抜選手強化		学校枠を超えて優秀選手を選抜し選手強化を図る。（17競技、241人程度）					
	高等学校運動部指定強化		競技の強化拠点となる運動部を指定し、競技力向上を図る。（64部）					
	少年国体等選手指定強化		少年選手を指定し、国体等に向けて県内外の強化事業を実施する。（17競技、243人程度）					
	指導者の育成		全国トップレベルの指導者への派遣や国内外の優秀コーチ招へい等を行い、県内の指導者の指導力向上を図る。					
II 成年強化	大学運動部指定強化	33,298	協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。（鳥取大3部 鳥取短大1部 鳥取環境大1部 米子高専1部）					
	成年国体等選手指定強化		成年選手を指定し、国体等に向けて県内外の強化事業を実施する。（23競技、183人程度）					
	国体成年団体競技強化		県内社会人クラブチームを支援すること。 ・国体成年団体競技強化（アイスホッケー） ・クラブチーム支援事業（女子バドミントン・軟式野球）					

区 分		予算額	事 業 内 容
Ⅱ 成 年 強 化	(新)優秀選手確保		成年期の競技力向上のために、「トップアスリート I. J. U ターン促進協議会」を設置して企業と選手のマッチングを行い、選手を正規雇用する企業に奨励金(100万円)を支給する制度を新設する。
Ⅲ 特 別 強 化	特別指定競技団体強化	22,219	高い競技得点がねらえる有望な団体競技、過去に入賞が常連であった競技を指定し、集中的な強化事業を実施する。(8競技、189人程度)
Ⅳ 条 件 整 備	医・科学サポート	100,320	筋力トレーニング等の充実、医事・栄養指導を含めた医・科学サポート体制整備を実施する。
	国体等強化備品整備		国体のルール改正への対応や、平成27年度国体中国ブロック大会を本県で開催するに当たって必要となる備品を整備する。(競技用ボート、跳馬用マット等)
	強化練習用消耗品等対策		強化練習や国体参加に係る強化関連費用について支援する。(セーリング消耗品(セール、スパークレット)、スケートリンク使用料、ヨット等の運搬等)
	安全管理対策強化推進		国体候補選手等のスポーツ安全対策を図る。 各競技団体との連絡・調整・指導等を行う。
V	委託事業人件費	18,171	競技力向上対策事業を委託執行するための3名の人件費
合 計 (I~V)		248,874	

3 これまでの取組状況・改善点

- ・近年の国体成績結果から、少年については、ジュニア期一貫指導体制推進事業の一定の成果が現れている。
- ・一方、成年については、企業チームの解散や優秀選手及び指導者の確保が出来ず、成績は低迷していることから競技力強化は急務である。

(近年の国体成績結果)

年度	開催地	順位	競技得点		
			少年得点	成年得点	
H25	東京	45位	220.0点	151.5点	68.5点
H24	岐阜	44位	260.5点	177.5点	83.0点
H23	山口	44位	228.0点	142.0点	86.0点
H22	千葉	46位	229.5点	128.5点	101.0点
H21	新潟	47位	198.5点	78.0点	120.5点

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト	8,187	0	8,187			(基金収入) 2,000 (諸収入) 19	6,168	
トータルコスト	12,830千円（前年度0千円） [正職員：0.6人、非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	検討委員会の開催、委員との連絡調整、タレント発掘選考会の実施							
工程表の政策目標（指標）	トップアスリートの育成							

事業内容の説明

【「こども未来基金」充当事業】

1 事業の概要

2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、優秀なジュニア選手の発掘・育成、子どもたちとトップ選手との交流機会の創出、特別支援学校運動部の強化などに取り組み、スポーツ気運の向上と本県から東京オリンピック・パラリンピックへ出場する選手の輩出を目指す。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容		
1. チーム鳥取！発掘・育成事業	2,807	<p>オリンピック選手になる得る可能性を秘めた子どもたちを発掘・育成するプログラムを作成し、系統的、戦略的にトップアスリートの育成を図る。</p> <p>○トップアスリート育成プログラムの検討・作成 検討委員会の開催（年4回 委員10名） 〔主なプログラム〕 トレーニングプログラム スポーツ教育プログラム</p> <p>○体力測定会の開催、候補者の選考 選考会 年2回（体カテスト） 〔対象者〕中学生 〔対象競技〕ボート、自転車、ウエイトリフティング、フェンシング、ライフル、アーチェリーなど →中学・高校生から競技を始めて、トップ選手になり得る可能性の高い競技 〔発掘育成の流れ〕 【1年目】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">県内中学生を対象に募集</div> ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">選考(1次選考・2次選考)</div> ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">「チーム鳥取」候補者の認定</div> 【2年目】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">〔共通プログラム〕 ・トレーニングプログラム ・スポーツ教育プログラム</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">〔競技体験〕 〔競技専門プログラム〕</td> </tr> </table> 競技選択（面接等） ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">各運動部、競技団体に強化</div> </p>	〔共通プログラム〕 ・トレーニングプログラム ・スポーツ教育プログラム	〔競技体験〕 〔競技専門プログラム〕
〔共通プログラム〕 ・トレーニングプログラム ・スポーツ教育プログラム	〔競技体験〕 〔競技専門プログラム〕			

区 分	予算額	事業内容
2. 夢！輝き情報発信事業	5,380	子どもたちとトップアスリート等とが触れあう機会を創出し、スポーツ機運の醸成を図る。 ○子どもたちとトップ選手の交流会等の開催支援事業を実施する競技団体へ助成 100千円×10団体 ○オリンピック出場経験のあるスポーツ指導員1名の確保
3. 特別支援学校の運動部への支援	(2,426) (別掲)	パラリンピック種目の体験機会の創出や運動部の強化をとおして、パラリンピック選手を目指す子どもを育成する。(特別支援教育課実施) ○強化運動部指定(4校8部) 強化指定部への強化費、外部指導者の派遣等 ○授業や課外活動の時間等で、パラリンピック種目の体験機会を創出(障がい者スポーツ協会へ委託)
合 計 (1+2)	8,187 (10,613)	

3 これまでの取組状況・改善点

- ・ これまでに本県は、2名のメダリストをはじめとして、オリンピック選手、パラリンピック選手を輩出しているが、その数は決して多くはない。
- ・ 障がい者スポーツの推進が求められる中、特別支援学校における運動部活動の充実が必要。
- ・ 本県からより多くの2020年東京オリンピック・パラリンピック出場選手を輩出するためには、これまでの取組を生かしつつ、スポーツ機運の醸成を図るとともに、チーム鳥取！発掘・育成など新たな施策を戦略的に展開することが必要。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「関西ワールドマスターズゲームズ2021」平成26年度開催準備費負担金	12,500	0	12,500				12,500	

トータルコスト	14,048千円（前年度0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	関係機関連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

「関西ワールドマスターズゲームズ2021」大会開催準備の必要経費（平成26年度分開催府県市負担金）について負担する。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
「関西ワールドマスターズゲームズ2021」平成26年度開催準備費負担金	12,500	開催府県市負担金112,500千円のうち、本県割当額を負担する。 （112,500千円÷9府県市（鳥取県、京都府、兵庫県、滋賀県、和歌山県、徳島県、京都市、堺市、神戸市））

〔参考〕ワールドマスターズゲームズ（WVG）概要

国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が原則4年ごとに主催する、30歳以上の成人・中高年のアスリートを対象とした生涯スポーツの国際競技大会。（近年開催都市：2009 シドニー、2013 トリノ。大会規模：選手参加者数107か国約15,000人（トリノ大会時））

〔今後の計画〕

- ・平成26年9月 組織委員会の設立
- ・平成26年12月 開催地契約の締結
- ・平成28年12月頃まで 開催競技、会場地決定

〔「関西ワールドマスターズゲームズ2021」準備委員会 平成26年度収支計画〕

区分	金額（千円）	内訳（千円）	摘要
支出	133,395	大会開催準備費 97,895	組織委員会設立・運営費用等
		マーケティング費 7,000	海外視察、海外でのPR費用等
		広告宣伝費 8,500	ホームページ運営経費等
		予備費 20,000	
収入	137,500	府県市負担金 112,500	12,500千円×9府県市
		民間等 25,000	広告料収入

3 これまでの取組状況・改善点

- ・平成24年秋、IMGAから関西広域連合に対して2021年WVGの関西大会開催の打診があった。
- ・本大会は、生涯スポーツの推進、観光誘客、国際交流の促進等の点で意義の大きいものであることから、関西広域連合として大会招致について正式決定。
- ・平成25年9月、2021年関西大会開催に向けて、官民連携の準備組織である準備委員会が設立され、本県でも生涯スポーツの推進等、大会の持つ意義を踏まえ、準備委員会に参加。
- ・同年11月、IMGAによる主要競技施設等の査察を経て、2021年関西大会の開催が決定。

平成26年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

7 項 保健体育費 教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7919）→事業実施：スポーツ課

4 目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																				
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	一般財源																					
県営米子屋内プール耐震化推進事業	301,858	190,774	111,084			78,623	223,235																					
トータルコスト	304,954千円（前年度191,568千円）〔正職員：0.4人〕																											
主な業務内容	改修に係る工事内容の調整・進行管理・各種調整・予算管理等																											
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実																											
事業内容の説明				【「地域の元気・公共投資臨時基金」充当事業】																								
<p>1 事業の概要</p> <p>耐震強度が不足している県営米子屋内プールのプール棟耐震改修工事及び老朽化改修工事を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>＜平成24年度から平成26年度継続事業＞（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計・工事監理費</td> <td>19,748</td> <td>2,416</td> <td>5,868</td> <td>28,032</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>—</td> <td>188,358</td> <td>295,990</td> <td>484,348</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,748</td> <td>190,774</td> <td>301,858</td> <td>512,380</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 これまでの取組状況・改善点</p> <p>平成25年3月25日に県と米子市が締結した県営米子屋内プールと米子市営東山水泳場を交換する協定に基づき、交換までに互いに所有する施設について必要な改修を行うこととしている。</p>									区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計	実施設計・工事監理費	19,748	2,416	5,868	28,032	工事請負費	—	188,358	295,990	484,348	合計	19,748	190,774	301,858	512,380
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計																								
実施設計・工事監理費	19,748	2,416	5,868	28,032																								
工事請負費	—	188,358	295,990	484,348																								
合計	19,748	190,774	301,858	512,380																								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7919）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
体育施設運営費	261,698	245,577	16,121			(諸収入) 10	261,688	
トータルコスト	265,568千円（前年度250,343千円） [正職員：0.5人、非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	指定管理者との調整、委託料の支払							
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
県立社会体育施設の管理運営を円滑に行うため、指定管理者に施設の管理運営を委託するとともに、必要な備品の整備を行う。								
2 事業内容 (単位：千円)								
	区分	予算額	指定管理者					
管理 運営 委託 費	鳥取産業体育館及び 鳥取屋内プール	60,672	(公財)鳥取県体育協会					
	倉吉体育文化会館	43,200	(公財)鳥取県体育協会					
	米子産業体育館	29,500	(公財)鳥取県体育協会					
	米子屋内プール	45,900	(公財)鳥取県体育協会					
	武道館	64,963	(公財)鳥取県体育協会					
	ライフル射撃場	983	鳥取県ライフル射撃協会					
	備品購入費	12,367	50m用標的自動交換機、コインロッカー等					
	その他経費	4,113	非常勤職員1名配置、需用費、役務費等					
	合計	261,698						

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7919）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
体育施設改修費	39,713	41,211	△1,498				39,713																
トータルコスト	41,261千円（前年度43,594千円） [正職員：0.2人]																						
主な業務内容	施設改修に係る関係機関・施設との調整																						
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の概要</p> <p>スポーツ活動の拠点としてふさわしい環境の整備を図るため、県立社会体育施設の維持、老朽化に伴う改修工事を行う。</p>																							
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県立倉吉体育文化会館非常用自家発電装置改修工事</td> <td>18,100</td> <td>非常用自家発電装置は、中国電気保安協会の自家用電気工作物点検で更新の指摘を受けているため、改修工事を行う。 ・設計委託料：1,118千円 ・工事請負費：16,982千円</td> </tr> <tr> <td>鳥取県営屋内プール人工芝張替工事</td> <td>13,172</td> <td>人工芝は、劣化が激しく芝くずがプール内に入り不衛生となっているため、張替工事を行う。 ・設計委託料：898千円 ・工事請負費：12,274千円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>8,441</td> <td>需用費、役務費、使用料及び賃借料等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39,713</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	鳥取県立倉吉体育文化会館非常用自家発電装置改修工事	18,100	非常用自家発電装置は、中国電気保安協会の自家用電気工作物点検で更新の指摘を受けているため、改修工事を行う。 ・設計委託料：1,118千円 ・工事請負費：16,982千円	鳥取県営屋内プール人工芝張替工事	13,172	人工芝は、劣化が激しく芝くずがプール内に入り不衛生となっているため、張替工事を行う。 ・設計委託料：898千円 ・工事請負費：12,274千円	その他経費	8,441	需用費、役務費、使用料及び賃借料等	合計	39,713	
区分	予算額	事業内容																					
鳥取県立倉吉体育文化会館非常用自家発電装置改修工事	18,100	非常用自家発電装置は、中国電気保安協会の自家用電気工作物点検で更新の指摘を受けているため、改修工事を行う。 ・設計委託料：1,118千円 ・工事請負費：16,982千円																					
鳥取県営屋内プール人工芝張替工事	13,172	人工芝は、劣化が激しく芝くずがプール内に入り不衛生となっているため、張替工事を行う。 ・設計委託料：898千円 ・工事請負費：12,274千円																					
その他経費	8,441	需用費、役務費、使用料及び賃借料等																					
合計	39,713																						

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7919）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
公益財団法人鳥取県体育協会運営費補助金	95,424	94,680	744				95,424	
トータルコスト	96,972千円（前年度96,269千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
本県のスポーツ振興を図り、健康で文化的な県民生活の向上等に寄与することを目的とする公益財団法人鳥取県体育協会の円滑な運営に資するため、事務局職員の人件費及び事務費に対して助成する。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
人件費	89,772	評議員、理事	696					
		会長	963					
		専務理事	4,700	(1人)				
		事務局職員	36,667	(8人)				
		体育指導員	46,746	(17人)				
事務費	5,652	事務局の運営に要する経費						
合計	95,424							
倉吉自転車競技場運営費	4,815	4,688	127				4,815	
トータルコスト	6,363千円（前年度5,482千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
公益財団法人鳥取県体育協会に対して、「倉吉自転車競技場」の管理運営に必要な経費について支援する。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
倉吉自転車競技場管理運営費	4,355	倉吉自転車競技場の管理について、公益財団法人鳥取県体育協会が特定非営利活動法人たかしろに管理委託しており、その経費を支援する。						
公益財団法人鳥取県体育協会事務局費	460	倉吉自転車競技場の管理のために必要となる公益財団法人鳥取県体育協会の事務局職員の旅費等経費の一部を支援する。						
合計	4,815							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7919）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業	15,285	21,968	△6,683				15,285	
トータルコスト	16,059千円（前年度22,762千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
スポーツを通して鳥取県の情報発信や地域おこしを行うため、本県で生まれ育った全国的な大会や全国的なチームに対して支援する。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	補助率	事業内容					
日本海駅伝競走大会運営事業	1,000	定額	日本海駅伝競走大会の運営費を支援する。 補助対象者：新日本海新聞社					
J3アウェイゲーム遠征事業	11,460	1/2	ガイナレ鳥取の県外アウェイゲーム遠征費の一部を支援する。 補助対象者：株式会社SC鳥取					
ガイナレサッカースクール運営事業	2,525	1/2	ガイナレ鳥取が運営するサッカースクールの運営費の一部を支援する。 補助対象者：株式会社SC鳥取					
宇佐美杯鳥取県空手道選手権大会運営事業	300	定額	宇佐美杯鳥取県空手道選手権大会の運営費を支援する。 補助対象者：鳥取県空手道連盟					
合計	15,285							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7919）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
日韓スポーツ交流事業	2,821	1,400	1,421				2,821																			
トータルコスト	3,595千円（前年度2,194千円） [正職員：0.1人]																									
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査																									
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の概要</p> <p>平成13年11月6日に締結した鳥取県・江原道スポーツ交流協定に基づき、公益財団法人鳥取県体育協会と江原道体育会が行う青少年スポーツ交流事業に対する支援を行う。（平成26年度は本県が受入）</p>																										
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th colspan="7">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日韓スポーツ交流事業</td> <td>2,821</td> <td colspan="7"> スポーツ交流を通して日韓の友好とスポーツ振興を図るため、（公財）鳥取県体育協会が実施するスポーツ交流試合等の経費を支援する。 ・実施時期：平成26年11月～12月上旬予定 ・事業実施主体：公益財団法人鳥取県体育協会 ・人数：江原道45人、鳥取県62人 ・競技：サッカー、バスケットボール等 </td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容							日韓スポーツ交流事業	2,821	スポーツ交流を通して日韓の友好とスポーツ振興を図るため、（公財）鳥取県体育協会が実施するスポーツ交流試合等の経費を支援する。 ・実施時期：平成26年11月～12月上旬予定 ・事業実施主体：公益財団法人鳥取県体育協会 ・人数：江原道45人、鳥取県62人 ・競技：サッカー、バスケットボール等						
区分	予算額	事業内容																								
日韓スポーツ交流事業	2,821	スポーツ交流を通して日韓の友好とスポーツ振興を図るため、（公財）鳥取県体育協会が実施するスポーツ交流試合等の経費を支援する。 ・実施時期：平成26年11月～12月上旬予定 ・事業実施主体：公益財団法人鳥取県体育協会 ・人数：江原道45人、鳥取県62人 ・競技：サッカー、バスケットボール等																								
都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600	1,600	0				1,600																			
トータルコスト	2,374千円（前年度2,394千円） [正職員：0.1人]																									
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査																									
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の概要</p> <p>県民のスポーツへの関心、意欲を高めるとともに、鳥取県を全国に情報発信するため、多くの県民が注目する都道府県対抗駅伝に出場する鳥取県代表チームの選手強化費の一部を支援する。</p>																										
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th colspan="7">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都道府県対抗駅伝強化費補助金</td> <td>1,600 （定額）</td> <td colspan="7"> 中・高校生の本県代表選手を選考し、県内外での合宿及び県外大会への派遣に係る経費について支援する。 ・事業実施主体：鳥取陸上競技協会 ・補助対象経費：旅費、役務費、使用賃借料 </td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容							都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600 （定額）	中・高校生の本県代表選手を選考し、県内外での合宿及び県外大会への派遣に係る経費について支援する。 ・事業実施主体：鳥取陸上競技協会 ・補助対象経費：旅費、役務費、使用賃借料						
区分	予算額	事業内容																								
都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600 （定額）	中・高校生の本県代表選手を選考し、県内外での合宿及び県外大会への派遣に係る経費について支援する。 ・事業実施主体：鳥取陸上競技協会 ・補助対象経費：旅費、役務費、使用賃借料																								

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																																													
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																														
競技スポーツ推進事業	5,494	5,810	△316				5,494																																														
トータルコスト	7,042千円（前年度7,399千円） [正職員：0.2人]																																																				
主な業務内容	戦力分析、情報収集、国体入賞者の表彰																																																				
工程表の政策目標（指標）	トップアスリートの育成																																																				
事業内容の説明																																																					
<p>1 事業の概要</p> <p>本県選手の競技力に関する戦力分析・情報収集を行うとともに、国体や国際大会等の入賞者に対する知事表彰を行い、各選手の競技力向上に対する意識や、県民の競技スポーツに対する意識の高揚を図る。</p>																																																					
<p>2 事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th colspan="7">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>競技力向上対策費</td> <td>974</td> <td colspan="7">国体知事表彰及び鳥取県スポーツ顕彰を行う。</td> </tr> <tr> <td>国体等派遣選手指導費</td> <td>2,200</td> <td colspan="7">競技団体との情報交換、国体での選手への指導や戦力分析及び情報収集を行う。</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,320</td> <td colspan="7">旅費、需用費、使用料及び賃借料等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,494</td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容							競技力向上対策費	974	国体知事表彰及び鳥取県スポーツ顕彰を行う。							国体等派遣選手指導費	2,200	競技団体との情報交換、国体での選手への指導や戦力分析及び情報収集を行う。							その他経費	2,320	旅費、需用費、使用料及び賃借料等							合計	5,494							
区分	予算額	事業内容																																																			
競技力向上対策費	974	国体知事表彰及び鳥取県スポーツ顕彰を行う。																																																			
国体等派遣選手指導費	2,200	競技団体との情報交換、国体での選手への指導や戦力分析及び情報収集を行う。																																																			
その他経費	2,320	旅費、需用費、使用料及び賃借料等																																																			
合計	5,494																																																				
(新) 全国大会等推進費	1,000	0	1,000				1,000																																														
トータルコスト	1,774千円（前年度0千円） [正職員：0.1人]																																																				
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査																																																				
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実																																																				
事業内容の説明																																																					
<p>1 事業の概要</p> <p>本県スポーツ活動の振興と、スポーツ大会を通じた本県のアピールを目的とし、鳥取県内で開催される各種競技団体の大会の開催費を支援する。</p>																																																					
<p>2 事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>補助率</th> <th colspan="6">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第24回全日本古希軟式野球大会</td> <td>1,000</td> <td>定額</td> <td colspan="6">第24回全日本古希軟式野球大会の開催費を支援する。 補助対象者：全日本還暦軟式野球連盟</td> </tr> </tbody> </table> <p>[第24回全日本古希軟式野球大会概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：平成26年10月17日～21日 ・場 所：倉吉市営野球場ほか 計7会場 ・参加チーム：全国31都道府県から56チーム 									区分	予算額	補助率	事業内容						第24回全日本古希軟式野球大会	1,000	定額	第24回全日本古希軟式野球大会の開催費を支援する。 補助対象者：全日本還暦軟式野球連盟																																
区分	予算額	補助率	事業内容																																																		
第24回全日本古希軟式野球大会	1,000	定額	第24回全日本古希軟式野球大会の開催費を支援する。 補助対象者：全日本還暦軟式野球連盟																																																		

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
競技力向上のための指導者の確保事業	37,756	36,645	1,111			95	37,661	
トータルコスト	40,852千円（前年度39,028千円） [正職員：0.4人、非常勤職員5.0人]							
主な業務内容	スポーツ教室等の企画・運営・指導、競技力向上指導							
工程表の政策目標（指標）	トップアスリートの育成							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を指導者本人の適性や状況に応じて確保する。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	人数	予算額	事業内容					
スポーツ指導員 （県）	5	21,895	文化観光・スポーツ局に配置するスポーツ指導員5名分の人件費（報酬、共済費）である。（陸上2名、バドミントン1名、カヌー1名、空手道1名）					
体育指導員 （県体育協会）	2	10,474	（公財）鳥取県体育協会に配置するスポーツ指導員2名分の人件費を支援する。（セーリング1名、ホッケー1名）					
私立学校	2	4,487	県内私立高校の指導員2名分の人件費の1/2を支援する。（ソフトボール、ソフトテニスを予定）					
その他経費	-	900	旅費（費用弁償）					
合計	9	37,756						
※別途、2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト事業でスポーツ指導員1名を配置。								
スポーツ審議会費	1,003	1,592	△589				1,003	
トータルコスト	2,551千円（前年度3,181千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	審議会の開催							
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実、健やかな心と体づくりの推進							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
スポーツ審議会を開催し、本県スポーツの推進に関する重要事項について調査審議・建議する。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	検討内容						
審議会運営費	1,003	スポーツ推進計画の進捗管理を含め、本県のスポーツに関わる内容について審議し、本県のスポーツ推進の方向性を検討する。						

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7923）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国民体育大会派遣事業	98,423	116,999	△18,576				98,423	
トータルコスト	99,971千円（前年度118,588千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	委託契約、確定検査							
工程表の政策目標（指標）	トップアスリートの育成							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>公益財団法人鳥取県体育協会に委託して、国民体育大会県予選会を開催するとともに、中国ブロック大会・国民体育大会へ選手を派遣する。</p>								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
国民体育大会派遣費	98,423	<ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会県予選会開催費（40競技） ・国民体育大会中国ブロック大会等派遣費 ・国民体育大会派遣費 						
3 これまでの取組状況・改善点								
<ul style="list-style-type: none"> ・近年の国体成績について、少年については、ジュニア期一貫指導体制推進事業の一定の成果が現れている。 ・一方、成年については、企業チームの解散や優秀選手及び指導者の確保ができず、成績が低迷している。 								
〔国民体育大会開催状況〕								
区分	H24	H25	H26					
開催地	冬季：愛知県、岐阜県 本大会：岐阜県	冬季：東京都、秋田県 本大会：東京都	冬季：栃木県、山形県 本大会：長崎県					
本県総合成績	44位	45位	—					

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
スポーツ・レクリエーション事業	7,636	6,146	1,490				7,636											
トータルコスト	12,279千円（前年度10,912千円） [正職員：0.6人]																	
主な業務内容	申請書の審査、負担金交付、確定検査、競技団体との連絡調整																	
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の概要</p> <p>県民のスポーツに対する意欲・関心を高めるとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現と健康・体力の保持増進を図るため、鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭を開催し、本県の生涯スポーツの普及振興を図る。</p>																		
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業負担金</td> <td>7,636</td> <td> 鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の開催経費を負担する。 ・事業主体：鳥取県民スポーツ・レクリエーション大会実行委員会 ・実施種目：水泳、陸上、スキー他40種目 ・期 日：夏季大会 平成26年8月30日～31日 秋季大会 平成26年10月27日～28日 冬季大会 平成27年2月15日 ・対象経費：実行委員会費及び競技運営費 </td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業負担金	7,636	鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の開催経費を負担する。 ・事業主体：鳥取県民スポーツ・レクリエーション大会実行委員会 ・実施種目：水泳、陸上、スキー他40種目 ・期 日：夏季大会 平成26年8月30日～31日 秋季大会 平成26年10月27日～28日 冬季大会 平成27年2月15日 ・対象経費：実行委員会費及び競技運営費				
区分	予算額	事業内容																
鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業負担金	7,636	鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の開催経費を負担する。 ・事業主体：鳥取県民スポーツ・レクリエーション大会実行委員会 ・実施種目：水泳、陸上、スキー他40種目 ・期 日：夏季大会 平成26年8月30日～31日 秋季大会 平成26年10月27日～28日 冬季大会 平成27年2月15日 ・対象経費：実行委員会費及び競技運営費																
<p>3 これまでの取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツとレクリエーションスポーツを同時に開催しているスポレク祭は、競技スポーツの競技性が薄れているとの関係者からの指摘があり、競技性を高める一つの方策として地区予選会の実施が必要。 ・平成26年度から地区予選会を経て県大会に出場する地域代表種目について、予選会開催費用の一部を負担する。 ・関西ワールドマスタースゲームズ2021の気運を盛り上げるために実施する関西版マスタースゲームズ大会（関西マスタースポーツフェスティバル）を兼ねて開催する種目には、別途開催費用の一部を負担する。 <p>〔県民スポレク祭の参加状況〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,741人</td> <td>12,025人</td> <td>12,182人</td> <td>11,907人</td> <td>11,445人</td> </tr> </tbody> </table>									H20	H21	H22	H23	H24	12,741人	12,025人	12,182人	11,907人	11,445人
H20	H21	H22	H23	H24														
12,741人	12,025人	12,182人	11,907人	11,445人														

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
生涯スポーツ推進費	1,745	1,788	△43				1,745	
トータルコスト	4,841千円（前年度9,732千円） [正職員：0.4人]							
主な業務内容	協議会の運営、講習会等の開催							
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>地域スポーツの推進を担う鳥取県スポーツ推進委員協議会の運営や協議会が実施する研究大会等への支援を行うとともに、スポーツ推進委員の資質向上と活動の活性化を図るため、リーダー研修会の開催、中央講習会への受講者派遣を行う。また、総合型地域スポーツクラブ運営の中心となるアシスタントマネジャー講習会を開催し、クラブの活性化を支援する。</p>								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
生涯スポーツ活動推進事業	935	各市町村におけるスポーツ推進を図るため、スポーツ推進委員の資質向上と活動の活性化に関する支援を行う。 ・鳥取県スポーツ推進委員協議会への助成 ・スポーツ推進委員リーダー研修会の開催 ・市町村等への助言、県民への普及啓発						
広域スポーツセンター事業	262	生涯スポーツを推進し、スポーツを通じた地域づくりに向けて核となる総合型地域スポーツクラブの育成と活動の充実を支援するための講習会を開催する。 ・アシスタントマネジャー講習会の開催						
その他経費	548	需用費、役務費						
計	1,745							

平成26年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

教育委員会スポーツ健康教育課（内線：7921）→事業実施：スポーツ課

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業	433	420	13				433													
トータルコスト	1,207千円（前年度1,214千円） [正職員：0.1人]																			
主な業務内容	申請者の審査、補助金交付、確定検査																			
工程表の政策目標（指標）	ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の概要</p> <p>山陰海岸ジオパークの周知を図るとともに因幡地域と但馬地域の陸上競技を通じたスポーツ交流を促進するため、因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会実行委員会が主催する陸上競技大会を支援する。</p>																				
<p>2 事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業補助金</td> <td>433</td> <td> 因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会実行委員会が主催する陸上競技大会への経費を支援する。 ・開催時期：平成26年8月頃 ・参加者：兵庫県但馬・鳥取県因幡地域の中学生 ・開催場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場 ・競技種目：短距離走・中距離走、ハードル・リレー、走り高跳び等 </td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業補助金	433	因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会実行委員会が主催する陸上競技大会への経費を支援する。 ・開催時期：平成26年8月頃 ・参加者：兵庫県但馬・鳥取県因幡地域の中学生 ・開催場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場 ・競技種目：短距離走・中距離走、ハードル・リレー、走り高跳び等						
区分	予算額	事業内容																		
因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業補助金	433	因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会実行委員会が主催する陸上競技大会への経費を支援する。 ・開催時期：平成26年8月頃 ・参加者：兵庫県但馬・鳥取県因幡地域の中学生 ・開催場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場 ・競技種目：短距離走・中距離走、ハードル・リレー、走り高跳び等																		
<p>3 これまでの取組状況・改善点</p> <p>・毎年、200人近い参加者があり、因幡地区、但馬地区の陸上競技を通じた交流の場となっている。</p> <p>〔過去大会参加者数（地区別）〕</p> <table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>因幡地区</td> <td>105人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>但馬地区</td> <td>95人</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200人</td> <td>194人</td> </tr> </tbody> </table>									地区	H24	H25	因幡地区	105人	100人	但馬地区	95人	94人	計	200人	194人
地区	H24	H25																		
因幡地区	105人	100人																		
但馬地区	95人	94人																		
計	200人	194人																		

平成26年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

まんが王国官房 (内線: 7801)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国発 ソフトパワー事業	247,793	306,310	△58,517	50,057		(基金繰入金) 191,006 (雑入) 27	6,703	
トータルコスト	286,488千円 (前年度353,974千円) [正職員: 5人 非常勤職員3人]							
主な業務内容	まんが・アニメイベントの企画立案・運営業務							
工程表の政策目標(指標)	まんが・アニメ等を活用した新たな魅力づくり							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「国際まんが博」、「国際マンガサミット」開催によって、県内各地で芽生えてきた取組や国内外のネットワークを本県における地域振興、観光客誘致、人材育成、知名度向上など様々な面での推進力へと発展させるため、元気のある地域等と連携して「まんが王国とっとり」の聖地化、国内外への強力な情報発信、「まんが」のあふれるまちづくりに取り組む。

2 主な事業内容

(1) 元気のある地域等と連携した「まんが王国とっとり」の聖地化

(単位: 千円)

事業名	事業内容				金額	
(新) 新たな聖地連携促進事業	○アニメの舞台となった琴浦町及び岩美町と連携して、聖地巡礼の地としてのまちづくりを進める取組を促進する。 ・事業内容: トークショー等イベント開催支援 ・事業費: 2,000千円×2地域 ○県内観光施設等のコスプレ聖地化の可能性を見い出すため、コスプレ有識者による観光施設等のロケ地の発掘・受入れ研修等を実施する。 ・事業費: 1,547千円				5,547	
市町村・民間団体への取組支援事業	元気でやる気のある市町村、民間団体の、まんがを活用したまちづくりやイベント等の取組を積極的に支援する。				74,500	
		補助率	上限額	予定件数		
	まんが拠点整備支援事業	1/2	8,000	4市町		32,000
	協働推進事業	1/2	2,000	5団体(市町村・民間)		10,000
	地域イベントへの支援事業	定額	-	米子映画事変、アニカルまつり、中華コスプレ、ゆるキャラカップ		32,000
	県内漫画家活動支援事業	定額	-	描くひと	500	
コンテンツビジネスサロンの開催	県内でコンテンツ産業に携わる人の技術向上の場として、全国的に活躍しているプロデューサー等を講師とした研修会等を開催する。 ・開催時期等: 年4回 ・事業費: 1,690千円(講師謝金、会場費等)				1,690	
漫画家・クリエイター等との意見交換の開催	国際マンガサミット、国際まんが博等を通じて構築した人脈を維持・活用するとともに県内業界関係者とも連携して企画立案・事業実施に取り組むため、随時意見交換を行う。				1,601	
	小 計				83,338	
	(文化庁補助)				(2,318)	

(2)「まんが王国とっとり」ならではの情報発信

(単位：千円)

事業名	事業内容	金額																				
(新)世界制覇まんが博覧会出展	海外で人気が高い鬼太郎、コナンのキャラクターを活用し、香港、フランス等のまんが博覧会へ出展、外国人観光客誘致を促進する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>開催国</th> <th>時期</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャパンエキスポ</td> <td>フランス</td> <td>7月</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>香港動漫電玩節</td> <td>香港</td> <td>7月</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>台湾漫画博覧会</td> <td>台湾</td> <td>8月</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>富川国際漫画祝会</td> <td>韓国</td> <td>8月</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	開催国	時期	来場者数	ジャパンエキスポ	フランス	7月	25人	香港動漫電玩節	香港	7月	75人	台湾漫画博覧会	台湾	8月	65人	富川国際漫画祝会	韓国	8月	10人	21,185
名称	開催国	時期	来場者数																			
ジャパンエキスポ	フランス	7月	25人																			
香港動漫電玩節	香港	7月	75人																			
台湾漫画博覧会	台湾	8月	65人																			
富川国際漫画祝会	韓国	8月	10人																			
(新)「名探偵コナン謎解きラリー(仮称)」の開催(債務負担設定済)	「鳥取県オリジナルの謎解きラリー」を開催し、国内外に情報発信するとともに、県内周遊を促進する。 ・開催時期：平成26年7月～9月 ・開催地域：県内全域	27,000																				
(新)「名探偵コナンまつり(仮称)」の開催(債務負担設定済)	コナンの声優、アーティストが一堂に会した参加型イベントを開催する。 ・開催時期：平成26年8月 ・開催地域：県中部地域	10,000																				
(新)「水木しげるの妖怪の世界(仮称)」の開催	「水木しげるの妖怪の世界(仮称)」を開催し、水木しげるロード等の拠点の魅力を、国内外に情報発信する。 ・開催時期 平成26年秋頃	9,000																				
国際マンガサミット台湾大会への出展	国際マンガサミット台湾大会へブース出展し、まんが王国とつとりを海外へ強く情報発信するとともに、国内外の著名漫画家との連携を強化する。 ・開催時期：平成26年11月 ・開催地域：台湾	5,810																				
高知県との情報発信交流事業	平成25年3月に締結した「友好通商条約」に基づき、高知県との交流を一層促進する。 ・首都圏での「まんが王国会議」開催 ・まんが甲子園交流試合 ・マンガイベント出展	12,840																				
明治大学連携展の開催	明治大学が保有するまんが・アニメ関連資料を県内で展示、情報発信を行う。 ・開催時期：平成26年11月 ・開催場所：県西部地区	5,613																				
ヒトコマまんが連携展の開催	「ヒトコマまんがの会」と連携し、究極のまんが「ヒトコマ」による情報発信を行う。 ・開催時期：平成26年7月～9月 ・開催地域：県内3地域(東・中・西部) ・開催内容：本県観光・食などオリジナル展示	6,340																				
食・観光などの漫画雑誌発行等	まんがを活用し、食、観光などをわかりやすく、楽しく情報発信する漫画雑誌の発行 ・まんが王国とっとり×めめたん ・コミック乱TWINs ほか	9,976																				
市町村等と連携した情報発信	市町村・民間団体主催のイベントに県外から集客を図るため、県主催や市町村のイベントを複数組み合わせることで県外向けに情報発信を実施する。 ・全国紙大阪本社版×4季	6,000																				
	小計	113,764																				
	(文化庁補助)	(31,062)																				
	(経産省補助)	(9,342)																				

(3) まんがのあふれるまちづくり

(単位：千円)

事業名	事業内容	金額
(新) まんが手話言語条例PR事業	手話言語条例の制定の意義等をまんがで分かりやすく解説したリーフレット作成配布 ・作成部数：32,000部 ・配布先：県内全小学生	2,361
(新) まんがによる外国人おもてなし事業	本県を訪れる外国人観光客を対象に、外国人が戸惑う日本の慣習をまんがでわかりやすく解説したリーフレット作成配布 ・作成例：浴槽にタオルを巻いたまま、下着をつけたまま、スリッパをはいたまま入ってしまった。 ・作成部数：10,000部(4か国) ・配布先：米子鬼太郎空港、境港クルーズ等	3,188
(新) まんが王国とっとり満喫演出事業	県内のまんがのロケ地を訪れる観光客にまんがロケ地概要をPRするSNSを作製し、まんがであふれるまんが王国とつとりを演出する。	6,681
国際マンガコンテストの開催	本県発の「第3回国際マンガコンテスト」を開催し、新たな人材の発掘、育成とともに、海外ネットワークを拡大することで、全世界に誇れる「まんが王国とっとり」の確立を目指す。 ・募集作品：1コマ、4コマ、ストーリーの3部門 ・テーマ：友情 ・表彰式：時期 平成26年11月 会場 米子市内 内容 各国マンガサミット代表者等を交えたパネルディスカッション ・作品展示会 時期：平成26年11月 7日間 会場：米子市内 ・優秀作品作品集の全国書店販売	13,558
	小計 (文化庁補助)	25,788 (4,084)

(4) 事務費(非常勤職員報酬(3名分)、標準事務費等) 24,903千円

(文化庁補助：3,251千円)

*参考 金額欄の(文化庁補助)、(経産省補助)は、それぞれ次の補助金に申請予定である。

(文化庁補助)⇒文化庁メディア芸術地域活性化事業補助金(補助率1/2)

(経産省補助)⇒ジャパン・コンテンツローカライズ&プロモーション支援助成金

(補助率1/2)

平成26年度組織改正に伴う移管事業(部局間移管) 一覧

(地域振興部)交通政策課 → 観光戦略課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			
				国庫支出金	起債	その他	一般財源
国内航空便利用促進事業	61,000	20,000	41,000				61,000
国際航空便就航促進事業	43,900	32,850	11,050				43,900
合計	104,900	52,850	52,050				104,900

(未来づくり推進局)鳥取力創造課 → スポーツ課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			
				国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取方式の芝生化促進事業	18,287	18,177	110			17,936	351
ガイナール鳥取と連携した地域づくり推進事業	6,053	6,053	0			5,753	300
(新)「新生」鳥取マラソン支援事業	5,080		5,080			5,000	80
合計	29,420	24,230	5,190			28,689	731

(福祉保健部)障がい福祉課 → スポーツ課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			
				国庫支出金	起債	その他	一般財源
(新)障がい者スポーツ競技力向上事業	14,545		14,545				14,545
(新)全国障害者スポーツ大会派遣等事業	16,801		16,801				16,801
合計	31,346		31,346				31,346

(教育委員会)スポーツ健康教育課 → スポーツ課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			
				国庫支出金	起債	その他	一般財源
(新)生まれ！トップアスリート合宿誘致プロジェクト事業	56,715		56,715			56,468	247
競技力向上対策事業費	248,874	217,304	31,570			56,000	192,874
(新)2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト	8,187		8,187			2,019	6,168
(新)「関西ワールドマスターズゲームズ2021」平成26年度開催準備費負担金	12,500		12,500				12,500
県営米子屋内プール耐震化推進事業	301,858	190,774	111,084			78,623	223,235
体育施設運営費	281,698	245,577	16,121			10	261,688
体育施設改修費	39,713	41,211	△ 1,498				39,713
公益財団法人鳥取県体育協会運営費補助金	95,424	94,680	744				95,424
倉吉自転車競技場運営費	4,815	4,688	127				4,815
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業	15,285	21,968	△ 6,683				15,285
日韓スポーツ交流事業	2,821	1,400	1,421				2,821
都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600	1,600	0				1,600
競技スポーツ推進事業	5,494	5,810	△ 316				5,494
(新)全国大会等推進費	1,000		1,000				1,000
競技力向上のための指導者の確保事業	37,756	36,645	1,111			95	37,661
スポーツ審議会費	1,003	1,592	△ 589				1,003
国民体育大会派遣事業	98,423	116,999	△ 18,576				98,423
スポーツ・レクリエーション事業	7,636	6,146	1,490				7,636
生涯スポーツ推進費	1,745	1,788	△ 43				1,745
因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業	433	420	13				433
合計	1,202,980	988,602	214,378			193,215	1,009,765

平成26年度当初予算歳入歳出事項別明細書

(単位：千円)

款項目 節	2款 総務費							3款 民生費	
	うち文化観光スポーツ局							うち文化 観光スポ ーツ局	
	2項 企画費								
				1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費	5目 スポーツ振 興費		
1 報酬	542,417	88,518	88,518	50,538	11,669		26,311	416,904	
2 給料	2,879,178	151,454	151,454	151,454				1,588,420	
3 職員手当等	4,587,711	75,850	75,850	75,850				890,631	
4 共済費	1,114,108	67,541	67,541	62,692	921		3,928	612,998	
5 災害補償費	500								
6 恩給及び退職年金	22,591								
7 賃金	34,770							1,357	
8 報償費	281,995	8,267	8,267	1,268	6,048		951	63,437	
9 旅費	242,188	50,277	50,277	33,050	9,015	2,400	5,812	68,579	163
費用弁償	28,265	8,028	8,028	4,058	1,741		2,229	10,888	
普通旅費	164,285	19,102	19,102	12,186	4,686		2,230	37,491	163
特別旅費	49,638	23,147	23,147	16,806	2,588	2,400	1,353	20,200	
10 交際費	3,600								
11 需用費	543,818	26,980	26,980	13,424	8,020		5,536	192,856	163
12 役務費	575,718	23,930	23,930	8,559	10,517		4,854	91,497	150
13 委託料	4,509,342	1,521,438	1,521,438	56,542	774,428	73,000	617,468	2,831,978	30,730
14 使用料及び賃借料	653,372	27,380	27,380	18,411	7,209		1,760	82,255	140
15 工事請負費	1,058,555	673,179	673,179		643,923		29,256	412,387	
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	74,534	18,132	18,132	400	5,365		12,367	27,636	
19 負担金、補助及び交付金	7,886,441	617,426	617,426	63,957	244,297	116,293	192,879	34,524,336	
20 扶助費								1,775,044	
21 貸付金								37,986	
22 補償、補填及び賠償金	2,000								
23 償還金、利子及び割引料	186,000							59	
24 投資及び出資金									
25 積立金	170,832							1,421,144	
26 寄付金								1,250	
27 公課費	223							81	
28 繰出金								1,882	
予備費									
計	25,369,893	3,350,372	3,350,372	536,145	1,721,412	191,693	901,122	45,042,717	31,346
財源内訳	国庫支出金	1,722,091	28,847	28,847		28,847		4,518,882	
	地方債							72,000	
	その他	1,610,447	344,233	344,233	31,252	198,389		114,592	4,851,610
	一般財源	22,037,355	2,977,292	2,977,292	504,893	1,494,176	191,693	786,530	35,600,225

平成26年度当初予算歳入歳出事項別明細書

(単位：千円)

款 項 目 節	3款 民生費		7款 商工費					10款 教育費	
	うち文化観光スポーツ局		うち文化観光スポーツ局						
	1項 社会福祉費				1項 商業費		3項 観光費		
		12目 障がい者自 立支援事業 費				3目 金融対策費			1目 観光費
1 報 酬			86,491	11,158			11,158	11,158	1,671,712
2 給 料			432,198	103,432			103,432	103,432	27,186,436
3 職員手当等			216,450	51,800			51,800	51,800	17,375,312
4 共 済 費			202,124	39,104			39,104	39,104	9,348,849
5 災 害 補 償 費									
6 恩給及び退職年金									91,624
7 賃 金									34,267
8 報 償 費			634,833	6,181			6,181	6,181	161,607
9 旅 費	163	163	91,549	39,505			39,505	39,505	621,365
費用弁償			19,951	4,045			4,045	4,045	29,539
普通旅費	163	163	47,513	21,552			21,552	21,552	517,328
特別旅費			24,085	13,908			13,908	13,908	74,498
10交 際 費									360
11需 用 費	163	163	68,737	32,368			32,368	32,368	1,228,217
12役 務 費	150	150	47,722	18,467			18,467	18,467	253,947
13委 託 料	30,730	30,730	772,615	338,888			338,888	338,888	5,282,805
14使用料及び賃借料	140	140	259,342	38,624			38,624	38,624	1,483,046
15工 事 請 負 費			94,866	30,500			30,500	30,500	4,665,280
16原 材 料 費									6,624
17公有財産購入費									79,651
18備 品 購 入 費			5,944						334,521
19負担金、補助及び交付金			8,118,335	482,717			482,717	482,717	1,084,139
20扶 助 費									130,855
21貸 付 金			890,375	22,776	22,776	22,776			672
22補償、補填及び賠償金									174,991
23償還金、利子及び割引料									73,153
24投資及び出資金			2,000						
25積 立 金									251,222
26寄 付 金									
27公 課 費									522
28繰 出 金			24,513						528,163
予 備 費									
計	31,346	31,346	11,948,094	1,215,520	22,776	22,776	1,192,744	1,192,744	72,069,340
財 国 庫 支 出 金			82,590	51,908			51,908	51,908	11,087,132
源 地 方 債									1,366,000
内 そ の 他			1,204,203	312,544	22,776	22,776	289,768	289,768	7,206,556
訳 一 般 財 源	31,346	31,346	10,661,301	851,068			851,068	851,068	52,409,652

平成26年度当初予算歳入歳出事項別明細書

(単位：千円)

節	款 項 目	10款 教育費			文化観光スポーツ局 合計
		うち文化観光スポーツ局			
			7項 保健体育費		
				4目 スポーツ振 興費	
1	報 酬				99,676
2	給 料				254,886
3	職員手当等				127,650
4	共 済 費				106,645
5	災 害 補 償 費				
6	恩給及び退職年金				
7	賃 金				
8	報 償 費				14,448
9	旅 費				89,945
	費用弁償				12,073
	普通旅費				40,817
	特別旅費				37,055
10	交 際 費				
11	需 用 費				59,511
12	役 務 費				42,547
13	委 託 料	5,868	5,868	5,868	1,896,924
14	使用料及び賃借料				66,144
15	工 事 請 負 費	295,990	295,990	295,990	999,669
16	原 材 料 費				
17	公有財産購入費				
18	備 品 購 入 費				18,132
19	負担金、補助及び交付金				1,100,143
20	扶 助 費				
21	貸 付 金				22,776
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金、利子及び割引料				
24	投 資 及 び 出 資 金				
25	積 立 金				
26	寄 付 金				
27	公 課 費				
28	繰 出 金				
	予 備 費				
	計	301,858	301,858	301,858	4,899,096
財源内訳	国庫支出金				80,755
	地方債				
	その他	78,623	78,623	78,623	735,400
	一般財源	223,235	223,235	223,235	4,082,941

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
1 目	企画総務費	
給料	一般職員	41人
報酬	国際交流員	13人
負担金、補助 及び交付金	国内交流トライアル補助金	3,500
	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	500
	モンゴル農業研修員生活支援補助金	224
	モンゴル留学生支援補助金	2,489
	自治体国際化協会負担金	1,560
	新規招致者渡航費用負担金	236
	海外旅行傷害保険負担金	135
	C I R日本語講座集中研修負担金	85
	鳥取県国際交流財団事業費補助金	47,508
	国際交流拠点整備費負担金	6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,000
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400
	青年海外協力隊普及広報活動支援補助金	320
2 目	計画調査費	
報酬	とっとり伝統芸能まつり出演団体選定委員	6人
	鳥取県美術展覧会運営委員	23人
	鳥取県ジュニア美術展覧会運営委員	10人
	鳥取県文化芸術振興審議会委員	10人
	鳥取県文化芸術事業評価委員	20人
	鳥取県文化功労賞知事表彰選考委員	5人
	アーティスト・リゾートイントットリ事業評価委員	5人
	とっとりアートスタートモデル事業企画選定委員	5人
	非常勤職員 (監視員・作業補助)	31人
	非常勤職員	3人
負担金、補助 及び交付金	鳥取県総合芸術文化祭開催事業補助金	40,177
	鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局運営費補助金	22,233
	鳥取県アーティストリゾート創造事業 (ホスピタイル・プロジェクト) 補助金	1,500
	鳥取県アーティストリゾート・地域モデル創成事業補助金	20,000
	鳥取県文化団体連合会活動支援補助金	20,501
	鳥取県文化芸術活動支援補助金	9,893
	ととりの文化芸術探訪事業補助金	2,900
	鳥取県美術展覧会巡回展監視業務負担金	379
	学校における芸術文化事業 (芸術鑑賞教室等) 補助金	10,000
	青少年のための弦楽入門講座開催支援事業補助金	2,718
	芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業補助金	1,000
	鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業補助金	1,659
	鳥取県魅力ある展示支援事業補助金	1,600
	鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業補助金	700
	永井幸次生誕140周年顕彰事業補助金	2,000
	尾崎放哉生誕130周年記念事業補助金	2,000
	第45回日展米子展開催事業負担金	3,000
	(財) 地域創造負担金	2,438
	エンジン01負担金	30
	とっとりA I R芸術祭運営費補助金	21,883
	鳥の劇場運営委員会補助金	30,000
	アーティストリゾート推進組織育成事業費補助金	15,578
	鳥取県アーティスト滞在促進事業補助金	2,700

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
2 目	計画調査費	
負担金、補助 及び交付金	鳥取県アートスタート活動支援事業補助金	1,500
	童謡・唱歌のふるさと実行委員会補助金	6,700
	保育所・幼稚園の園庭芝生化補助金	5,000
	小学校校庭芝生化モデル創出補助金	10,500
	鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク補助金	708
	「新生」鳥取マラソン支援負担金	5,000
2 款	総務費	
2 項	企画費	
3 目	交通対策費	
負担金、補助 及び交付金	米子-ソウル国際定期便に係る運航経費補助金	76,793
	山陰国際観光協議会負担金 (米子ソウル便利用促進事業)	10,000
	「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金	29,500
2 款	総務費	
2 項	企画費	
5 目	スポーツ振興費	
給料	一般職員	11人
報酬	非常勤職員	1人
	スポーツ指導員	6人
	鳥取県スポーツ審議会委員	13人
	2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員	36人
負担金、補助 及び交付金	(公財)鳥取県体育協会運営費補助金	95,424
	スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業補助金	15,285
	倉吉自転車競技場管理運営費補助金	4,815
	日韓スポーツ交流事業費補助金	2,821
	都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600
	競技力向上のための指導者の確保事業補助金	14,961
	県民スポーツ・レクリエーション祭開催費負担金	7,636
	鳥取県スポーツ推進委員協議会補助金	190
	因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業補助金	433
	ジュニア期一貫指導体制推進事業補助金	269
	「関西ワールドマスターズゲームズ2021」平成26年度開催準備費負担金	12,500
	2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト事業補助金	1,000
	集まれ！トップアスリート合宿誘致プロジェクト事業補助金	34,945
	全国大会等推進費補助金	1,000
7 款	商工費	
1 項	商業費	
3 目	金融対策費	
貸付金	観光開発促進資金貸付金	22,776
3 項	観光費	
1 目	観光費	
給料	一般職員	28人
報酬	国際マンガコンテスト審査員	8人
	非常勤職員	6人
負担金、補助 及び交付金	三徳山重要遺跡発掘調査補助金	1,000
	文化資産学習会開催助成支援補助金	400
	いなば温泉郷協議会支援補助金	1,310
	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会支援補助金	6,000
	温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト補助金	1,000
	山陰観光推進協議会負担金	10,000

節 の 明 細

項	目	金額(千円)等
7款	商工費	
3項	観光費	
1目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	因幡・但馬広域観光キャンペーン実行委員会負担金	500
	鳥取自動車道活性化協議会負担金	900
	鳥取・岡山観光連携事業負担金	2,000
	「ディスカバーウエスト」連携協議会負担金	5,000
	テレビ番組等誘致、制作支援補助金	2,400
	(公社)日本観光振興協会負担金	718
	(公社)日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700
	(公社)日本観光振興協会中国支部負担金	120
	(公社)日本観光振興協会観光情報システム分担金	200
	中国地域観光推進協議会負担金	50
	山陰観光連盟負担金	324
	(一社)日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	24,927
	コンベンション開催助成費補助金	19,300
	(公社)鳥取県観光連盟運営費負担金	86,469
	鳥取空港-鳥取砂丘間乗合タクシー運行支援補助金	809
	観光二次交通整備支援補助金	11,335
	鳥取まるごとニューツーリズム支援補助金	12,500
	NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	500
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(バス旅行商品支援)	15,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(旅行商品造成支援)	5,000
	宿泊促進WEB対策補助金	25,000
	クルーズ客船受入推進事業	6,580
	周遊バス運行支援補助金	4,120
	体験型イベント「鳥取の手仕事めぐり」開催支援補助金	1,000
	「行きたいとっとり」支援補助金	5,000
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	1,000
	教育旅行誘致推進事業補助金	3,000
	イルミネーション支援補助金	50,000
	鳥取県観光二次交通運行支援補助金	24,500
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金(外国人観光客受入環境整備事業)	7,500
	鳥取県外国人観光客誘致対策事業補助金	10,000
	鳥取県外国人観光客送客促進事業補助金	5,000
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金(外国人観光客誘致推進事業)	5,000
	山陰国際観光協議会負担金(環日本海国際定期貨客船利用促進事業)	1,100
	シャトルバス運行補助金	3,500
	中国地区広域観光検討部会負担金	3,000
	中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000
	山陰国際観光協議会負担金(外国人観光客誘致対策委員会)	4,000
	京都・兵庫・鳥取三府県広域観光推進実行委員会負担金	500
	関西国際空港内観光案内所整備運営協議会負担金	1,382
	国際観光振興機構負担金	680
	東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,050
	東アジア地方政府観光フォーラム参加支援事業補助金	900
	ジャパンエコトラック加盟負担金	500
	まんが王国国家戦略プロジェクト推進補助金	74,500
	鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業補助金	13,000
	SUN-IN未来ウオーク開催支援事業補助金	1,000
	韓国人ウォーカー誘客促進事業補助金	1,000

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
7 款	商工費	
3 項	観光費	
1 目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	ワールドトレールコンファレンス誘致促進事業補助金	800
	指導員育成支援補助金	450
	櫻杯争奪相撲選手権大会支援補助金	400
	大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500
	湯ったりだいせん足湯整備費補助金	193
	サイクルトレイン (バス) 普及推進事業補助金	1,000
	輪行システム普及推進事業補助金	600
	全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000
	皆生・大山SEA TO SUMMIT開催支援補助金	1,000
	ツール・ド・大山開催支援補助金	500
	アウトドアスポーツフェスタ開催支援補助金	500
	エコツーリズム推進事業補助金	7,000
	日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	450

継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書

款	項	事業名	全体計画						前前年度 末までの 支出額	前年度末 までの支 出(見込) 額	当該年度 支出予定 額	当該年度 末までの 支出予定 額	翌年度以 降支出予 定額	継続費の 総額に対 する進歩 率	
			年度	年割額	左の財源内訳										一般財源
					特定財源			千円							
					国庫支出金	地方債	その他								
2 総務費	2 企画費	鳥取県立県民文化会 館舞台床改修事業費	25	千円 74,214	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	% 41.2	
			26	105,894				105,894			105,894	105,894		58.8	
			計	180,108				180,108		74,214	105,894	180,108		100.0	
10 教育費	7 保健体育費	県営米子屋内プール 耐震化推進事業費	24	19,748				19,748		17,270	2,478	19,748		3.9	
			25	190,774			50,034	140,740			190,774	190,774		37.2	
			26	301,858			78,623	223,235			301,858	301,858		58.9	
			計	512,380			128,657	383,723		17,270	495,110	512,380		100.0	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一般財源
						国庫支出金	地方債	その他	
	千円		千円		千円	千円	千円	千円	千円
平成22年度 足湯整備費補助	1,737	平成23年度から 平成25年度まで	579	平成26年度から 平成31年度まで	1,158				1,158
平成24年度 パスポート発給業務委託	139,520	平成25年度	27,904	平成26年度から 平成29年度まで	111,616			(手数料) 100,000	11,616
平成25年度 パスポート発給業務委託	3,192			平成26年度から 平成29年度まで	3,192				3,192
小計	142,712	平成25年度	27,904	平成26年度から 平成29年度まで	114,808			(手数料) 100,000	14,808
平成25年度 鳥取県立県民文化会館管理委託	1,212,200			平成26年度から 平成30年度まで	1,212,200			48,600	1,163,600
平成25年度 鳥取県立倉吉未来中心管理委託	488,145			平成26年度から 平成30年度まで	488,145				488,145
平成25年度 鳥取県立重謡館管理委託	373,450			平成26年度から 平成30年度まで	373,450				373,450
平成25年度 鳥取県立米子コンベンションセン ター管理委託	660,862			平成26年度から 平成30年度まで	660,862				660,862

	千円		千円		千円	千円	千円	千円	千円
平成25年度 鳥取県立夢みなとタワー管理委託	592,145			平成26年度から 平成30年度まで	592,145				592,145
平成25年度 鳥取県立武道館管理委託	325,032			平成26年度から 平成30年度まで	325,032				325,032
平成25年度 鳥取県立鳥取産業体育館及び鳥 取県営鳥取屋内プール管理委託	308,575			平成26年度から 平成30年度まで	308,575				308,575
平成25年度 鳥取県立米子産業体育館管理委託	146,060			平成26年度から 平成30年度まで	146,060				146,060
平成25年度 鳥取県立倉吉体育文化会館管理 委託	216,000			平成26年度から 平成30年度まで	216,000				216,000
平成25年度 鳥取県営ライフル射撃場管理委託	4,915			平成26年度から 平成30年度まで	4,915				4,915

条 例 名 等	鳥取県附属機関条例の一部改正について	
提 出 理 由 及 び 概 要	1 提出理由 鳥取県文化観光局指定管理候補者審査委員会及び鳥取県文化観光局指定管理施設運営評価委員会の名称を改める。	
	2 概 要 (1) 見直しを行う附属機関 鳥取県文化観光局指定管理候補者審査委員会及び鳥取県文化観光局指定管理施設運営評価委員会	
	(2) 見直しの内容	
	変更後の名称	変更前の名称
	鳥取県文化観光スポーツ局指定管理候補者審査委員会	鳥取県文化観光局指定管理候補者審査委員会
	鳥取県文化観光スポーツ局指定管理施設運営評価委員会	鳥取県文化観光局指定管理施設運営評価委員会
	(3) 見直しの理由 組織改正により文化観光局の名称を文化観光スポーツ局に改めることによる。	
	3 施行期日 平成26年4月1日	

鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例案

鳥取県附属機関条例（平成 25 年鳥取県条例第 53 号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線に示すように改正する。

改 正 後		改 正 前	
別表第 1（第 2 条関係）		別表第 1（第 2 条関係）	
名称	調査審議する事項	名称	調査審議する事項
略		略	
略	略	略	略
<u>鳥取県文化観光ス ポーツ局指定管理 候補者審査委員会</u>		<u>鳥取県文化観光局 指定管理候補者審 査委員会</u>	
略		略	
略	略	略	略
<u>鳥取県文化観光ス ポーツ局指定管理 施設運営評価委員 会</u>		<u>鳥取県文化観光局 指定管理施設運営 評価委員会</u>	
略		略	

附 則

この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

件名	鳥取県附属機関条例の一部改正について									
提出理由及び概要	<p>1 提出理由 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組を効果的に推進するため、専門的知見を導入し、施策等について調査審議を行う附属機関を新設するとともに、平成26年4月1日の組織改正に伴って知事部局に移管する附属機関について所要の改正を行うものである。</p> <p>2 概要</p> <p>[新設]</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">調査審議する事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員会</td> <td>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手の育成、合宿の誘致その他の関連事業に関する事項</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 委員の構成 スポーツ関係有識者、県内競技団体関係者、市町村、観光コンベンション関係者など</p> <p>(2) 調査審議の内容 ○タレント発掘、育成事業検討会議 ・タレント発掘、育成プログラムの開発 等 ○合宿誘致戦略会議 ・国内外のトップチームの合宿誘致 等</p> <p>[移管]</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">調査審議する事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県スポーツ審議会</td> <td>鳥取県スポーツ審議会条例(平成24年鳥取県条例第6号)第2条第1項に規定する事項</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 委員の構成 学校体育、生涯スポーツ、障がい者スポーツ、競技スポーツその他スポーツに関する学識経験を有する者など</p> <p>(2) 調査審議の内容 ・スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する建議</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <p>鳥取県スポーツ審議会条例</p> <p>第2条 審議会は、教育委員会又は知事の諮問に応じ、スポーツ基本法第10条第1項の規定により定める鳥取県スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項について調査審議する。</p> </td> </tr> </table> <p>3 施行期日 平成26年4月1日</p>	名称	調査審議する事項	2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員会	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手の育成、合宿の誘致その他の関連事業に関する事項	名称	調査審議する事項	鳥取県スポーツ審議会	鳥取県スポーツ審議会条例(平成24年鳥取県条例第6号)第2条第1項に規定する事項	<p>鳥取県スポーツ審議会条例</p> <p>第2条 審議会は、教育委員会又は知事の諮問に応じ、スポーツ基本法第10条第1項の規定により定める鳥取県スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項について調査審議する。</p>
名称	調査審議する事項									
2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員会	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手の育成、合宿の誘致その他の関連事業に関する事項									
名称	調査審議する事項									
鳥取県スポーツ審議会	鳥取県スポーツ審議会条例(平成24年鳥取県条例第6号)第2条第1項に規定する事項									
<p>鳥取県スポーツ審議会条例</p> <p>第2条 審議会は、教育委員会又は知事の諮問に応じ、スポーツ基本法第10条第1項の規定により定める鳥取県スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項について調査審議する。</p>										

鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例

鳥取県附属機関条例（平成25年鳥取県条例第53号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、太枠で示すように改正する。

改正後		改正前	
別表第1（第2条関係）		別表第1（第2条関係）	
名称	調査審議する事項	名称	調査審議する事項
略		略	
とっとり伝統芸能まつり出演団体選定委員会	とっとり伝統芸能まつりの出演団体の選定並びに開催日及び開催場所の決定に関する事項	とっとり伝統芸能まつり出演団体選定委員会	とっとり伝統芸能まつりの出演団体の選定並びに開催日及び開催場所の決定に関する事項
鳥取県スポーツ審議会	鳥取県スポーツ審議会条例（平成24年鳥取県条例第6号）第2条第1項に規定する事項		
2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員会	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手の育成、合宿の誘致その他の関連事業に関する事項		
まんが王国とっとり国際マンガコンテスト審査委員会	まんが王国とっとり国際マンガコンテストの被表彰作品の選考に関する事項		
略		略	
別表第2（第2条関係）		別表第2（第2条関係）	
名称	調査審議する事項	名称	調査審議する事項
略		略	
略		鳥取県スポーツ審議会	鳥取県スポーツ審議会条例（平成24年鳥取県条例第6号）第2条第1項に規定する事項
略		略	

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

条 例 名 等	鳥取県附属機関条例の一部改正について				
提 出 理 由 及 び 概 要	<p>1 提出理由 まんが王国とっとり国際マンガコンテストを開催するにあたり、被表彰作品の選考を審議する附属機関を新たに設置する。</p> <p>2 概 要</p> <p>(1) 新たに設置する附属機関</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">調査審議する事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まんが王国とっとり国際マンガコンテスト審査委員会</td> <td>まんが王国とっとり国際マンガコンテストの被表彰作品の選考に関する事項</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 委員の構成 漫画家及び漫画研究家等により構成する。</p> <p>(3) 審議する内容 最優秀賞をはじめとする各賞の被表彰作品を選考する。</p> <p>(4) 新設の理由 当該コンテストの被表彰作品を選考するには、漫画に関する専門的知識が必要となることから、審査委員会を設置するものである。</p> <p>3 施行期日 平成26年4月1日</p>	名 称	調査審議する事項	まんが王国とっとり国際マンガコンテスト審査委員会	まんが王国とっとり国際マンガコンテストの被表彰作品の選考に関する事項
名 称	調査審議する事項				
まんが王国とっとり国際マンガコンテスト審査委員会	まんが王国とっとり国際マンガコンテストの被表彰作品の選考に関する事項				

鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例

鳥取県附属機関条例（平成25年鳥取県条例第53号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、太枠で示すように改正する。

改正後		改正前	
別表第1（第2条関係）		別表第1（第2条関係）	
名称	調査審議する事項	名称	調査審議する事項
略		略	
とっとり伝統芸能まつり出演団体選定委員会	とっとり伝統芸能まつりの出演団体の選定並びに開催日及び開催場所の決定に関する事項	とっとり伝統芸能まつり出演団体選定委員会	とっとり伝統芸能まつりの出演団体の選定並びに開催日及び開催場所の決定に関する事項
鳥取県スポーツ審議会	鳥取県スポーツ審議会条例（平成24年鳥取県条例第6号）第2条第1項に規定する事項		
2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員会	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手の育成、合宿の誘致その他の関連事業に関する事項		
まんが王国とっとり国際マンガコンテスト審査委員会	まんが王国とっとり国際マンガコンテストの被表彰作品の選考に関する事項		
略		略	

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

<p>条 例 名 等</p>	<p>風致地区内における建築等の規制に関する条例の廃止等について</p>
<p>提 出 理 由 及 び 概 要</p>	<p>[条例第 2 条の「鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正」関係]</p> <p>1 提出理由 旅券法の一部が改正され、旅券の名義人の氏名等に変更を生じた場合に旅券の記載事項を訂正する制度が廃止されたことに伴い、当該制度に係る移譲事務を廃止する。</p> <p>2 概 要 倉吉市、境港市及び日野郡の町が処理する事務から一般旅券の記載事項の訂正の申請の受理及び知事への送付事務を削る。</p> <p>3 施行期日 施行期日は、平成26年 4 月 1 日とする。</p>

風致地区内における建築等の規制に関する条例を廃止する等の条例

(風致地区内における建築等の規制に関する条例の廃止)

第1条 風致地区内における建築等の規制に関する条例(昭和45年鳥取県条例第11号)は、廃止する。

(鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正)

第2条 鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成11年鳥取県条例第35号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線及び太枠で示すように改正する。

改正後		改正前	
別表(第2条関係)		別表(第2条関係)	
事務	市町村等	事務	市町村等
略		略	
2の2 旅券法(昭和26年法律第267号)に基づく事務のうち、次に掲げるもの(急を要する場合その他規則で定める場合に係るものを除く。) (1)~(5) 略	略	2の2 旅券法(昭和26年法律第267号)に基づく事務のうち、次に掲げるもの(急を要する場合その他規則で定める場合に係るものを除く。) (1)~(5) 略 <u>(6) 第10条第1項ただし書の規定による一般旅券の記載事項の訂正の申請の受理及び知事への送付</u>	略
<u>(6)</u> 略		<u>(7)</u> 略	
<u>(7)</u> 略		<u>(8)</u> 略	
<u>(8)</u> 略		<u>(9)</u> 略	
<u>(9)</u> 略		<u>(10)</u> 略	
<u>(10)</u> 略		<u>(11)</u> 略	
略		略	
42 都市計画法に基づく事務のうち、次に掲げるもの (1)~(21) 略	略	42 都市計画法に基づく事務のうち、次に掲げるもの (1)~(21) 略	略
43 略		43 風致地区内における建築等の規制に関する条例(昭和45年鳥取県条例第11号)に基づく事務	米子市
44 略		44 略	
45 略		45 略	
46 略		46 略	
47 略		47 略	
47 略		48 略	

(鳥取県景観形成条例の一部改正)

第3条 鳥取県景観形成条例(平成5年鳥取県条例第3号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(適用除外行為の追加)</p> <p>第15条 法第16条第7項第11号の条例で定める行為は、次に掲げる行為とする。</p> <p>(1) 法令又は他の条例に基づく許可、認可、届出等を要する行為のうち、次に掲げるもの ア～オ 略</p> <p>カ 略 キ 略 (2)～(9) 略</p>	<p>(適用除外行為の追加)</p> <p>第15条 法第16条第7項第11号の条例で定める行為は、次に掲げる行為とする。</p> <p>(1) 法令又は他の条例に基づく許可、認可、届出等を要する行為のうち、次に掲げるもの ア～オ 略 カ <u>風致地区内における建築等の規制に関する条例(昭和45年鳥取県条例第11号)第2条第1項本文の許可を受けて行う行為又は同条第2項後段の協議に係る行為</u> キ 略 ク 略 (2)～(9) 略</p>

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

件名	財産を無償で貸し付けること(鳥取県立米子コンベンションセンター用地)について								
提出理由及び概要	<p>1 提出理由 国内外との交流の促進、地域経済の発展と文化振興を図るため、米子市に無償で貸し付けようとするものである。</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 財産の内容</p> <table border="1" data-bbox="320 703 1390 840"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>所在地</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>米子市弥生町2番2ほか9筆</td> <td>468.20平方メートルのうち1,000分の67</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 相手方 米子市加茂町一丁目1番地 米子市</p> <p>(3) 貸付期間 平成26年3月27日から平成38年3月31日まで</p>			種類	所在地	数量	土地	米子市弥生町2番2ほか9筆	468.20平方メートルのうち1,000分の67
種類	所在地	数量							
土地	米子市弥生町2番2ほか9筆	468.20平方メートルのうち1,000分の67							

件名	財産を無償で貸し付けること(鳥取市武道館用地)についての議決の一部変更について																		
提出理由及び概要	<p>1 提出理由 鳥取市に対して、鳥取市武道館の用に供する土地として、県有地の無償貸し付けを行っているところであるが、県立鳥取西高等学校の耐震改修に伴い、当該用地内に存在する既存の立木及び石庭等の移設場所を確保するため、貸付面積を拡大するものである。</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 財産の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>所在地</th> <th>数量</th> <th>種類</th> <th>所在地</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>鳥取市東町一丁目326番</td> <td>2,858.64平方メートル</td> <td>土地</td> <td>鳥取市東町一丁目326番ほか1筆</td> <td>3,634.47平方メートル</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 相手方 鳥取市尚徳町116番地 鳥取市</p> <p>(3) 貸付期間 平成22年4月1日から平成32年3月31日まで</p> <p>(4) 経緯 平成12年10月1日から鳥取市に鳥取市武道館用地として無償貸付している。</p> <p>【配置図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, black 2px, black 4px);"></div> 貸付拡大部分 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; background: radial-gradient(circle, black 1px, transparent 1px); background-size: 4px 4px;"></div> 移設する立木等 </div>	変更前			変更後			種類	所在地	数量	種類	所在地	数量	土地	鳥取市東町一丁目326番	2,858.64平方メートル	土地	鳥取市東町一丁目326番ほか1筆	3,634.47平方メートル
変更前			変更後																
種類	所在地	数量	種類	所在地	数量														
土地	鳥取市東町一丁目326番	2,858.64平方メートル	土地	鳥取市東町一丁目326番ほか1筆	3,634.47平方メートル														